

八戸市美術館

Hachinohe Art Museum

令和7年度
(2025年度)

年報



1. 展覧会+プロジェクト	企画展	
	八戸アーティストファイル2025 Finding Our Beauty	6
	浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化	15
	ポケモン×工芸展ー美とわざの大発見ー	26
	コレクションラボ	
	コレクションラボ010 西野こよ 表現への挑戦	35
	コレクションラボ011 きっと、そこには	40
	コレクションラボ012 渡辺貞一 光と影のあわい	45
	共催展	
	第62回八戸市美術展	52
	古代エジプト美術館展	54
	第58回八戸市小学校図画工作展	57
	新春屏風展	58
	GOMA展 WONDER 不思議と驚きと奇跡	61
	プロジェクト	
	西尾美也アートプロジェクト「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」	64
2. コレクション	収集	68
	管理	70
3. アートファーマー	建築ツアーガイド	72
	広報部	75
	エンジョイ!ぬり絵DAY (ものづくり部)	76
	加藤千晶 かぎ針で絵を編む (ものづくり部)	77
	しばやまいぬ くにゆぎの森3D 冬・絶景 (ものづくり部)	78
	館長クロストーク&アートファーマーミーティング	82
4. 学校連携	学校連携事業	85
	大学・高専連携事業	91
5. イベント	賑わい創出事業	96
	南郷アートプロジェクト映画上映会	100
6. その他事業	5館連携プロジェクト AOMORI GOKAN	102
	はちとまネットワーク	103
	HACHINOHE ZINE CLUB	104
	共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業 (共創パートナー事業)	106
	マチナカまるっと一日体験、職場体験	109
	博物館実習	110
7. 貸館	貸館	112

8. データ

入館者の状況	122
広報	123
八戸市美術館運営協議会	124
運営（決算・組織）	125
関係規約	
八戸市美術館条例	126
八戸市美術館条例施行規則	129
八戸市美術館運営協議会規則	132
八戸市美術館美術品等収集委員会規則	133
施設概要	134
沿革	136

1. 展覧会＋プロジェクト

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

八戸アーティストファイル
2025 Finding Our
Beauty

八戸アーティストファイル2025 Finding Our Beauty

1. 事業内容

八戸ゆかりのアーティスト8人を紹介する展覧会。地域の文化関係者がプレゼンター（推薦者）となり、今一番紹介したいアーティストを選出。若手からベテランまでの多様な年代、写真家やデザイナー・絵画・プロジェクト・現代手芸など幅広いジャンルの8人のラインナップとなった。ひとりずつ展示スペースを区切り、それぞれ10点以上の作品・資料点数で構成することで、作家性や特徴、制作の変遷を紹介した。また、アーティストの経歴や特徴を調査し、インタビュー映像やアーカイブチラシにまとめることで、将来にも参照できる資料とした。

会期中は、アーティストとプレゼンターによるギャラリートークのほか、アーティストから発案のあった企画として、音楽ライブ、トークイベント、公開制作ワークショップを実施。また、将来の八戸ゆかりのアーティストが育む場として、中高生向けのデザイン教室「Welcome Students! 春休みアーツキャンプ」を実施した。

この展覧会をきっかけに、庭田薫を苫小牧市に派遣、加藤千晶を「VOCA展2026現代美術の展望～新しい平面の作家たち」に推薦（VOCA佳作賞受賞）したほか、三村紗瑛子が佐々木遊と協同して個展を開催するなど、次なる創作や展開へとつながる企画となった。

2. 開催概要

会期 | 2025年2月15日（土）～4月7日（月）

開催日数 | 46日間

会場 | ホワイトキューブ、ジャイアントルーム

観覧料 | 一般500円（400円）、高校生以下無料

※（ ）は割引対象者の料金

※割引対象者=20名以上の団体／有料駐車場ご利用の運転手1名／八戸市内及び近隣町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）在住の65歳以上の方／障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名。

※フリーパス「かおパス」 一般800円、割引対象者600円

主催 | 八戸市美術館

協力 | 八戸市文化協会

後援 | 八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局 BeFM

入場者数 | 2,860人

アーカイブ | アーカイブチラシB4、両面、9種、紙ファイル入り

編集・執筆：大澤苑美 デザイン：花田耕助（東北のデザイン社） 発行日：2025年3月31日／発行：八戸市美術館

ポスター | B2、片面

チラシ | A4、両面

ハンドアウト | A3、両面（作品リスト、展示マップ）

デザイン：花田耕助（東北のデザイン社）

アーティスト | 石橋貴美子、加藤千晶、佐々木遊、庭田薫、三村紗瑛子、山本耕一郎、YAM、米内安芸

プレゼンター | 小倉学（八戸クリニック街かどミュージアム館長）、東方悠平（アーティスト／八戸工業大学准教授）、松浦大輔（デーリー東北新聞社編集局報道部長兼クロスメディアコーディネーター）、松田和幸（八戸彩画堂社長）、吉川拓志（ソールブランチ新丁）、吉田章恵（帆風美術館館長）、大澤苑美（八戸市美術館学芸員）

会場構成 | 佐藤慎也

グラフィックデザイン | 花田耕助（東北のデザイン社）

映像 | 神智、大澤苑美

担当学芸員 | 大澤苑美

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

八戸アーティストファイル2025 Finding Our Beauty

3. 関連プロジェクト+イベント

・プロジェクト

①山本耕一郎「うわさプロジェクト mini」

開催日 | 展覧会期中随時

会場 | ジャイアントルーム

内容 | 全国で人気の山本の代名詞的プロジェクト「うわさプロジェクト」を、アートファーマーとともに運営。来場者は自分に合ううわさバッジを選んで胸につけ、写真を撮って会場に掲示した。

②山本耕一郎「美のない美術館」

開催日 | 展覧会期中随時

会場 | ジャイアントルーム

内容 | SNSで話題になった、八戸市美術館の館銘板の「美」が紛失した出来事をテーマにしたプロジェクト。訪れた人が、空欄となった「美」の位置にあてはまる文字を考えて、掛け替えることのできる、本物そっくりの看板が出現した。

・アーティストとプレゼンターによるギャラリートーク

開催日 | ①2025年2月15日(土)②4月6日(日)
各回11:00~12:00

ゲスト | ①石橋貴美子、佐々木遊、庭田薫、松田和幸、小倉学、吉田章恵、大澤苑美②加藤千晶、三村紗瑛子、山本耕一郎、米内安芸、東方悠平、松浦大輔、大澤苑美

参加者数 | ①50人②40人

・zodiac nova, pop-machine & contemporary system MUSIC LIVE

開催日 | 2025年2月24日(月・祝) 18:00~19:00

会場 | ホワイトキューブ内 YAM展示スペース

出演 | zodiac nova, pop-machine & contemporary system (YAM、吉川拓志)

参加者数 | 80人

内容 | 参加アーティストのYAMによる音楽ユニットが、自身の絵の前でライブを実施。

・クリエイターズジャム Session01 アーティストファイルトーク『作家性はどこに宿るのか ~絵画とデザインの狭間で~』

開催日 | 2025年3月23日(日) 13:00~15:00

会場 | ホワイトキューブ内 三村紗瑛子展示スペース

登壇 | 佐々木遊、三村紗瑛子、花田耕助

参加者数 | 18人

内容 | アソビス・風笑堂が主催するクリエイターによるクリエイターのための月替わりイベント「クリエイターズジャム」を、展覧会の中で特別開催。当展覧会に関わる3人が、「作家性はどこに宿るのか」をテーマにトークを展開した。

主催 | アソビス・風笑堂

共催 | 八戸市美術館

・加藤千晶公開制作&ワークショップ「日常を振り返る | イメージに合う色と質感」

開催日 | 2025年4月4日(金) 10:00~18:00、5日(土) 10:00~15:00

会場 | ジャイアントルーム

参加者数 | WS参加者数32人、制作見学65人

内容 | 参加アーティストの加藤千晶が美術館に滞在し、作品を公開制作。また、来場者に向けて、随時、糸の引き揃えとかぎ針での編み地づくりの体験ワークショップを行った。

・Welcome Students! 春休みアーツキャンプ

開催日 | 2025年3月29日(土)、30日(日) 各日 10:00~17:00

会場 | ジャイアントルーム

監修・講師 | 藤浩志(美術家/秋田公立美術大学教授)

講師 | 橋本嵩斗、佐々木梨乃、吉田風花、猪股紗葉

参加者数 | 14人

内容 | 中学生・高校生を対象に、デッサンを通じて、ものを見る力、捉える力を鍛える講座を開催。プログラムの監修・進行として、美術家・秋田公立美術大学教授の藤浩志を招聘。また、八戸工業大学第二高等学校美術コース出身の美大生・美大卒業生を講師に依頼し、デッサンのアドバイスや自身の経験のトーク、合評の進行を行った。

・関連展示

八戸アーティストファイル2025 Finding Our Beauty 推薦記念 庭田薫・特別展 光明への軌跡

会期 | 2025年2月23日(日)~4月13日(日)

会場 | 帆風美術館

主催 | 帆風美術館

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

八戸アーティストファイル
2025 Finding Our
Beauty

4. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デーリー東北「アーティストの「今」を伝える 八戸アーティストファイル開幕」2025年2月16日
- ・デーリー東北「柔らかな光の表現 作風の変遷たどる／帆風美術館で4月13日まで／南部町在住の画家 庭田薫さん特別展」2025年2月27日
- ・デーリー東北「連載 八戸アーティストファイル 2025 ▷1◁ 幾重にも色のせ光を描く 庭田薫／ズレが生み出す不思議さ 三村紗瑛子」2025年3月14日
- ・デーリー東北「連載 八戸アーティストファイル 2025 ▷2◁ 多彩な活動すべて地続き YAM／“やったら面白い”を形に 山本耕一郎」2025年3月20日
- ・デーリー東北「連載 八戸アーティストファイル 2025 ▷3◁ 写真家の凛とした眼差し 米内安芸／デザインで見せる“八戸” 佐々木遊」2025年3月27日
- ・デーリー東北「八戸市美術館でクリエイターズジャム／作家性テーマに思い語る／デザイナーと画家、悩みも」2025年3月30日
- ・デーリー東北「デッサンみっちり特訓／中高生対象に市美術館初企画／藤さんと美大生が講師」2025年4月3日
- ・デーリー東北「連載 八戸アーティストファイル 2025 ▷4◁ 偽りのない「真心」籠もる 石橋貴美子／「写真編む」ユニーク手法 加藤千晶」2025年4月3日

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

八戸アーティストファイル
2025 Finding Our
Beauty

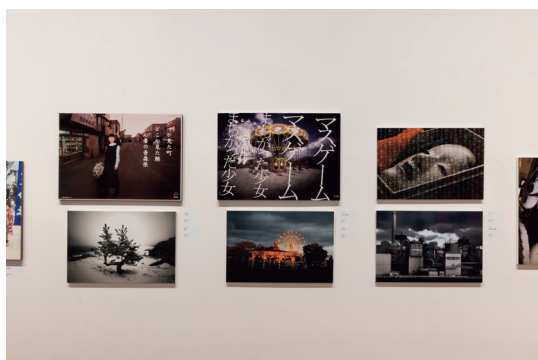
5. 開催の様子



展示風景（石橋貴美子）



展示風景（佐々木遊）



展示風景（米内安芸）



展示風景（加藤千晶・庭田薫）



展示風景（山本耕一郎 うわさプロジェクトmini）



MUSIC LIVE (YAM)



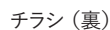
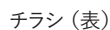
クリエイターズジャム Session01



Welcome Students! 春休みアーツキャンプ

企画展

6. 広報物／ハンドアウト



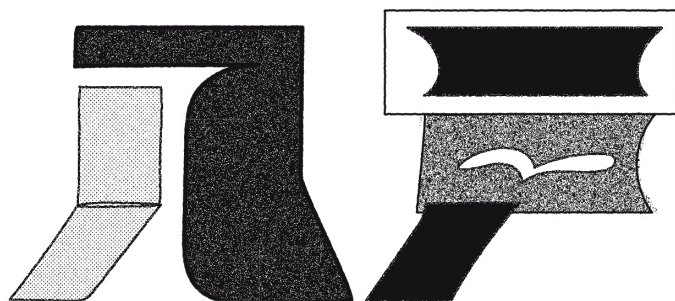
ARTIST FILE

八戸ゆかりの アーティスト8人を 紹介する展覧会

八戸アーティストファイル2025
Finding Our Beauty



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

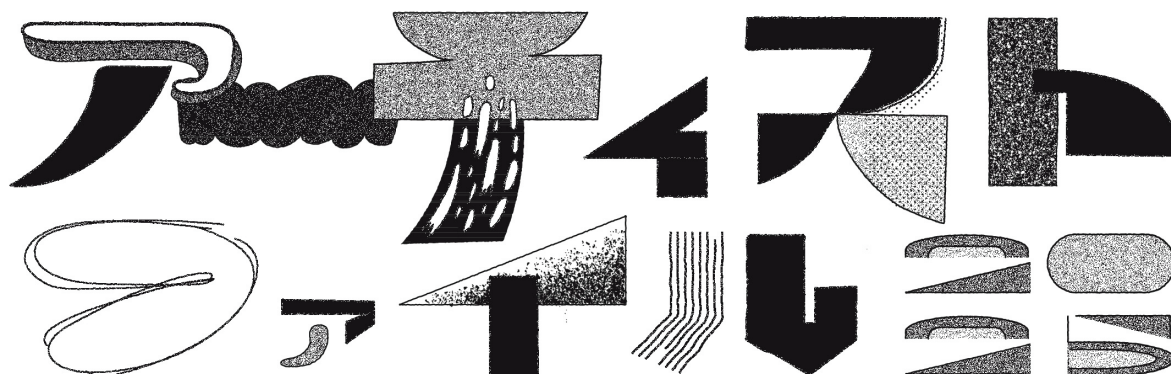


参加アーティスト|

石橋貴美子、加藤千晶、佐々木遊、庭田薫、三村紗瑛子、
山本耕一郎、YAM、米内安芸

プレゼンター|

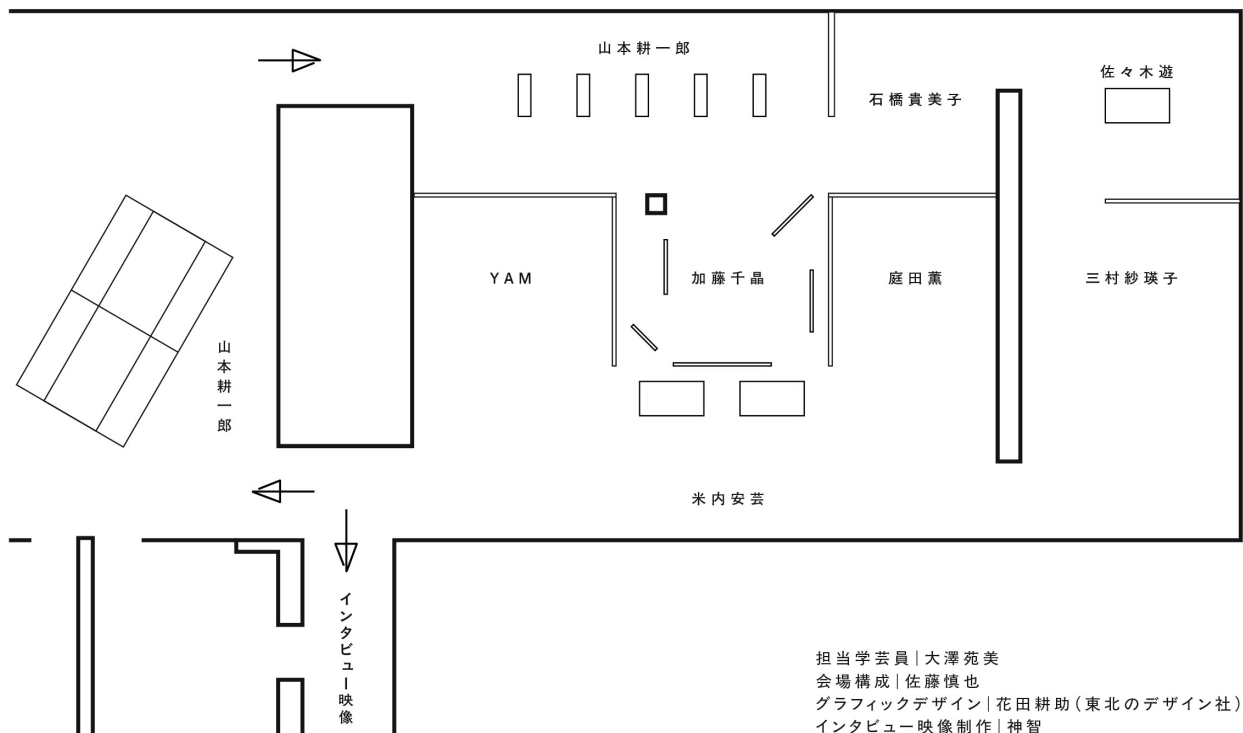
小倉学(八戸クリニック街かどミュージアム館長)、東方悠
平(アーティスト/八戸工業大学准教授)、松浦大輔(デー
リー東北新聞社編集局報道部長兼クロスメディアコーデ
イナー)、松田和幸(八戸彩画堂社長)、吉川拓志(ソー
ルブランチ新丁)、吉田章恵(帆風美術館館長)、大澤苑美
(八戸市美術館学芸員)



2025年2月15日土曜日 — 4月7日月曜日

主催|八戸市美術館 協力|八戸市文化協会

後援|八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局 BeFM



作家名	作品・資料タイトル	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横)	所蔵
山本 耕一郎 YAMAMOTO Koichiro					
山本 耕一郎	うわさプロジェクト mini	2025年 ／2010、2011年			
山本 耕一郎	美のない美術館	2025年			
山本 耕一郎	うわさおみくじ	2025年／2013年			
山本 耕一郎	人生いろいろ 1969-2017	2017年	映像(16分3秒)		作家蔵
山本 耕一郎	活動年表 1969-2025		年表、資料		作家蔵
加藤 千晶 KATO Chiaki					
加藤 千晶	黒いエプロンの肖像	2017年	細編み、毛糸(アクリル・コットン・ウール)	101×180	作家蔵
加藤 千晶	「いってらっしゃい」と「おかえり」の間のドラマ(群衆)	2015年	細編み、毛糸(アクリル)	151×201	作家蔵
加藤 千晶	帰り道、ピオトープにノースポール	2024年	細編み、毛糸(アクリル・コットン・ウール)	253×320	作家蔵
加藤 千晶	家族写真	2018年	細編み、毛糸(アクリル・ウール)	120×110	個人蔵
加藤 千晶	「いってらっしゃい」と「おかえり」の間のドラマ(母子像)	2016年	細編み、毛糸(アクリル)	178×150	作家蔵
加藤 千晶	制作のためのスケッチ	2017-2025年	水彩、紙	10×15	作家蔵
石橋 貴美子 ISHIBASHI Kimiko					
石橋 貴美子	朝食を待って	2015年	油彩、木板	31.8×40.9	個人蔵
石橋 貴美子	マエストロのアトリエ	2018年	油彩、キャンバス	27.4×22	個人蔵
石橋 貴美子	おけいこ	2017年	油彩、木板	45.5×65.2	個人蔵
石橋 貴美子	ジョヴァンナ宅の朝食	2016年	油彩、木板	41×31.8	個人蔵
石橋 貴美子	えほん	2016年	油彩、木板	31.7×40.9	個人蔵
石橋 貴美子	遠い海	2018年	油彩、キャンバス	51.5×44	作家蔵
石橋 貴美子	貝殻ひろい	2017年	油彩、キャンバス	33.4×24.4	個人蔵
石橋 貴美子	カダケスの猫の家	2018年	油彩、キャンバス	45.4×38.3	作家蔵
石橋 貴美子	しろつめくさ	2013年	油彩、キャンバス	78.2×97.8	作家蔵
石橋 貴美子	チューリップの想い	2015年	油彩、木板	41×31.8	個人蔵
石橋 貴美子	バラ	2018年	油彩、キャンバス	33.2×24.3	個人蔵

作家名	作品・資料タイトル	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横)	所蔵
-----	-----------	-----	-------	----------	----

佐々木 遊 SASAKI Yu

佐々木 遊	デザインワーク	2003 - 2025 年	※「デーリー東北新聞社/東北のデザイン社」在籍時の制作物は、同社として制作。		
壁面 衣とうつわ 手の國、八戸市美術館 (「ギフト、ギフト、」展・浅田政志マツトモ、「持続するモノガタリ」展、ヨッテミッテ)、伊藤二子プロジェクト (八戸市美術館コレクションラボ関連展示)、赤間印刷工業、八戸ブックセンター (ギャラリー展「羽仁もと子とわれらの研究室」)、浜と山と (風笑堂)、久慈市/北三陸「あまちゃん」観光推進協議会、日本の味 俵屋 (しんぶんカフェ)、デーリー東北新聞社/東北のデザイン社 (カナエルはちのへ、奥入瀬サミット「リフレイミング」、ハウジングタウン下田、デーリー東北選書、JTBたびーぐ支店)、Creative Studio つつ、八戸クリニック街かどミュージアム/八戸歴史文化発信事業実行委員会 (はちのへヒストリア、ヨッテミッテ)、浜市場みなどつと (のっける井)、ノード、ルピナスネットワーク、大山知希 (あもりアツテラ)、伊吉、五分 / 岩井義、グローバルフィールド (シャモロック)、AREA (写真展) 五戸木工、オハナ建築デザイン事務所、八戸ニューシティホテル (八戸虎鯨アヒージョ)、千葉幼稚園、ソールプランチ新丁、板橋区立教育科学館 (「夢と科学の関係展」)、白マドの灯、付加価値経営研究所 (BEAUTY BLEND SET)、グローバルテーブル、スマイルクリエイト (八戸総合歯科・矯正歯科、LAND)、バリュースhift (わのまち)、味の海翁堂 (そっこごほうび「八戸いちご煮の炊き込みご飯」)、川口印刷工業 (洋野トレイルマップ)、八戸市					
佐々木 遊	300 (ITHUMUS展/イカノフ2017 出展作品)	2007 年	作品 画像 のスライドショー		作家 蔵
伊藤二子、 佐々木 遊	無題	2010 年	アクリル、キャンバス	53×45.5 2 点組	作家 蔵

三村 紗瑛子 MIMURA Saeko

三村 紗瑛子	そこには確かなものがあつた	2016 年	油 彩、キャンバス	181.8×227.3	作家蔵
三村 紗瑛子	分かれた遊び	2021 年	油 彩、キャンバス	72.7×100	作家蔵
三村 紗瑛子	いつもの境界線	2024 年	油 彩、キャンバス	194×130.3	作家蔵
三村 紗瑛子	やわらかな対峙	2019 年	油 彩、キャンバス	194×130.3	作家蔵
三村 紗瑛子	すべてからはじまるように	2020 年	油 彩、キャンバス	130.3×324	作家蔵
三村 紗瑛子	見つからないかたち	2022 年	油 彩、キャンバス	31.8×45.5	作家蔵
三村 紗瑛子	あなたを否定しないように	2021 年	油 彩、キャンバス	45.5×33.3	作家蔵
三村 紗瑛子	借景の部屋	2023 年	油 彩、キャンバス	162×194	作家蔵
三村 紗瑛子	ため息を踏みしめて	2022 年	油 彩、キャンバス	194×130.3	作家蔵
三村 紗瑛子	あなたを見つめる先に	2024 年	油 彩、キャンバス	130.3×194	作家蔵

庭田 薫 NIWATA Kaoru

庭田 薫	天照	2024 年	油 彩・アクリル、キャンバス	60.6×91	作家蔵
庭田 薫	茫洋	2023 年	油 彩・アクリル、キャンバス	91×116.7	作家蔵
庭田 薫	朝陽	2024 年	油 彩・アクリル、キャンバス	91×65.2	作家蔵
庭田 薫	光明	2023 年	油 彩・アクリル、キャンバス	91×72.7	作家蔵
庭田 薫	旭Ⅰ	2025 年	油 彩・アクリル、キャンバス	22.7×15.8	作家蔵
庭田 薫	一閃	2024 年	油 彩・アクリル、キャンバス	194×130.3	作家蔵
庭田 薫	旭Ⅱ	2025 年	油 彩・アクリル、キャンバス	22.7×15.8	作家蔵
庭田 薫	夕陽Ⅱ	2023 年	油 彩・アクリル、キャンバス	91×65.2	作家蔵
庭田 薫	眩耀	2024 年	油 彩・アクリル、キャンバス	145.5×112	作家蔵
庭田 薫	暁光	2024 年	油 彩・アクリル、キャンバス	24.2×41	作家蔵

米内 安芸 YONAI Aki

米内 安芸	ローザンヌにて	1992 年	発色現像方式 印画	53×64	作家蔵
米内 安芸	失われた時間 Ⅲ	1990 年代	発色現像方式 印画	52×73	作家蔵
米内 安芸	赤い糸	1995 年頃	発色現像方式 印画	103×73	作家蔵
米内 安芸	Natural 赤い魚	1995 年頃	発色現像方式 印画	100×75	作家蔵
米内 安芸	長者山にて	2005 年	発色現像方式 印画	57.5×82	作家蔵
米内 安芸	小中野	2003 年	発色現像方式 印画	73×103	作家蔵
米内 安芸	厳冬	2008 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	こどもの国 朝	2010 年	発色現像方式 印画	73×103	作家蔵
米内 安芸	冬の兆し	2010 年頃	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	女	2011 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	新井田川を臨む	2011 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	HISTORY	2012 年	発色現像方式 印画	90×60	作家蔵
米内 安芸	銀座	2012 年	発色現像方式 印画	90×60	作家蔵
米内 安芸	白浜	2014 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	有楽町	2015 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	お稲荷さん	2017 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	正月浅草寺	2019 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	冬の訪い	2020 年	発色現像方式 印画	74×61	作家蔵
米内 安芸	かたち	2021 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	幸せのかたち	2022 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	4 種のかたち	2023 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵
米内 安芸	失われた時間	2023 年	発色現像方式 印画	60×90	作家蔵



作家名/制作者名	作品・資料タイトル	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横)	所蔵
YAM					
YAM	パンクシーの主題による変奏曲	2021年	インクジェットプリント	103×145	作家蔵
saule branche shinchō	Anarchic Orbit		映像(4分27秒)	*編集:吉川拓志	
トルホヴォッコ楽団	トルホヴォッコのうた		映像(3分25秒)		
トルホヴォッコ楽団	ハートに木をつけて		映像(3分20秒)		
トルホヴォッコ楽団	恋する星くず		映像(2分49秒)	*詩・絵:YAM	
トルホヴォッコ楽団	風のワルツ		映像(3分23秒)	曲:吉川拓志・久保あやか	
トルホヴォッコ楽団	1.2.3.たくさん		映像(3分44秒)	アニメーション:あべゆう	
トルホヴォッコ楽団	ニコブン		映像(1分39秒)		
トルホヴォッコ楽団	涙はアイのすむところ		映像(6分06秒)		
The Otherside Quartet	Mother, Son And The Holy Ghost		映像(2分53秒)	*アニメーション:YAM 作曲:Jun Furuya	
YAM	Piano	2021年	iPad絵画、ジークレー印刷	21.4×30.3	作家蔵
YAM	ABSTRACT #2	2023年	iPad絵画、ジークレー印刷	99.4×143(額寸)	作家蔵
YAM	Dance	2023	iPad絵画、ジークレー印刷	103×145.6	作家蔵
YAM	ABSTRACT #10	2023年	iPad絵画、ジークレー印刷	79×145	作家蔵
YAM	Caetano Veloso	1990年代	ソフトパステル、紙	70×52	作家蔵
YAM	Blue Moon Quartet	2014年	ソフトパステル、紙	50.5×65.5	作家蔵
YAM	Wild Wild Mundo Rock Baby!	2025年	ミクストメディア、紙	75.5×136.3	作家蔵
YAM	シベリアンハスキー	2017年	ソフトパステル、紙	65.7×48.5	作家蔵
YAM	大MAGROCK	2023年	ソフトパステル、紙	66×50.3	作家蔵
YAM	Hugo Fattoruso y Rey Tambor	2014年	ソフトパステル、紙	50.5×65.3	作家蔵
YAM	伊勢バンド・JAPANISMO	1994年	ソフトパステル、紙	54.3×47	作家蔵
YAM	福猫	2014年	ソフトパステル、紙	38×70	Gig蔵
YAM	トルホヴォッコの森	2019年	ソフトパステル、紙	50.3×66	作家蔵
YAM	Cantor	1990年代	ソフトパステル、紙	72×53.5	saule branche shinchō蔵
YAM	Zé Ibarra	2024年	ソフトパステル、紙	65.5×50.3	6かく珈琲蔵
YAM	Dos Orientales-2	2014年	ソフトパステル、紙	65.8×50	作家蔵
YAM	Viva! Bossa!!	2012年	ソフトパステル、紙	64×49.5	saule branche shinchō蔵
YAM	Dos Orientales-1	2012年	ソフトパステル、紙	48.5×64.5	作家蔵
YAM	はっち市	2019年	ソフトパステル、紙	65.5×80	作家蔵
YAM	大MAGROCK	2011年	ソフトパステル、紙	65×50	作家蔵
YAM	João Lyra	2010年	ソフトパステル、紙	64.8×49.5	saule branche shinchō蔵
YAM	フクロウが住む森	2014年	ソフトパステル、紙	50.3×66	作家蔵
YAM	羊たち	2015年	ソフトパステル、紙	50.3×66	作家蔵
YAM	象	2020年	ソフトパステル、紙	50×65	横沢氏蔵
YAM	ダモ鈴木	2010年	ソフトパステル、紙	64.5×48.5	作家蔵
YAM	Saturn and Moon	2014年	ソフトパステル、紙	48.5×64.5	作家蔵
YAM	赤の中の肖像	2019年	ソフトパステル、紙	64.5×48.5	作家蔵
YAM	組曲のためのコンポジション	2014年	ソフトパステル、紙	64.5×48.5	作家蔵
YAM	Piano Flor	2015年	インクジェットプリント	103×145.6	作家蔵
YAM	アフリカのバースペクティヴ	2017年	ミクストメディア、レーザープリント	102.3×152.7	作家蔵
YAM	反射と振動	2017年	ミクストメディア、レーザープリント	102.3×153.3	作家蔵
YAM	ワスルルワルツ	2017年	ミクストメディア、レーザープリント	102.7×153.3	作家蔵
YAM	Yes	2007年	詩		

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化

浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化

1. 事業内容

浮世絵に出会い、今日（コンニチ）を見つめ、江戸文化を大観（タイカン）しながら体感（タイカン）できる展覧会。

八戸市美術館の近隣に位置し、浮世絵を中心としたプライベートコレクションを持つ「八戸クリニック街かどミュージアム」との共同企画。浮世絵の制作工程や、彫師・摺師の技、描かれたモチーフ、浮世絵に関するコミュニティ、八戸に関連する浮世絵作品など、浮世絵について多角的に紹介。街かどミュージアム、藤沢市、秦野市から借用した作品や道具、版木など、約210点を展示。作品展示のほか、江戸時代と現代の和紙を顕微鏡で見比べたり、浮世絵に触ったり、体感できるコーナーも設けた。また、八戸クリニック街かどミュージアムの事業を紹介する展示や、本展をきっかけに市民が主催した「共創企画」も多数開催された。連携事業として、市内の教育コーディネーターによる団体、Edulinksとの共同企画で、展覧会独自のワークシートを制作。小学生向け、中高生向け、マップの3種類があり、親子を対象としたワークショップでも活用した。

2. 開催概要

会期 | 2025年4月19日（土）～6月15日（日）

開催日数 | 43日間

会場 | ホワイトキューブ、ジャイアントルーム

観覧料 | 一般1,000円（800円）、大学生・専門学校生500円（400円）、高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金。

※有料駐車場ご利用の運転手1名に団体料金適用。

※八戸市内および近隣町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）在住の65歳以上の方／障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額。

※フリーパス「かおパス」一般1,500円、大学生・専門学校生750円

主催 | 八戸市美術館

共同企画 | 八戸クリニック街かどミュージアム

後援 | 八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、NHK青森放送局、八戸テレビ、

デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM

入場者数 | 4,226人

図録 | B5、128頁

編集：小倉学（八戸クリニック街かどミュージアム館長兼学芸員）、平井真里、田村由衣／執筆：小倉学、平井真里／デザイン：齊藤麻理子（アイズ）／印刷：新光印刷株式会社／発行日：2025年3月31日／発行：八戸市美術館

ポスター | B2、片面

チラシ | A3、両面

ハンドアウト | A3、両面（作品リスト）

ワークシート | A3、両面（マップ、小学生向け、中高生向け）

グラフィックデザイン | アイズ

会場構成 | 日本大学理工学部佐藤慎也研究室

映像 | 神智

共同企画者 | 小倉学

担当学芸員 | 平井真里、田村由衣

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

浮世絵コンニチは タイカ
ンする江戸文化

3. 関連イベント

・AI浮世絵画像ワークショップ

開催日 | 2025年4月19日(土) 14:00~16:00

講師 | 佐々木遊 (CreativeとDesign アソビス代表、
デザイナー)

会場 | スタジオ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 11人

内容 | ギャラリーツアーの後、AI画像生成ツール
を使って自分だけの浮世絵画像を作成した。参
加者が生成した画像は館内のモニターで公開し
た。

・ギャラリーツアー

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ、ギャラ
リー

参加料 | 要展覧会チケット

内容 | 共同企画者である小倉や担当学芸員が展
覧会を案内。5月18日の英語通訳付きの回では、
展覧会チケット所有者を対象に、モダン着物を取
り扱う「blanche」による着物の貸出を行った。

①共同企画者によるギャラリーツアー

開催日 | ①2025年4月27日(日) 11:00~12:00

解説者 | 小倉学

参加者数 | 23人

②英語通訳ギャラリーツアー

開催日 | 2025年5月18日(日) 10:30~11:00着物
合わせ、11:00~12:00ツアー

解説者 | 小倉学

協力 | blanche (吉田紀苑)

参加者数 | 13人

③手話通訳ギャラリーツアー

開催日 | 2025年6月1日(日) 11:00~12:00

解説者 | 平井真里

参加者数 | 12人

・ふらっと摺り体験

開催日 | ①2025年5月4日(日)②6月8日(日) 各
回10:00~16:00

協力 | 藤沢市

会場 | スタジオ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | ①75人②75人

内容 | 学芸員が実施する小規模な摺り体験ワー
クショップ。藤沢市藤澤浮世絵館から借用した道

具を使い、浮世絵と同じ手法で摺り体験ができ
る。

・ワークショップ 多色摺木版画で団扇づくり

開催日 | 2025年5月25日(日)①10:00~12:00
②14:00~16:00

協力 | 東京 高橋工房

会場 | スタジオ

参加料 | 2,500円

参加者数 | ①12人②12人

内容 | 江戸木版画の摺り職人を講師として、多色
摺りを体験。自分で摺った作品を団扇に仕立て
た。

・ワークショップ 親子で和紙すき体験

開催日 | 2025年6月15日(日) 14:00~16:00

講師 | 青森県立八戸高等支援学校生徒

協力 | 青森県立八戸高等支援学校、Edulinks

会場 | スタジオ

参加料 | 要展覧会チケット、材料費1組100円

参加者数 | 8組20人

対象 | 小学生親子

内容 | 市内団体のEdulinksとの共同企画。ワー
クシートを使いながら、親子で展覧会鑑賞および
ワークショップを行った後、八戸高等支援学校生
徒を講師に、牛乳パックからの和紙づくりを体験
した。つくった和紙は、後日美術館で受け取りと
した。

4. 共創企画

・特別展示 八戸クリニック街かどミュージアム紹 介展示

会期 | 2025年4月19日(土)~6月15日(日)

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム×八戸市
美術館

内容 | 八戸クリニック街かどミュージアムが行った
展覧会や事業を紹介。

・街かどサロン

①浮世絵②西洋絵画とジャポニスム

開催日 | ①2025年5月3日(土)②6月7日(土) 各
回14:00~16:00

会場 | スタジオ

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化

参加料 | 500円

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム×八戸市美術館

内容 | 八戸クリニック街かどミュージアム館長・小倉学とともに、30分展程度の基礎講座の後、テーマに関連した好きな美術について自由に話した。

・トークイベント「あなたならどう楽しむ？」

開催日 | 2025年5月11日（日）14:00～16:00

ゲスト | 石橋元平（山車制作者）、佐々木遊（デザイナー）、中村佳代子（fig photography）

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム×八戸市美術館

内容 | 様々な立場のゲストから、それぞれの浮世絵の楽しみ方を聞いた。

・着物で浮世絵鑑賞

開催日 | 2025年5月18日（日）14:00～17:00

協力 | blanche（吉田紀苑）

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 要展覧会チケット

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム×八戸市美術館

内容 | 展覧会を鑑賞する間、着物を貸出。

・伝統模様「型染め」ワークショップ

開催日 | 2025年6月1日（日）13:30～16:00

講師 | 川守田礼子（八戸工業大学感性デザイン学部感性デザイン学科教授）

会場 | ワークショップルーム

参加料 | 500円

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム×八戸市美術館

内容 | 浮世絵にも描かれている伝統的な模様の型染めを体験。

・帆風美術館 デジタル光筆画展「肉筆浮世絵」～浮世絵への連なり～

会期 | 2025年4月27日（日）～9月28日（日）

会場 | 帆風美術館

休館日 | 月・火・土 ※5月3日、5月5日は開館

観覧料 | 無料

主催 | 帆風美術館

内容 | 浮世絵師による肉筆画を再現展示。

・帆風寄席「落語と漫談のタベ」

開催日 | 2025年5月3日（土）13:30～15:00

会場 | 帆風美術館

出演 | 落語：大地球／マジック：ケン・シラハタ

木戸銭（参加料） | 1,000円～

主催 | 帆風美術館

内容 | 八戸の噺家による落ちと、マジックを楽しむイベント。

5. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デーリー東北「春を満喫お出かけ特集」2025年4月24日
- ・デーリー東北「浮世絵の魅力体感を 八戸市美術館で企画展 あす開幕」2025年4月18日
- ・東奥日報「浮世絵で江戸文化体験 八戸市美術館 版本など200点余」2025年4月19日
- ・デーリー東北「江戸文化“大観”し“体感” 浮世絵 時代のつながり感じて」2025年4月20日
- ・デーリー東北「連載 上 職人たちの超絶技巧」2025年5月31日
- ・デーリー東北「連載 中 遊んで楽しむ」2025年6月6日
- ・デーリー東北「連載 下 天保の改革」2025年6月13日

雑誌 |

- ・阿部出版『版画芸術』展覧会スポットライト記事、2025年3月1日

テレビ |

- ・NHK青森「あっぶるワイド 展覧会情報」2025年5月17日
- ・青森放送「盲学校の生徒たちが浮世絵展を“鑑賞” 江戸時代の文化に“触れる” 青森県八戸市」2025年6月4日

WEB |

- ・はちまち「浮世絵に出会い、今日を見つめる『浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化』開催中」2025年4月28日 (https://8machi.com/products/artmuseum_11?srltid=AfmBOoo3CGObIfSi09ZBY7KO6-RsfrmE_ky95iutLK0KLYoLgHwEXNcPu)

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

浮世絵コンニチは タイカ
ンする江戸文化

6. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



AI浮世絵画像ワークショップ



ふらっと摺り体験



ワークショップ 多色摺木版画で団扇づくり



ワークショップ 親子で和紙すき体験

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

浮世絵コンニチは タイカ
ンする江戸文化

7. 広報物／ハンドアウト

**浮世絵コンニチは
タイカンする江戸文化**

**Hello Ukiyo-e:
Bridging Edo Culture
and Today**

2025
4/19日 - 6/15日

八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字東町 15-4
TEL 0178-65-6338 / FAX 0178-24-4531
Mail | art@city.hachinohe.aomori.jp
HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>

開館時間 | 10:00 ~ 19:00
最終入場 18:30
休 日 | 土曜日
5月7日(水)
※4月29日、5月6日は閉館

一 般 1,200円 (800円) 大学生・専門学校生 500円 (400円)
※6歳以下 無料
※() 内は20名以上の団体料金
※有料駐車場と無料の自転車置き場に団体料金適用
※八戸市内および近隣町村(江戸町、五戸町、田子町、鹿野町、馬上市、新井町、弘前市)は、往復バス乗車1名は半額
※乗車券手帳をお持ちの方とその他の乗客1名は半額
フリーパス(おがバス) (本館に限り同席でも利用可)
一 般 1,500円 大学生・専門学校生 750円
※乗車券付とフリーパスの重複適用不可

八戸市
美術館
Hachinohe
Art Museum

ポスター

浮世絵コンニチは タイカ
ンする江戸文化

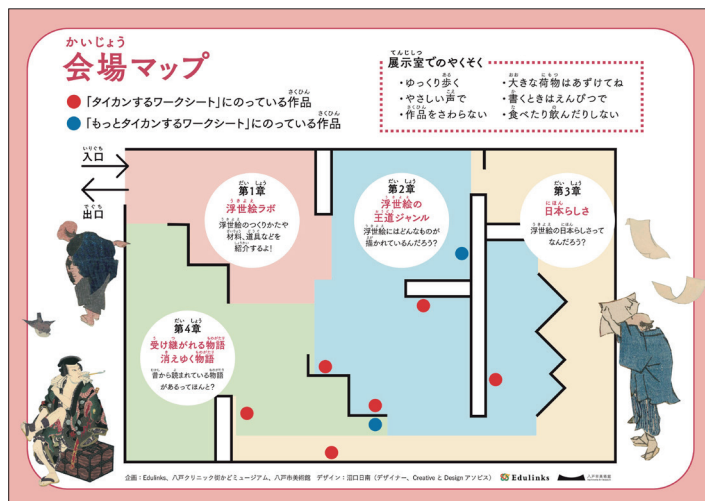
1. 展覧会+プロジェクト

企画展

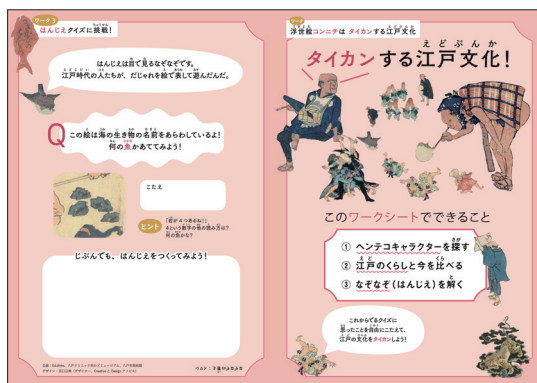
浮世絵コンニチは タイカン
する江戸文化



ワークシート（マップ）（表）



ワークシート（マップ）（裏）



ワークシート（小学生向け）（表）



ワークシート（小学生向け）（裏）



ワークシート（中高生向け）（表）



ワークシート（中高生向け）（裏）

浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化

Hello Ukiyo-e: Bridging Edo Culture and Today



2025. 4/19 (土) -6/15 (日)

No / 絵師名 / 作品名 / 制作年号 (西暦) / 判型・素材等 / 所蔵者名

第1章 浮世絵ラボ

- 歌川国貞 (3代豊国)
草稿
万延元年 - 元治元年 (1860-64) 頃
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
下絵
万延元年 - 元治元年 (1860-64) 頃
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
東海道五十三次之内 宮 景清 (裏面)
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川広重
小倉擬百人一首 能因法師 宿祢太郎
立田の前 (裏面)
天保 14 年 - 弘化 4 年 (1843-47)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
東海道五十三次之内 吉田之駅 夕霧
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
東海道五十三次之内 吉田之駅 夕霧
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
東海道五十三次之内 白須賀 猫塚
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞
新板錦絵当世美人合 秀佳きどり
文化 12 年 (1815) 頃 / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
梨園供客伝 土左衛門伝きち 坂東亀藏
文久 3 年 (1863) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 2代歌川国貞
隅田川岡の賑ひ
安政 3 年 (1856) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
東海道五十三次之内 沖津 児雷也
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
東海道五十三次之内 二川 石川友市
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
江戸土産浮名のだまづき
新造白玉 牛若伝次
元治元年 (1864) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
江戸土産浮名のだまづき
新造白玉 牛若伝次
元治元年 (1864) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
大日本六十余州之内 豊後
天保 14 年 - 弘化 4 年 (1844-47)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 妻籠
安倍保名 葛葉狐
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
七婦久人 弁天
制作年未詳 / 大判錦絵
藤沢市
- 歌川国芳
七婦久人 弁天
制作年未詳 / 大判錦絵
藤沢市
- 豊原国周
四ッ谷怪談 戸板返之図
明治 17 年 (1884) / 大判錦絵 3 枚続
藤沢市
- 歌川国貞
當世五人男
天保 (1830-44) 初期頃か
大判錦絵 5 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム

第2章 浮世絵の王道ジャンル

- 歌川国貞 (3代豊国)
天日坊法策 市川小国次 米升
万延元年 (1860) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
十八番之内 壹 暫 鎌倉権五郎景政
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
十八番之内 勸進帳
武蔵坊弁慶 富樫左衛門
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
稲田幸蔵 4代中村芝翫
文久元年 (1861) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞
東海道五十三驛の内 岡崎八橋村 十六夜
文化 12 年 - 天保 13 年 (1815-42)
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
本朝丸網五郎成田山之御利益
二而危一命ヲ助ルノ処
嘉永 4 年 (1851) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
役者化粧姿絵 河原崎権十郎
文久元年 (1861) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞 (3代豊国)
役者化粧姿絵 沢村田之助
文久元年 (1861) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 作者未詳
8代市川団十郎死絵
嘉永 7 年 (1854) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 菊川英山
青楼美人合 岡本屋 稲岡 茂枝
文政 (1818-30) 初期頃 / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 淡斎英泉
吉原要事廓の四季志
五月端午初のおやめ 松葉屋内代々山
文政 6 年 (1823) 頃 / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞
浮世十六むさし 子をだしにして
文政 (1818-30) 頃 / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国貞
別荘ノ秋景
嘉永 6 年 (1853) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
山海めでたいづゑ 十九
はやくめしたい 播州高砂 蛸
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
秦野市
- 歌川国芳
山海目出たい図会 井六
くせが直したい 相州鰐魚釣
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
藤沢市
- 歌川国貞
時世江戸鹿子 茅場町 旅宿
文化 12 年 - 天保 13 年 (1804-42)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
程義経恋源 一代鏡 三略伝 第一
弘化 4 年 - 嘉永 5 年 (1847-52)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
通俗水滸伝豪傑百八人之一個
九紋龍史進 跳調虎陳達
文政 10 年 (1827) 頃 / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
通俗水滸伝豪傑百八人之一人
花和尚魯智深初名魯達
文政 10 年 (1827) 頃 / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
四条噺の戦い 楠帯刀正行
安政 4 年 (1857) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
四条噺の戦い 小代兵庫
安政 4 年 (1857) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
大江山酒吞退治
安政 5 年 (1858) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 京都 鶴
嘉永 5 年 (1852) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川国芳
義経之軍兵一ノ谷逆落し之図
文化期 - 天保期 (1804-44)
大判錦絵 3 枚続
藤沢市
- 歌川国芳
大物浦義経渡海図
弘化 4 年 - 嘉永 5 年 (1847-52)
大判錦絵 3 枚続
藤沢市
- 歌川国芳
主馬佐酒田公時
朝展尉確井貞光 瀧口内舎人源次綱
文久元年 (1861) / 大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川広重
東海道五十三次之内 (保永堂版)
奥津 興津川
天保 4-5 年 (1833-34) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
- 歌川広重
東海道五十三次之内 (保永堂版)
藤枝 人馬継立
天保 4-5 年 (1833-34) / 大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム

49. 歌川広重 東海道五十三次之内（保永堂版） 赤阪 旅舎招婦ノ図 天保 4-5 年（1833-34）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	50. 歌川広重 東海道五十三次之内（保永堂版） 庄野 白雨 天保 4-5 年（1833-34）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	51. 歌川広重 東海道五十三次之内（保永堂版） 吉原 左富士 天保 4-5 年（1833-34）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	52. 歌川国貞 東海道五拾三次之内 （東海道五拾三次景色入女画） 吉原 天保期（1830-44）／中判錦絵 藤沢市
53. 歌川広重 東海道五拾三次（狂歌入） 吉原 左り富士ノ縄手 天保 13 年（1842）頃／中判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	54. 歌川広重 東海道五十三次之内（保永堂版） 関 本陣早立 天保 4-5 年（1833-34）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	55. 歌川国貞 東海道五拾三次之内 （東海道五拾三次景色入女画） 関 天保期（1830-44）／中判錦絵 藤沢市	56. 歌川広重 五十三次名所図会 四十六 庄野 安政 2 年（1855）／大判錦絵 藤沢市
57. 歌川広重 五十三次名所図会 四十八 関 安政 2 年（1855）／大判錦絵 藤沢市	58. 歌川芳豊、五葉舎万字、國原屋正助 当年新板 東海道名所案内双陸 文久 2 年（1862）／ 紙本多色摺 h60.8×w93.4 cm 藤沢市	59. 2代歌川広重（重宣） 諸国名所百景 薩州枕崎海門ヶ嶽 寿星踊 安政 6 年（1859）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	60. 2代歌川広重（重宣） 諸国名所百景 奥州相馬妙見祭 馬追の図 安政 6 年（1859）／大判錦絵 秦野市
61. 歌川国貞（3代豊国） 暦中段つくし 納 意勢困世身見立十二直 梅見月のはつ午 弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	62. 歌川国貞 五節句ノ内 文月 天保 4 年（1833）頃／大判錦絵 3 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム	63. 歌川国貞（3代豊国）、2代歌川広重 江戸自慢三十六興 両ごく大花火 元治元年（1864）／大判錦絵 秦野市	64. 歌川広重 相州江之嶋弁才天開帳参詣群集之図 弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52）頃 大判錦絵 3 枚続 藤沢市
65. 歌川広重 相州江之嶋弁才天開帳参詣群集之図 弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52）頃 大判錦絵 3 枚続 藤沢市	66. 落合芳幾 富士山北口女人登山之図 万延元年（1860）／大判錦絵 3 枚続 藤沢市	67. 歌川芳藤 庚申年富士山参詣群集之図 万延元年（1860）／大判錦絵 3 枚続 藤沢市	68. 2代歌川国盛 さかなのはんじもの 上 弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52） 大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム
69. 歌川芳藤 奪衣婆 嘉永 2 年（1849）頃／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	70. 歌川豊久 新吉原屋組上廻りどうろう 文化期 - 天保期（1804-44） 大判錦絵 3 枚続 藤沢市	71. 歌川広重 即興かげぼし尽し 入ふね 茶わんちゃ台 天保 11-13 年（1840-42）頃／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	72. 2代歌川国貞 投扇興當安絵 揚まき 権八 お七 おそめ 万延元年（1860）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム
73. 歌川芳富 有掛絵 五月十七日土水性ノ人 有掛に入七ヶ之間万吉 元治元年（1864）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	74. 歌川国貞（3代豊国） 七ふ字有掛人船 安政 5 年（1858）／大判錦絵 2 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム	75. 作者未詳 鯉絵 自身除妙法 安政 2 年（1855）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	76. 作者未詳 鯉絵 雨にハ困り升 野じゅうくらくのそとね 安政 2 年（1855）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム
77. 歌川豊国 摺物 大小絵暦 芝居土座 文政 4 年（1821） 錦絵 h14.0×w18.9 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	78. 歌川国長 摺物 大小絵暦 龍に仙人 文政 3 年（1820） 錦絵 h19.0×w6.1 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	79. 作者未詳 摺物 大小絵暦 日の出 寛政 8 年（1796） 錦絵 h10.1×w21.7 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	80. 葛飾北斎 摺物 馬尽し 有馬産 文政 5 年（1822） 錦絵 h21.0×w19.0 cm 八戸クリニック街かどミュージアム
81. 葛飾北斎 摺物 顕微鏡と蝶 寛政 12 年（1800）頃 錦絵 h19.9×w13.9 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	82. 魚屋北溪 摺物 五条橋 義経 制作年未詳／錦絵 h21.9×w18.2 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	83. 魚屋北溪 摺物 日本三景の内 其一 松島 天保 6 年（1835）頃／錦絵 h20.8×w17.2 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	84. 魚屋北溪 摺物 日本三景の内 其二 天橋立 天保 6 年（1835）頃 錦絵 h20.8×w17.3 cm 八戸クリニック街かどミュージアム
85. 魚屋北溪 摺物 日本三景の内 其三 宮島 天保 6 年（1835）頃 錦絵 h20.8×w17.5 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	86. 葵岡溪栖 摺物 ヤマトノオロチ退治 制作年未詳／錦絵 h21.1×w36.0 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	87. 元圭綱、平秩東作、竹杖為経編、 北尾政美、北尾政演画 『狂文宝合之記 客品』 天明 3 年（1783） 墨摺繪本 h23.0×w16.3 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	88. 作者未詳 摺物 午の春興 文政 5 年または天保 5 年（1822, 34） 錦絵 h21.5×w18.9 cm 八戸クリニック街かどミュージアム
89. 作者未詳 摺物 巳の春興 文政 4 年（1821）／錦絵 h19.8×w13.7 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	90. 作者未詳 摺物 文政十一子のとし 春興 文政 11 年（1831） 錦絵 h21.0×w14.2 cm 八戸クリニック街かどミュージアム	91. 歌川菊麿 大大講中 寛政 10 年（1798）頃 大判錦絵 3 枚続 藤沢市	92. 歌川国貞 荒馬吉五郎 天保 10-13 年（1839-42） 大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム
93. 歌川国貞 千年川音楽 天保 12-13 年（1841-42） 大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	94. 歌川国貞（3代豊国） 階ヶ嶽竜右エ門 嘉永元 -5 年（1848-52） 大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム		

第3章 日本らしさ

95. 歌川広重 名所江戸百景 神田紺屋町 安政 4 年（1857）／大判錦絵 秦野市	96. 歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲 安政 4 年（1857）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	97. 歌川広重 五十三次名所図会 卅二 荒井 安政 2 年（1855）／大判錦絵 藤沢市	98. 歌川広重 東海道五十三次之内（保永堂版） 袋井 出茶屋ノ図 天保 4-5 年（1833-34）／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム
99. 歌川国貞（3代豊国） 双蝶々曲輪日記 安政元年（1854）／大判錦絵 3 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム	100. 歌川国芳 国芳模倣正礼附現金男 団七九郎兵衛 弘化 2-3 年（1845-46）／大判錦絵 秦野市	101. 歌川国貞（3代豊国） 古今角力鏡 鬼ヶ嶽 安政 2 年（1855）／大判錦絵 秦野市	102. 月岡芳年 八島壇之浦合戦 義経八艘飛之図 慶応元年（1865）／大判錦絵 3 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム
103. 歌川国貞 本朝武者高名鑑 村上彦四郎義輝 天保（1830-44）前期頃／大判錦絵 八戸クリニック街かどミュージアム	104. 豊原国周 俳優見立東海道五十三駅 元治元年（1864）／大判錦絵 5 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム	105. 豊原国周 江戸の花若手五人揃 元治元年（1864）／大判錦絵 5 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム	106. 豊原国周 花盛美人揃 安政 6 年（1859）／大判錦絵 5 枚続 八戸クリニック街かどミュージアム

107. 歌川国貞（3代豊国）
喜の字尽くし 七 生八丈
才三 市村羽左衛門 おこま 沢村田之助
文久元年（1861）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
108. 歌川国貞（3代豊国）
喜の字尽くし 四 きせる
助六 川原崎権十郎
文久元年（1861）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
109. 歌川国貞
浄瑠璃づくし 宵庚申
文政 12 年（1829）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
110. 歌川国芳
助六廓の花見時
嘉永 3 年（1850）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
111. 歌川国貞（3代豊国）
時代模筆當白波
安政 6 年（1859）／大判錦絵 6 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
112. 歌川芳虎
白浪五人男
慶応 2 年（1866）／大判錦絵 5 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
113. 歌川国貞（3代豊国）
今様押絵鏡 団七九郎兵衛
安政 6 年（1859）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
114. 歌川国貞（3代豊国）
今様押絵鏡 おじょう吉三
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
115. 歌川国貞（3代豊国）
今様押絵鏡 和尚吉三
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
116. 歌川国貞（3代豊国）
今様押絵鏡 於坊吉三
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
117. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 雲龍 3 代市川市藏
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
118. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 鳳凰 中村福助
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
119. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 竹に虎 河原崎権十郎
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
120. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 雪松に鷲 8 代片岡仁左衛門
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
121. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 孔雀 3 代沢村田之助
万延元年（1860）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
122. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 海松紋（ちりめん）
万延元年（1860）／縮緬絵 h22.3×w16.7 cm
八戸クリニック街かどミュージアム
123. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 鳥と鷲（ちりめん）
万延元年（1860）
縮緬絵 h23.7×w17.7 cm
八戸クリニック街かどミュージアム
124. 歌川国貞（3代豊国）
蛭狩當風俗 獅子の子落とし（ちりめん）
万延元年（1860）／縮緬絵 h22.2×w16.5 cm
八戸クリニック街かどミュージアム
125. 溪斎英泉
美人会中鏡 時世六佳撰
文政 9-10 年（1826-27）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
126. 溪斎英泉
雲龍打掛の花魁
文政（1818-30）後期 - 天保（1830-44）前期
大判錦絵縦 2 枚組
八戸クリニック街かどミュージアム
127. 歌川国貞
浮世見立扇之的
文化 12 年 - 天保 13 年（1815-44）
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
128. 歌川国貞
初西の屋根ふね 浮世三奥
文化期 - 文政期（1804-30）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
129. 歌川国貞（3代豊国）
今様三十二相 かわいらし相
文久元年（1861）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
130. 歌川広重
東海道五十三図会 七 藤沢（美人東海道）
弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52）
大判錦絵
藤沢市
131. 歌川国芳
七里ヶ浜より江のしまの遠景
嘉永 6 年（1848-54）／大判錦絵 3 枚続
藤沢市
132. 歌川国貞（3代豊国）
十二月ノ内 早月 生花会
安政元年（1854）／大判錦絵 3 枚続
秦野市
133. 歌川国貞（3代豊国）
當世好男子伝 松
安政 5 年（1858）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
134. 歌川国貞（3代豊国）
當世好男子伝 竹
安政 6 年（1859）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
135. 歌川国貞（3代豊国）
當世好男子伝 梅
安政 6 年（1859）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
136. 歌川国貞（3代豊国）
時世石ばし山 頼朝ふし木かくれの図
文化期（1804-18）／大判錦絵 3 枚続
藤沢市
137. 歌川芳艶
武勇高名組討撰 股野五郎景久
真田興一義忠
安政 2 年（1855）／大判錦絵
藤沢市
138. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 上尾 三浦の高雄
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
139. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 塩尻 高木虎之介
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
140. 歌川広重
諸国六玉川 山城井出
安政 4 年（1857）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
141. 菊川英山
六玉内 伊手玉川
文化 8-10 年（1811-13）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
142. 歌川国貞（3代豊国）
見立三十六歌撰之内 在原業平朝臣 清玄
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
143. 歌川国貞（3代豊国）
見立三十六歌撰之内
藤原敏行朝臣 累の亡魂
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
144. 歌川国貞（3代豊国）
見立三十六歌撰之内
素性法師 石川五右エ門
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
145. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内
小倉 安倍宗任
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
146. 歌川国芳
小倉擬百人一首 藤原義孝 関羽
弘化 3 年（1846）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
147. 歌川広重
小倉擬百人一首 藤原実方朝臣
重氏御台 千鳥の前
弘化 3 年（1846）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
148. 歌川国貞
玄德風雪訪孔明
文政 3 年（1820）頃／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
149. 歌川国貞（3代豊国）
見立三十六歌撰之内
三条院女藏人左近 時次郎
嘉永 5 年（1852）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
150. 歌川芳艶
甕山中樋口兼光大覆退治
安政 5 年（1858）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
151. 歌川国芳
百人一首之内 能因法師
天保 11-13 年（1840-42）頃／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
152. 歌川国芳
通俗三国志之内 関羽滄義七軍
安政元年（1854）／大判錦絵 3 枚続
秦野市
153. 歌川芳艶
江戸花夜の賑
万延元年（1860）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
154. 歌川国芳
今様七小町 かよひ 12 代市村羽左衛門
弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52）／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
155. 歌川国芳
源頼政「時鳥名を…」
天保 14 年 - 弘化 4 年（1843-47）
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
156. 歌川国貞
中村座三階図
文化 12 年 - 天保 13 年（1815-42）
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
157. 歌川貞虎
新板国性爺合戦
文化 12 年 - 天保 13 年（1815-42）
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
158. 歌川国芳
二十四孝童子鑑 董永
天保 14 年 - 弘化 4 年（1844-47）
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
159. 歌川国芳
通俗三国志之内 孔明六擒孟獲
安政元年（1854）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
160. 歌川芳藤
廓通色々青樓全盛
慶応 3 年（1867）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
161. 歌川国芳
道外見富利十二志
弘化 4 年 - 嘉永 5 年（1847-52）
大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
162. 歌川芳幾
心学身之要慎
文久期（1861-64）頃か／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
163. 歌川貞秀
富士山體内巡之図
江戸末期／大判錦絵 3 枚続
藤沢市
164. 歌川国芳
源頼光公館土蜘蛛妖怪図
天保 14 年（1844）頃／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
165. 歌川国芳
流行達都繪希代稀物
嘉永元年（1848）頃／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
166. 歌川国貞（3代豊国）
幡随長兵衛出迎え図
嘉永 3 年（1850）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
167. 歌川国芳
浮世又平名画奇特
嘉永 6 年（1853）／大判錦絵 2 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
168. 歌川広景
青物魚軍勢大合戦之図
安政 6 年（1859）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
169. 河鍋曉斎
蒙古賊船退治之図
文久 3 年（1863）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
170. 河鍋曉斎
曉斎百狂 どふけ百万編
元治元年（1864）／大判錦絵 3 枚続
八戸クリニック街かどミュージアム

171. 作者未詳
天正年中上杉謙信上洛の折から…
慶応4年(1868)／大判錦絵2枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
172. 作者未詳
子供あそび百ものがたり
慶応4年(1868)／大判錦絵2枚続
八戸クリニック街かどミュージアム

第4章 受け継がれる物語、消えゆく物語

173. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 桐壺
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
174. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 若紫
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
175. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 紅葉賀
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
176. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 花の宴
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
177. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 葵
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
178. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 明石
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
179. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 湊標
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
180. 歌川国貞(3代豊国)
源氏絵物語 絵合
弘化元年(1844)頃／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
181. 歌川国貞
『修紫田舎源氏』二十五編上下
天保9年(1838)頃
多色摺絵本 h17.8×w12.2 cm
八戸クリニック街かどミュージアム
182. 2代歌川国貞
『其紫邸廻佛』十三編上下
弘化4年・文久2年(1847-62)
多色摺絵本 h17.8×w12.0 cm
八戸クリニック街かどミュージアム
183. 歌川国貞(3代豊国)
今源氏錦絵合 四夕顔
嘉永5年(1852)／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
184. 歌川国貞(3代豊国)
今源氏錦絵合 十七絵合
嘉永6年(1853)／中判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
185. 歌川国貞(3代豊国)
源氏後集余情 三十の巻 むちばかま
安政5年(1858)／大判錦絵2枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
186. 歌川国芳
今様輝氏古寺之古図
弘化4年・嘉永5年(1847-52)
大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
187. 歌川国貞(3代豊国)
玉葛初て室町へ出る粧ひの図
安政5年(1858)／大判錦絵3枚続
秦野市
188. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内
八幡 近江小藤太 八幡三郎
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
189. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 今須 曾我兄弟
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
190. 歌川貞秀
曾我物語 富士狩場 十番切図
元治元年(1864)／大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
191. 歌川国芳
富士裾野曾我兄弟本望遂図
天保14年・弘化4年(1844-47)
大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
192. 歌川国貞(3代豊国)
寿曾我対面 死絵
安政元年(1854)／大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
193. 速水春曉斎著・画
南部家旧蔵本『絵本忠臣蔵』
(前篇 10, 後篇 10) 全20冊揃
寛政12年(1800)／墨摺絵本 h21.5×w15.4
八戸市立図書館
194. 歌川芳虎
仮名手本忠臣蔵十一段統一覧之図
弘化4年・嘉永5年(1847-52)
大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
195. 歌川国貞
仮名手本忠臣蔵 五段目
天保期(1830-44)頃／大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
196. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内
日本橋品川間 高輪 由良之助
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
197. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内
日本橋品川の間 高輪 大星力弥
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
198. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内 沼津 荷物平作
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
199. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内 原 呉服屋重兵衛
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
200. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内
原の二 平作娘およね
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
201. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内 赤坂 澤井助平
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
202. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内
赤坂 澤井又五郎
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
203. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内 板橋
犬塚信乃 墓六 左母二郎 土太郎
嘉永5年(1852)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
204. 歌川国貞(3代豊国)
東海道五十三次之内 岡崎駅 政右衛門
嘉永5年(1852)／大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
205. 曲亭馬琴著、葛飾北斎画
南部家旧蔵本
『鎮西八郎為朝外伝椿説弓張月』
(前篇 6, 後篇 6, 続編 6, 拾遺 5, 残編 6)
全29冊揃
文化4-8年(1807-11)／
墨摺絵本 h22.9×w16.1 cm
八戸市立図書館
206. 曲亭馬琴著、柳川重信、淡斎英泉
2代柳川重信、歌川貞秀画
南部家旧蔵本『南総里見八犬伝』
(肇編, 二・九) 全109冊
文化11年・天保13年(1814-42)
墨摺絵本 h22.6×w15.7 cm
八戸市立図書館
207. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 板橋
犬塚信乃 墓六 左母二郎 土太郎
嘉永5年(1852)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
208. 歌川国芳
木曾街道六十九次之内 蔵 犬山道節
嘉永5年(1852)
大判錦絵
八戸クリニック街かどミュージアム
209. 豊原国周
南総里見八犬伝ノ内 芳流閣之図
文久2年(1862)／大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム
210. 歌川国貞(3代豊国)
(八犬伝・芳流閣)
嘉永期(1848-54)
大判錦絵3枚続
秦野市
211. 湖南文山訳、池田東籬校正、
2代葛飾戴斗画
『絵本通俗三国志』8編全75冊
天保7-12年(1836-41)／
墨摺絵本 h22.5×w15.8 cm
八戸クリニック街かどミュージアム
212. 歌川国芳
通俗三国志之内 玄德三雪中孔明訪図
嘉永6年(1853)／大判錦絵3枚続
八戸クリニック街かどミュージアム

参考資料

- A 葛飾北斎／富嶽三十六景 神奈川沖浪裏(高見澤研究所復刻)／昭和53年(1978)／大判錦絵12図／八戸クリニック街かどミュージアム
- B 版木／大判／八戸クリニック街かどミュージアム
- C-1-12 國東、治兵衛 選、靖中菫、桃溪 画／『紙漣重宝記』(部分)／寛政10年(1798)／墨摺絵本／東京大学総合図書館
- C-13 画像：顕微鏡で見た和紙／八戸クリニック街かどミュージアム
- D 五梅庵畔李、窪後満画／三ひらの内 松・牡丹に孔雀／文化12年・文政3年(1815-20)／色紙版／八戸市博物館
- E ルイ・ゴンス著『L'ART JAPONAIS』Tome1／1883年／36.8×28.5×5.5／八戸クリニック街かどミュージアム
- F 五梅庵畔李、柳々居辰斎画／煎茶器／文化15年(1818)／13.7×18.8／八戸市博物館
- G 五梅庵畔李、花月堂李州、扇々亭李有、観雪齋月磨画／千年川音奏／制作年未詳／色紙版／八戸市博物館
- H 五梅庵畔李、花月堂李州、扇々亭李有、観雪齋月磨画／四賀峯音吉／制作年未詳／色紙版／八戸市博物館
- I ルネ・バシュ／『パリ・イラストレ』日本特集号表紙／1886年／h460×w335／提供：アフロ
- J フィンセント・ファン・ゴッホ／タンギー爺さん／1887年／h920×w750／提供：Musée Rodin

主催 | 八戸市美術館
共同企画 | 八戸クリニック街かどミュージアム
後援 | 八戸市教育委員会 青森朝日放送 青森テレビ 青森放送
NHK青森放送局 八戸テレビ デーリー東北新聞社
東奥日報社 エフエム青森 コミュニティラジオ局 BeFM
映像制作 | 神智
会場構成 | 日本大学理工学部佐藤慎也研究室
(大川碧望 山中基輝 鈴木祐介 竹田雅一 森田あかり
吉田真萌 鹿毛亜由美 光仙賢俊 立石純大 室朝映季)
共同企画者 | 小倉学 (八戸クリニック街かどミュージアム館長兼学芸員)
担当学芸員 | 平井真里 グラフィックデザイン | アイズ



〒031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4
Tel.0178-45-8338 Fax.0178-24-4531
https://hachinohe-art-museum.jp

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

1. 事業内容

2023年に国立工芸館（金沢市）からはじまり、国内外を巡回してきた「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」を北海道・東北エリアで初開催した。八戸市美術館でも新作が加わり、世界的に人気を集めるポケモンを表現した約90点の工芸作品を展示。作品は、ポケモンのすがたやかたち、ゲームのストーリーや世界観を表現したものや、ポケモンが器や着物など日常の道具や装身具になった作品、また、多種多様な素材が使われ、技法も伝統的な方法から現代の新たな技術まで、様々な作品を展示した。

展示のほか、連携企画として市内蕪島と階上町の「ポケふた」の紹介、平日限定特典および八戸市内の路線バス（市営バス・南部バス）の一日乗車券「八戸市内わくわく1Day Pass」の利用者にオリジナルシールを配布した。

放送、岩手朝日テレビ、八戸テレビ放送、コミュニティラジオ局 BeFM

入場者数 | 43,081人

ポスター | B2、片面

チラシ | A3、両面

特典シール | 8cm×6cm（3種）

デザイン：LABORATORIES

アーティスト | 池田晃将、池本一三、今井完眞、植葉香澄、桂盛仁、桑田卓郎、小宮康義、城間栄市、須藤玲子、田口義明、田中信行、坪島悠貴、新實広記、林茂樹、葉山有樹、福田亨、榎本佳子、水橋さおり、満田晴穂、吉田泰一郎

会場構成 | 佐藤慎也

グラフィックデザイン | LABORATORIES

照明 | 藤原工、塚田直喜（灯工舎）

担当学芸員 | 齊藤未来

2. 開催概要

会期 | 2025年6月28日（土）～8月31日（日）

開催日数 | 61日間

会場 | コレクションラボ、ホワイトキューブ、ブラックキューブ、ジャイアントルーム

観覧料 | 一般1,300円（1,100円）、大学生・高校生800円（600円）、小・中学生600円（500円）、未就学児無料

※（ ）は20名以上の団体料金。

※障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額。

※フリーパス「かおパス」 一般2,600円、大学生・高校生1,600円、小・中学生1,200円

主催 | ポケモン×工芸展八戸実行委員会（八戸市、青森朝日放送、VISITはちのへ）、NHKエンタープライズ東北

監修 | 国立工芸館

特別協力 | 株式会社ポケモン

制作協力 | NHKプロモーション

協力 | 読売新聞社

後援 | 青森県教育委員会、八戸市教育委員会、デーリー東北新聞社、東奥日報社、khb東日本

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

3. 関連プロジェクト+イベント

・アーティストトーク

①「池田晃将×吉田泰一郎」②「坪島悠貴×榎本佳子」

開催日 | ①2025年7月6日(日)②8月23日(土)
各回14:00～15:30

アーティスト | ①池田晃将、吉田泰一郎②坪島悠貴、榎本佳子

司会進行 | 齊藤未来

会場 | スタジオ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | ①39人②39人

内容 | 出展作家によるトークを開催。技法や作品制作の裏側について話を聞いた。

・工字繋ぎの着物を着せてもらったピカチュウと記念撮影会

開催日 | 2025年6月29日(土)、7月20日(日)、
8月3日(日) 各日11:00～、12:30～、14:00～、
15:30～

会場 | スタジオ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 478人(延べ)

内容 | 伝統柄「工字繋ぎ」の着物を着せてもらったピカチュウと記念撮影ができるイベントを実施した。

4. その他

・1日バス乗車券販売

発売開始日 | 2025年6月27日(金)

価格 | 大人券800円、小人券400円

内容 | 八戸市内の路線バス(市営バス・南部バス)の一日乗車券「八戸市内わくわく1DAY Pass」を販売し、乗車券を利用した鑑賞者には特典シールを配布した。

・ポケふたパネル展示・ぬりえ

期間 | 2025年6月28日(土)～8月31日(日)

会場 | ジャイアントルーム

内容 | 青森県内2ヶ所(八戸市・蕪島休憩所、階上町・道の駅はしかみ)の「ポケふた」の実物大パネルを展示し、ぬりえを無料配布した。

5. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・東奥日報「ポケモン表現作品90点 八戸市美術館 工芸展きょう開幕」2025年6月28日
- ・デーリー東北「ポケモンの世界、多様に表現」2025年6月28日
- ・東奥日報「ポケモン×工芸展1万人突破 市美術館」2025年7月28日
- ・朝日新聞「ポケモン×工芸のわざ=美っくり 人間国宝や若手芸術家90作品 市美術館で企画展」2025年7月30日
- ・東奥日報「ポケモン×工芸展入場3万人 市美術館過去最多記録」2025年8月16日
- ・デーリー東北「ポケモン展3万人達成」2025年8月19日
- ・東奥日報「ポケモン展入場4万人 市美術館、31日まで」2025年8月29日

ラジオ |

- ・BeFM「ゆうらじ」2025年7月24日

雑誌 |

- ・rakra「工芸が生み出すポケモンの世界」2025年6月25日

WEB |

- ・美術展ナビ「「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」青森・八戸市美術館で6月28日から北海道・東北エリア初開催 期待の新作も!」2025年6月12日 (<https://artexhibition.jp/topics/news/20250611-AEJ2671417/>)
- ・はちまち「北海道・東北エリア初開催!『ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—』【八戸市美術館】」2025年7月4日 (https://8machi.com/products/artmuseum_12?srltid=AfmBOooZqd-c_fhVap6elaPZFRbjCXD45lICv8crlLoZ2W93btigsjlv)
- ・美術展ナビ「「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」青森・八戸市美術館で8月31日まで追加作品も続々 展示も見やすくなってパワーアップ」2025年7月31日 (<https://artexhibition.jp/topics/news/20250730-AEJ2706666/>)

©2026 Pokémon. ©1995-2026 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美と
わざの大発見—

6. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



ポケふたパネル展示



ショップ風景



アーティストトーク「池田晃将×吉田泰一郎」



アーティストトーク「坪島悠貴×樹本佳子」



工字繫ぎ着物を着せてもらったピカチュウと記念撮影会

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美と
わざの大発見—

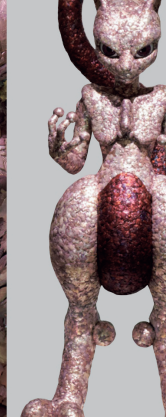
7. 広報物／ハンドアウト



ポスター

企画展







ポケモン×工芸展

美とわざの大発見

2025

6.28^{SAT}—8.31^{SUN}

会場

八戸市美術館

主催：ポケモン工芸展八戸実行委員会（八戸市、青森朝日放送、NHK東北のこころ、NHKニッポン・プラス東北、監督：国弘工芸、特別協力：株式会社ポテパン 制作協力：NHKアワーセッション 協力：誠友新聞社、後援：青森県教育委員会、八戸市教育委員会、アール・東北新聞社、東北110報社、kbb東北日本放送、岩手朝日テレビ、八戸テレビ放送、コミュニティ放送局cfM

主幹：伊藤 啓一
（エディター）
2024年 現在
編集：中村 信一



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

[illegible]

チラシ (裏)

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

8. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
今井完眞	フシギバナ	2022年	陶器、手びねり、上絵付	50.0×70.0×53.0
今井完眞	アーボック	2022年	陶器、手びねり、上絵付	44.6×36.0×33.0
今井完眞	キングラー	2022年	陶器、手びねり、上絵付	35.5×33.6×31.0
今井完眞	ゼニガメ	2022年	陶器、手びねり、上絵付	25.0×25.6×20.0
今井完眞	コイキング	2022年	陶器、手びねり、上絵付	24.0×32.4×20.6
葉山有樹	森羅万象ポケモン壺	2022年	磁器、染付、上絵付	径35.3、高35.8
葉山有樹	超古代ポケモン玉盃	2022年	磁器、染付	径46.0、高11.0
福田亨	飛昇	2022年	木（ピンクアイボリー、モチノキ、ニガキ、イエローハート、ホオノキ、イスノキ、神代ナラ、コクタン、トチ、ブラックチェリー、シナノキ、ヤマザクラ、ハゼノキ、パロサント、ヤナギ(緑青腐れ)、クスノキ）、木象嵌、指物	70.0×42.5×30.3
福田亨	雨あがり	2022年	木（ハゼノキ、ピンクアイボリー、神代ナラ、センノキ(緑青腐れ)、モチノキ、コクタン、ホオノキ、ブラックウォールナット、神代ニレ）、木象嵌、指物、寄木	16.0×33.0×18.0
福田亨	Floor	2022年	木（ピンクアイボリー、コクタン、アマレロ、パープルハート、モチノキ、ミズナラ、パロサント、メープル）、木象嵌、指物	10.3×26.8×20.4
満田晴穂	自在コクーン・スピアー	2022年	真鍮、銀、銅、赤銅、銅、彫金、打出し、色上げ	11.0×7.0×7.0
満田晴穂	自在トランセル・バタフリー	2022年	銅、銀、赤銅、彫金、打出し、象嵌、色上げ	13.0×9.0×7.0
満田晴穂	自在ギャラドス	2022年	銅、銀、真鍮、彫金、打出し、象嵌、色上げ	25.0×80.0×20.0
吉田泰一郎	イーブイ	2023年	銅、銀鍍金、彫金、打出し、色上げ、七宝	35.0×39.0×22.0
吉田泰一郎	シャワーズ	2023年	銅、銀鍍金、銀、彫金、打出し、色上げ、七宝	75.0×167.5×75.3
吉田泰一郎	ブースター	2022年	銅、銀鍍金、彫金、打出し、色上げ、七宝	102.0×100.0×56.0
吉田泰一郎	サンダース	2022年	銅、金鍍金、銀鍍金、彫金、打出し、色上げ、七宝	62.0×118.0×45.0
池田晃将	未知文黒御影茶器	2022年	漆、鮑貝、夜光貝、白蝶貝、螺鈿	9.1×6.2×5.1
池田晃将	百千光絵素飾箱「壺伍零」	2022年	漆、夜光貝、螺鈿、蒔絵	3.0×8.1×6.6
池田晃将	電線光環中次	2022年	漆、夜光貝、鮑貝、白蝶貝、螺鈿	8.6×6.2×5.4
池田晃将	電光投擲捕獲箱	2022年	漆、鮑貝、黒蝶貝、夜光貝、螺鈿、蒔絵	4.1×4.1×4.1
池本一三	冒険のはじまり	2022年	ガラス、キャスト、エナメル吹付	50.0×45.0×45.0

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
池本一三	湖のほとりで	2022年	ガラス、キャスト、エナメル吹付	50.0×45.0×45.0
池本一三	殿堂入り	2022年	ガラス、キャスト、エナメル吹付	50.0×45.0×45.0
城間栄市	琉球紅型着物「島ツナギ」	2022年	絹、型染	178.0×138.0
城間栄市	琉球藍型着物「島ツナギ」	2022年	絹、型染、浸染	178.0×138.0
須藤玲子	ピカチュウの森	2023年	綿、ニードルレース	—
田中信行	無題	2022年	漆、乾漆、髹漆	207.0×106.0×70.0
坪島悠貴	可変金物 ココガラ／アーマーガア	2022年	銀、リン青銅、ロストワックス、電着塗装	ココガラ： 4.9×7.6×6.9 アーマーガア：6.3×12.0×7.2
坪島悠貴	可変金物 ココガラ／アーマーガア	2022年	銀、リン青銅、ロストワックス、電着塗装	ココガラ： 4.9×7.6×6.85 アーマーガア：6.3×12.0×7.2
坪島悠貴	可変金物 ココガラ／アーマーガア	2022年	銀、リン青銅、ロストワックス、電着塗装	ココガラ： 4.9×7.6×6.85 アーマーガア：6.3×12.0×7.2
新實広記	Vessel -TSURARA-	2022年	ガラス、キャスト、研磨	40.0×90.0×40.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 2	2022年	ガラス、キャスト、研磨	40.0×58.0×50.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 3	2022年	ガラス、キャスト、研磨	40.0×65.0×48.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 4	2022年	ガラス、キャスト、研磨	35.0×40.0×36.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 5	2022年	ガラス、キャスト、研磨	30.0×50.0×30.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 6	2022年	ガラス、キャスト、研磨	40.0×65.0×50.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 7	2022年	ガラス、キャスト、研磨	40.0×55.0×55.0
新實広記	Vessel -TSURARA- 8	2022年	ガラス、キャスト、研磨	35.0×75.0×38.0
林茂樹	月光 Pokémon Edition	2022年	磁器、鋳込み、上絵付	100.0×38.0×36.0
植葉香澄	光火彩文グラードン	2022年	陶器、手びねり、上絵付	70.0×60.0×40.0
植葉香澄	羊歯唐草文シェイミ	2022年	陶器、手びねり、上絵付	30.0×35.0×30.0
植葉香澄	羊歯唐草文シェイミ茶碗	2023年	陶器、手びねり、上絵付	11.0×16.0×16.0
植葉香澄	唐草文サルノリ	2023年	陶器、手びねり、上絵付	65.0×63.0×46.0
植葉香澄	唐草文サルノリポートレイト	2023年	陶器、手びねり、上絵付	28.0×26.0×19.0
植葉香澄	唐草文サルノリ茶碗	2022年	陶器、手びねり、上絵付	11.0×16.0×16.0
植葉香澄	火炎文ヒバニー	2023年	陶器、手びねり、上絵付	61.0×41.0×37.0
植葉香澄	火炎文ヒバニーポートレイト	2023年	陶器、手びねり、上絵付	35.0×28.0×14.0
植葉香澄	火炎文ヒバニー茶碗	2022年	陶器、手びねり、上絵付	11.0×16.0×16.0
植葉香澄	水文メッソン	2022年	陶器、手びねり、上絵付	70.0×60.0×40.0
植葉香澄	水文メッソンポートレイト	2023年	陶器、手びねり、上絵付	41.0×28.0×15.0
植葉香澄	水文メッソン茶碗	2022年	陶器、手びねり、上絵付	11.0×16.0×16.0
桂盛仁	帯留 ブラック「立ち姿」	2022年	赤銅、金、銀、銅、彫金、打出し、象嵌、色上げ	1.5×5.0×4.5

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	
桂盛仁	帯留 ブラック「威嚇」	2022年	赤銅、金、銀、銅、彫金、打出し、象嵌、色上げ	1.5×6.5×4.0	
桂盛仁	ブローチ ブラック「眠り」	2022年	赤銅、金、銀、銅、彫金、打出し、象嵌、色上げ	1.5×6.0×3.5	
桂盛仁	香合 ルギア	2022年	唐金、銀、象嵌、彫金	径9.6、高5.4	
桂盛仁	香合 ホウオウ	2022年	唐金、金、象嵌、彫金	径9.6、高5.4	
桑田卓郎	カップ (ピカチュウ)	2023年	磁器、陶器、釉薬、動力成形、轆轤成形、金銀彩、転写	大：径10.0、高10.0 中：径8.0、高8.0 小：径5.0、高5.0	
桑田卓郎	ボウル (ピカチュウ)	2023年	磁器、陶器、釉薬、轆轤成形、金銀彩、転写	—	
小宮康義	江戸小紋 着尺「ゲンガー・ゴースト」	2022年	絹、型染	1300.0×37.0	*
小宮康義	江戸小紋 着尺「フライゴン」	2022年	絹、型染	1300.0×37.0	**
小宮康義	江戸小紋 着尺「タマゲタケ・モロバレル」	2022年	絹、型染	1300.0×37.0	*
小宮康義	江戸小紋 着尺「ガラルマッギョ」	2022年	絹、型染	1300.0×37.0	*
小宮康義	江戸小紋 着物「ゲンガー・ゴースト」	2022年	絹、型染	159.0×136.0	**
田口義明	乾漆蒔絵螺鈿蓋物「遊」	2022年	漆、白蝶貝、乾漆、蒔絵、螺鈿	径21.7、高19.0	
田口義明	蒔絵棗「春を呼ぶ」	2022年	漆、蒔絵	径7.2、高8.1	
榎本佳子	リザードン／信楽壺	2022年	陶器、轆轤成形、手びねり	82.0×80.0×62.0	
榎本佳子	信楽壺／キュウコン	2022年	陶器、轆轤成形、手びねり、化粧掛け、上絵付	60.0×40.0×40.0	
榎本佳子	ロコン／信楽壺	2022年	陶器、轆轤成形、手びねり	41.0×43.0×30.0	
榎本佳子	ヒトカゲ／信楽壺	2022年	陶器、轆轤成形、手びねり	48.0×40.0×33.0	
榎本佳子	信楽壺／ファイヤー	2022年	陶器、轆轤成形、手びねり、化粧掛け、上絵付	40.0×45.0×45.0	
榎本佳子	キャモメ／染付皿	2022年	半磁器、轆轤成形、手びねり、染付、上絵付	18.0×56.0×42.0	
榎本佳子	マンタイン／染付皿	2022年	半磁器、轆轤成形、手びねり、染付	24.0×68.0×65.0	
榎本佳子	タマンタ／染付皿	2022年	半磁器、轆轤成形、手びねり、染付	18.0×46.0×40.0	
榎本佳子	ポッチャマ／染付皿	2022年	半磁器、轆轤成形、手びねり、染付、上絵付	12.0×55.0×43.0	
榎本佳子	タマゴ／壺	2022年	陶器（紫香楽陶土）、轆轤成形、手びねり、上絵付	21.0×13.0×12.0	
榎本佳子	マホミル／壺	2022年	半磁器、轆轤成形、手びねり、上絵付	18.0×22.0×15.0	
榎本佳子	タネボー／壺	2022年	陶器（黒御影土）、轆轤成形、手びねり、上絵付	17.0×20.0×14.0	
榎本佳子	ヌメラ／壺	2022年	半磁器、轆轤成形、手びねり、上絵付	30.0×20.0×18.0	
水橋さおり	友禅訪問着「群」	2022年	絹、友禅	180.0×140.0	*
水橋さおり	友禅帯「閃光」	2022年	絹、友禅	500.0×35.0	*
小宮康義	江戸小紋 着尺「ニョロゾ」	2024年	絹、型染	1300.0×37.0	*

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

ポケモン×工芸展—美と
わざの大発見—

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	
水橋さおり	友禅訪問着「雲の間に」	2024年	絹、友禅	180.0×140.0	**
水橋さおり	友禅帯「煌めき」	2024年	絹、友禅	500.0×35.0	**
葉山有樹	球体「万花彩(ゼルネアス 生命の循環)I」	2024年	磁器・染付・上絵付	径6.15、高5.68	
葉山有樹	球体「万花彩(ゼルネアス 生命の循環)II」	2024年	磁器・染付・上絵付	径7.21×高6.64	
葉山有樹	球体「万花彩(ゼルネアス 生命の循環)III」	2024年	磁器・染付・上絵付	径8.25×高7.76	
葉山有樹	キューブ型「スカーレット 古代と現代の共存」	2024年	磁器・染付・上絵付	6.25×6.25×6.25	
葉山有樹	キューブ型「バイオレット 未来と現代の共存」	2024年	磁器・染付・上絵付	6.25×6.25×6.25	
城間栄市	琉球紅入藍型訪問着「サン ダーリーフの秘密基地」	2024年	絹、型染、浸染	178.0×148.0	**
城間栄市	紅型全通帯「アダンゲー ト」	2024年	絹、型染	600.0×36.0	**
吉田泰一郎	ミュウツー	2024年	銅、銀鍍金、彫金、打出 し、色上げ、七宝	190.0×80.0× 100.0	
植葉香澄	蒼炎文ヒトモシ	2024年	陶器、手びねり、上絵付	45.0×29.0×29.0	
植葉香澄	星氷裂文ミミッキュ	2024年	陶器、手びねり、上絵付	40.0×60.0×50.0	
植葉香澄	鳶唐草文ジュペッタ	2024年	陶器、手びねり、上絵付	60.0×32.0×34.0	
桑田卓郎	タイル (ピカチュウ)	2024年	陶土、釉薬、乾式プラス 成形、金彩、転写	154.5×104.0×4.0 ×4枚	
桂盛仁	ブローチ／ペンダント マギアナ	2025年	白四分一、銀、金、赤 銅、銅、彫金、打ち出し、 象嵌、色上げ	7.3×6.0×1.0	
池田晃将	光晶亀甲飾箱	2025年	漆、夜光貝、鮑貝、白蝶 貝、黒蝶貝、カラス貝、 螺鈿、蒔絵	3.9×11.9×11.9	
坪島悠貴	可変金物 ベベノム／アー ゴヨン (色違い)	2025年	銀、ロストワックス、電着 塗装	ベベノム：7.8×5.3 ×6.3 アーゴヨン：15:0 ×4.25×9.15	
坪島悠貴	可変金物 ベベノム／アー ゴヨン (色違い)	2025年	銀、ロストワックス、電着 塗装	ベベノム：7.8×5.3 ×6.3 アーゴヨン：15:0 ×4.25×9.15	
坪島悠貴	可変金物 ベベノム／アー ゴヨン (色違い)	2025年	銀、ロストワックス、電着 塗装	ベベノム：7.8×5.3 ×6.3 アーゴヨン：15:0 ×4.25×9.15	
榎本佳子	アローラナッシー／松皮手 壺	2025年	陶器、轆轤成形、手びねり	112.0×70.0×70.0	

サイズは平面作品は「縦×横」、立体作品は「高さ×幅×奥行き」の順に記載し、一部「径×高」で表記。

*前期 **後期

コレクションラボ010 西野こよ 表現への挑戦

1. 事業内容

2024年度に新規収蔵した南部菱刺し作家の西野こよ (1931-2019) の作品を展示。

南部菱刺しとは、青森県南部地方に伝わる刺し子で、刺し子とは衣類の補強や保温のために施す刺繍。青森県内では津軽地方の「こぎん」と並ぶ伝統的な刺繍技法。西野は、一度は廃れかけた菱刺しの復興と普及に尽力する一方、美術作品としての表現にも取り組んできた。

本展では美術作品を中心に展示し、西野の表現活動の一端を紹介した。

2. 開催概要

会期 | 2025年3月1日 (土) ~ 6月15日 (日)

開催日数 | 93日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 6,351人

ポストカード | 10.0×14.8 (cm)、両面

ハンドアウト | A4、両面 (作品リスト、ワークシート)

主催 | 八戸市美術館

担当学芸員 | 齊藤未来

3. 関連イベント

・出張 南部菱刺しワークショップ

開催日 | ①2025年3月2日 (日) ②6月1日 (日) 各回10:00~13:00

講師 | 西野刺っ娘の会

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

参加者数 | ①8人②21人

内容 | 60分程度で簡単な菱模様を刺す、体験ワークショップを実施した。

・講演会 菱刺しの歴史と新たな挑戦

開催日 | 2025年3月23日 (日) 10:30~12:00

講師 | 川守田礼子 (八戸工業大学感性デザイン学科教授)

会場 | スタジオ

参加者数 | 41人

内容 | 南部菱刺しの歴史と西野こよの功績について講演を行った。

・ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

開催日 | 2025年5月22日 (木) 19:00~20:00

ゲスト | 渡辺真樹 (八戸焼昭山窯)

会場 | コレクションラボ、ジャイアントルーム

参加料 | 1,000円

参加者数 | 9人

内容 | お酒と作品鑑賞を楽しむイベント。西野こよと同じ公募展に出品し、共に研鑽を積んだ八戸焼昭山窯の渡辺真樹をゲストに、おしゃべりしながら展覧会を鑑賞した。

4. 主なメディア掲載

雑誌 |

・地域創造レター5月号「地域通信」2025年4月25日

ラジオ |

・NHKラジオ仙台放送局「Nandary」2025年5月9日

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ010
西野こよ 表現への挑戦

5. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



出張 南部菱刺しワークショップ



講演会 菱刺しの歴史と新たな挑戦



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ

コレクションラボ010

西野こよ 表現への挑戦

6. 広報物

POSTCARD

コレクションラボ 010

西野こよ
表現への挑戦

Collection Lab 010: NISHINO Koyo Expression and Tradition

2025年3月1日[土]～6月15日[日]

開館時間 | 10:00～19:00 休館日 | 火曜日、5月7日(4月29日、5月6日は開館) 観覧料 | 無料
主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 齊藤未来 ※途中展示替えあり

令和6年度新規収蔵作品である西野こよ(1931～2019)の作品を展示します。西野は南部菱刺しの復興と普及に努め、制作する一方で、美術作品も多数制作しました。刺し子の技法を応用した、工芸的でありながら独創性のある作品をお楽しみください。

同時開催 ●八戸アーティストファイル2025 Finding Our Beauty 会期|2025年2月15日(土)～4月7日(月) ●浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化 会期|2025年4月19日(土)～6月15日(日)

 **八戸市美術館**
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



ポストカード(表)

西野こよ《奥入瀬の流れ》2004
99.0×189.1cm 布、刺繍

コレクションラボ010

タイトルの通り、段差を流れ落ちる奥入瀬川の水を表現しています。しかし、見方によっては連なる山並みのようにも、もしかしたら海に面した岩場のようにも見えるかもしれません。刺し子や手芸の技法を応用してつくられているため、刺している糸が太い部分は画面が隆起し、こちらに迫ってくるような臨場感があります。



ポストカード(裏)

西野こよ 表現への挑戦



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

会期 | 2025年3月1日[土]～6月15日[日]

会場 | コレクションラボ

主催 | 八戸市美術館

番号	作品名	作者名	制作年	材質、技法	出品歴
1	ふるさとの便り	西野こよ	2004年	麻・木綿、菱刺し	第43回日本現代工芸美術展 入選
2	二曲屏風「花の宴」	西野こよ	2002年	麻・木綿、菱刺し	第41回日本現代工芸美術展 入選
3	ミッドナイトムーン	西野こよ	1986年	麻・木綿、菱刺し・刺繍	第10回東北現代工芸美術展 入選 *
4	寂	西野こよ	1992年	麻・木綿、刺繍	第1回河北工芸展 入選 *
5	郡波	西野こよ	1990年	麻・木綿、菱刺し	第14回東北現代工芸美術展 河北賞 *
6	潮溜り	西野こよ	2002年	麻・木綿、刺繍	第34回日展 入選 *
7	潮溜り	西野こよ	1997年	麻・木綿、刺繍	第36回日本現代工芸美術展 現代工芸賞 *
8	潮霞む	西野こよ	2001年	麻・木綿、刺繍	第25回東北現代工芸美術展 入選 *
9	奥入瀬の流れ	西野こよ	2004年	麻・木綿、刺繍	第36回日展 入選 *
10	水面	西野こよ	1997年	麻・木綿、刺繍	第21回東北現代工芸美術展 会員賞 *
11	海嘯	西野こよ	1987年	麻・木綿、刺繍	第11回東北現代工芸美術展 入選 **
12	衣の幻想	西野こよ	1993年	麻・木綿、菱刺し	第17回東北現代工芸美術展 会友賞 **
13	結	西野こよ	1991年	麻・木綿、菱刺し	第15回東北現代工芸美術展 入選 **
14	満潮	西野こよ	1998年	麻・木綿、刺繍	第30回日展 入選 **
15	氷映	西野こよ	1999年	麻・木綿、刺繍	第38回日本現代工芸美術展 入選 **
16	潮騒	西野こよ	1995年	麻・木綿、刺繍	第34回日本現代工芸美術展 入選 **
17	静寂	西野こよ	1994年	麻・木綿、刺繍	第18回東北現代工芸美術展 入選 **
18	初夏の奥入瀬	西野こよ	2005年	麻・木綿、刺繍	第44回日本現代工芸美術展 入選 **

*前期（3/1～4/21）展示

**後期（4/23～6/15）展示

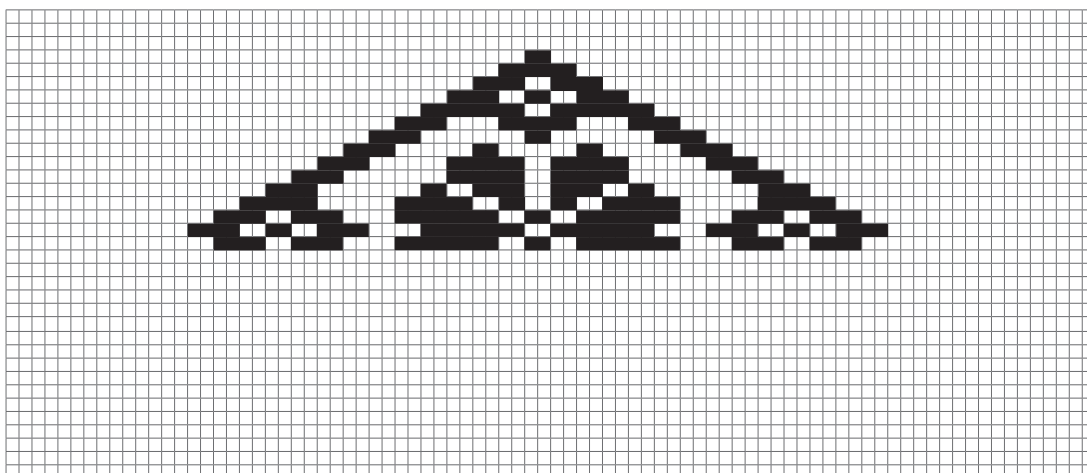
ひしもよう 菱模様を描いてみよう！

布の経糸を偶数(2、4、6、8、10……)の目をすくって針を刺し、糸を通していくのが、南部菱刺しの一つです。

下の図は、作品にも使われている「梅の花」の上半分を描いています。例えば二目糸を通す場合は、マス目を二つ塗りつぶすといったように、マス目の数を布の経糸と緯糸に見立てています。

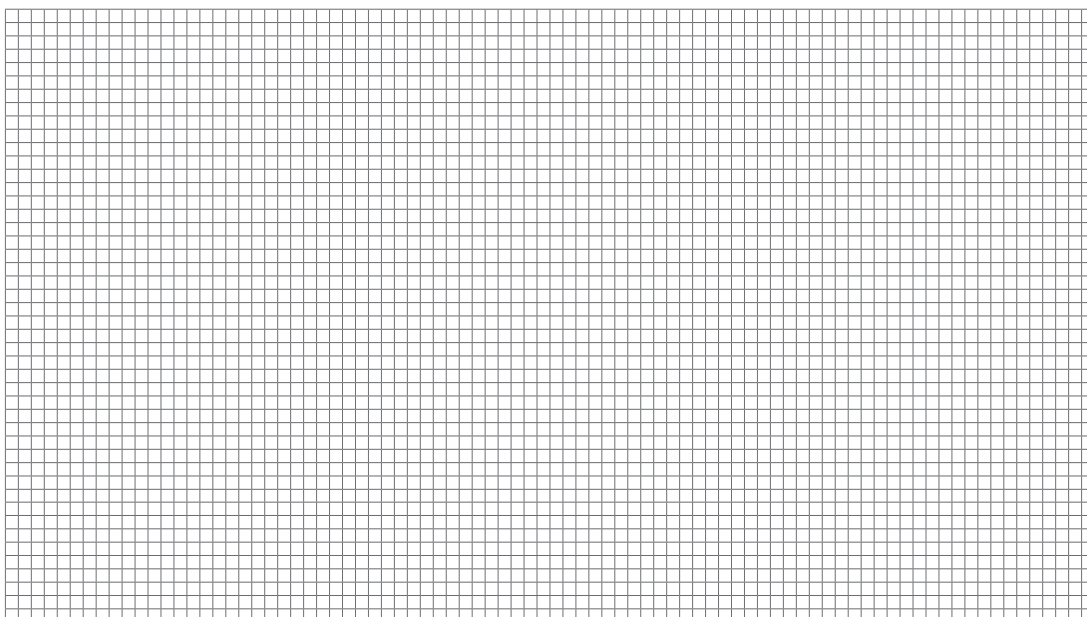
「梅の花」は上下対象の模様ですので、上半分を参考に下半分の続きを描いてみましょう。

菱刺しは緯糸に沿って糸を通して行くので、左端から右端へ行ったら、一段下がって今後は右端から糸を通し、左端までいったらまた一段下がって左端から……と、一段ずつ模様をつくります。



新しい模様挑戦！

西野こよの作品を観察して描き写してみたり、「菱刺し模様集」の模様を参考にしてみたり、自由に模様を描いてみましょう。



コレクションラボ011 きっと、そこには

1. 事業内容

「きっと、そこには」をキーワードに、作品に描かれているものだけでなく、そこには描かれていない要素にも目を向け、想像しながら鑑賞を楽しむことや、感じたことや考えたことを言葉にすることの面白さを提案する展覧会を開催した。

来館者の主体的な鑑賞を促すため、作品の周囲に問いかけのテキストを配置したり、作品ごとの鑑賞ワークシートを用意したりすることで、作品との対話を深めるための仕組みを設けた。

2. 開催概要

会期 | 2025年9月13日(土)～12月8日(月)

開催日数 | 75日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 15,391人

ポストカード | 10.0×14.8 (cm)、両面

ハンドアウト | A4、片面(作品リスト、展示マップ)

ワークシート | A4、両面(作品ごと、小学生向け)

主催 | 八戸市美術館

ワークシート・会場グラフィックデザイン | テクノス

会場構成 | 佐藤慎也

担当学芸員 | 田村由衣

3. 関連イベント

・学校連携企画「ドキッと、そこには美術館」

→詳細はP.82を参照

・ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

開催日 | 2025年11月9日(日) 19:00～20:30

ゲスト | たなぶ酒販

会場 | コレクションラボ、ジャイアントルーム、ティールーム

参加料 | 1,500円

参加者数 | 10人

内容 | 鑑賞した作品からイメージする風味をオーダーシートに書き込み、ゲストがつくったお酒を楽しむ。

4. 主なメディア掲載

テレビ |

・はちのへテレビ「カルチャースポットはちのへ #35」2025年10月10日、13日、17日、20日、24日、27日、31日

ラジオ |

・コミュニティラジオBeFM「はちのへHOTLINE」
2025年10月1日

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ011
きっと、そこには

5. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ011
きっと、そこには

6. 広報物／ハンドアウト

POSTCARD

コレクションラボ 011

きっと、そこには

Collection Lab 011: Of What Might Be Unseen

2025年9月13日〔土〕～12月8日〔月〕

開館時間 | 10:00～19:00 休館日 | 火曜日、9月24日(9月23日は開館) 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 田村由衣 会場構成 | 佐藤慎也 ※途中展示替えあり

作品を鑑賞するとき、鑑賞者は自由に作品と向き合い、解釈することができます。作品が見つめる先にあるものや、描かれていないものを、「きっと、そこに何かがあるかもしれない」と想像しながら観ることで、新たな鑑賞の楽しみ方を探る展覧会です。

同時開催 ●八戸市美術館 会期 | 前期:2025年9月18日(木)～21日(日) 後期:2025年9月25日(木)～28日(日) ●古代エジプト美術館展 会期 | 2025年10月11日(土)～12月15日(月)

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



ポストカード(表)

今川和男《牧童》1963
130.7×97.5(cm) キャンバス、油彩

コレクションラボ011

馬が振り返る先に立つ少年は、腕を大きく伸ばし、馬に指示しているようにも、戯れているようにも見えます。様々な色合いの青で大胆に描かれた背景は、馬の毛並みに反射するほどの青空でしょうか。じっと見つめていると、何かが浮かび上がってきそうです。さて、あなたは作品を見てどのようなことを思い浮かべましたか。



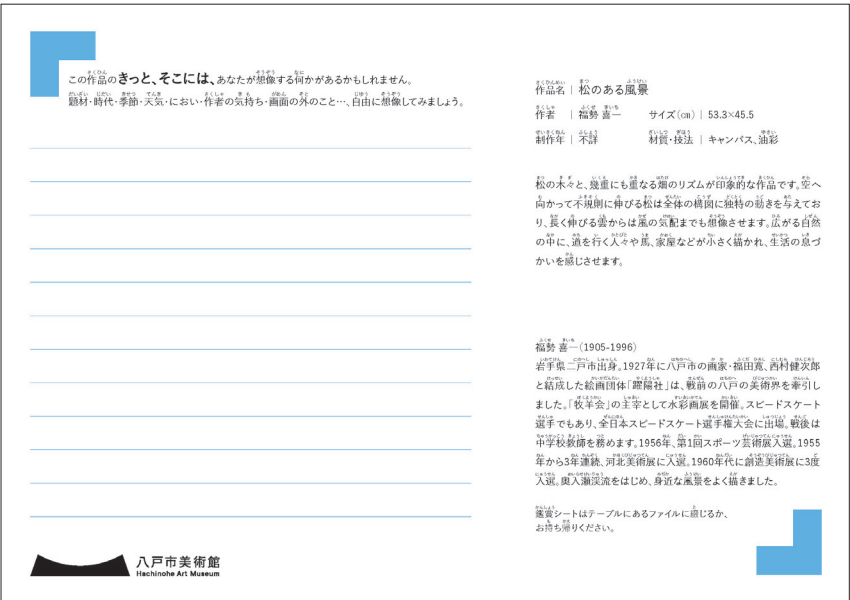
ポストカード(裏)

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ コレクションラボ011 きつと、そこには



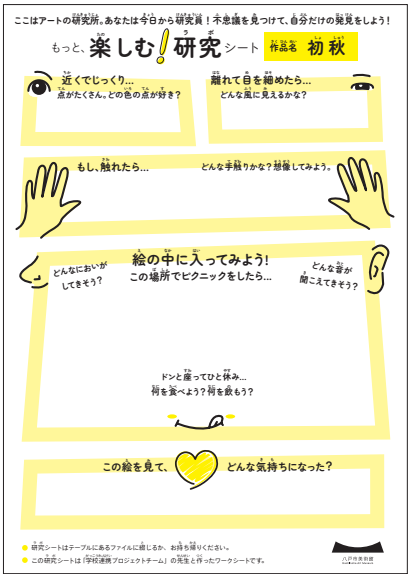
ワークシート・一部（表）



ワークシート・一部（裏）



ワークシート・一部（小中学生向け）（表）



ワークシート・一部（小中学生向け）（表）

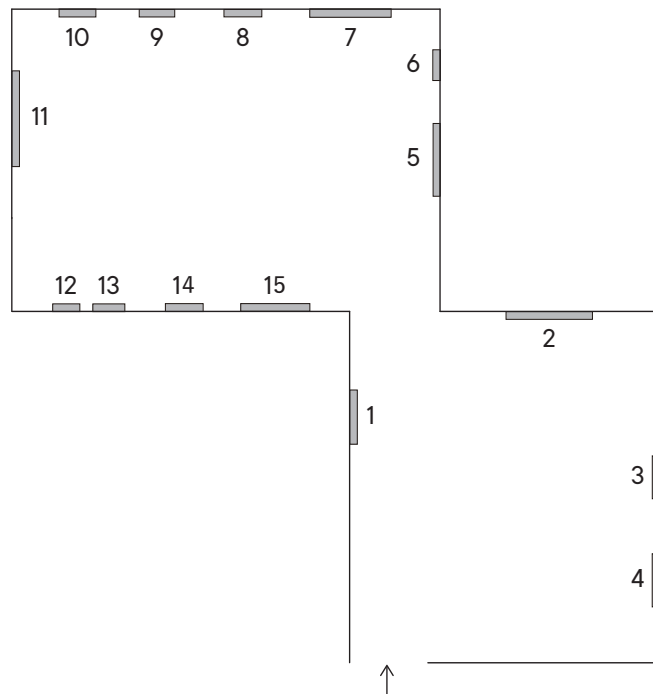
コレクションラボ 011

きっと、そこには

会期 | 2025 年 9 月 13 日 [土]～12 月 8 日 [月]

会場 | コレクションラボ

主催 | 八戸市美術館



番号	作品名	作家	制作年	技法、材質
1	牧童	今川和男	1963 年	キャンバス、油彩
2	風景の見える室内	月舘れい	2012 年	キャンバス、油彩
3	雪と	大久保景造	1991 年	キャンバス、油彩
4	T嬢の像	福田寛	1930 年	キャンバス、油彩
5	帰り道	今川和男	制作年不詳	キャンバス、油彩
6	松のある風景	福勢喜一	制作年不詳	キャンバス、油彩
7	無題	伊藤二子	2016 年	キャンバス、アクリル
8	蝶出づる山	工藤甲人	制作年不詳	紙、彩色 *
	漁婦と燈台I	池田恭三	1973 年	キャンバス、油彩 **
9	種子	黒木郁朝	制作年不詳	紙、木版 *
	土の香	黒木郁朝	制作年不詳	紙、木版 **
10	遊鯉図	柏木貫邦	制作年不詳	絹本、着色 *
	啄木の音	工藤甲人	制作年不詳	紙、彩色 **
11	例えば未生、または悲哭の墓獅子（その1）	豊島弘尚	1995 年	キャンバス、油彩
12	北の水蓮沼	渡辺貞一	1978 年	キャンバス、油彩
13	仮面の少女	渡辺貞一	1976 年	キャンバス、油彩
14	初秋	福田寛	制作年不詳	キャンバス、油彩
15	降誕	久保田政子	1981 年	キャンバス、油彩

*前期（9/13～10/27）のみ展示作品

**後期（10/29～12/8）のみ展示作品



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ012
渡辺貞一 光と影のあわ
い

コレクションラボ012 渡辺貞一 光と影のあわい

1. 事業内容

兄の死や自身の病、出征など、命の儚さに幾度となく向き合いながら、最晩年まで絵を描くことを追求した、青森市出身の画家・渡辺貞一の精神性を探る展覧会。渡辺と交流が深かった八戸出身の画家・名久井由蔵の作品も紹介した。

また、本展での調査として、渡辺の関係者5人にインタビューを行い、その様子を撮影した映像資料も公開した。そのうち、苫小牧市の第一洋食店三代目店主・山下明へのインタビューは、はちとまネットワーク事業の一つとして実施した。

2. 開催概要

会期 | 2025年12月13日(土)～2026年3月23日(月)

開催日数 | 84日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 5,566人

ポストカード | 10.0×14.8 (cm)、両面

ハンドアウト | A3、両面(作品リスト、展示マップ、インタビューおよび作品解説)

インタビュー映像出演 | 加福紀子(渡辺貞一の姪)、久木田恭輔(画家)、山下明(苫小牧市・第一洋食店三代目店主)、渡邊修(渡辺貞一の甥)、渡辺裕(渡辺貞一の甥)

主催 | 八戸市美術館

会場構成 | 佐藤慎也

映像 | 神智

担当学芸員 | 平井真里

3. 関連イベント

・ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

開催日時 | 2026年2月20日(金) 19:00～20:00

ゲスト | 渡邊修(渡辺貞一の甥)

参加料 | 1,000円

参加者数 | 10人

内容 | 渡辺貞一が愛した日本酒をいただいた後、皆でお喋りしながら作品鑑賞。当日のゲストは貞一の甥である渡邊修だったが、急遽、弟の渡辺裕も参加したことで、より多くのエピソードを交えたトークが繰り広げられた。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デリーー東北「渡辺貞一の精神世界紹介 八戸市美術館、絵画20点展示」2025年12月24日

WEB |

・アートアジェンダ「コレクションラボ012 渡辺貞一 光と影のあわい」2025年12月 (<https://www.artagenda.jp/exhibition/detail/11655>)

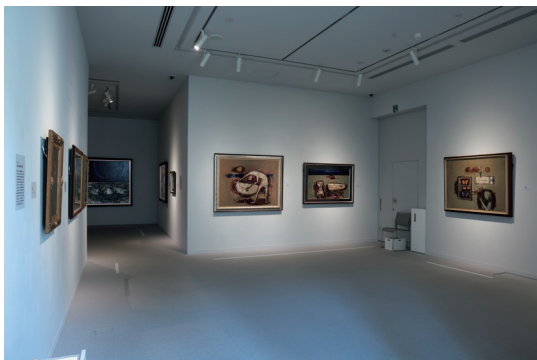
1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ

コレクションラボ012

渡辺貞一 光と影のあわい

5. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ

コレクションラボ012

渡辺貞一 光と影のあわい

6. 広報物／ハンドアウト

POSTCARD

コレクションラボ 012

渡辺貞一
光と影のあわい

Collection Lab 012: WATANABE Teiichi Between Light and Shadow

2025年12月13日〔土〕～2026年3月23日〔月〕

開館時間 | 10:00～19:00(12月28日、1月2～3日は10:00～17:00) 休館日 | 火曜日、12月29～31日、1月1日、1月28日(2月17日は開館) 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 平井真里
会場構成 | 佐藤慎也 ※途中展示替えあり

青森市出身の画家・渡辺貞一は、兄の死や自身の病、出征など、命の儚さに幾度となく向き合いながら、最晩年まで絵を描くことを追求しました。本展では、作品展示のほか、渡辺の関係者へのインタビュー映像も交えながら、渡辺の精神性を探ります。

同時開催 ●GOMA展 WONDER～不思議と驚きと奇跡～ 会期 | 2026年2月14日(土)～3月29日(日)

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



ポストカード(表)

コレクションラボ012



渡辺貞一《川原の風景》
1973
130.0×162.0(cm)
キャンバス、油彩

深い藍色の空、どこまでも続く川原の石、淀んだ川と黄色味がかった水門。本作は、高度経済成長と共に自然破壊が進み、公害が問題となった時代に描かれました。風を受ける棒は十字架に見え、留まる鳥は下を向き、飛び跳ねる姿がありません。赤い服を着た女性は表情が見えませんが、一体どこを見つめ、何を思っているのでしょうか。

ポストカード(裏)

渡辺貞一 光と影のあい

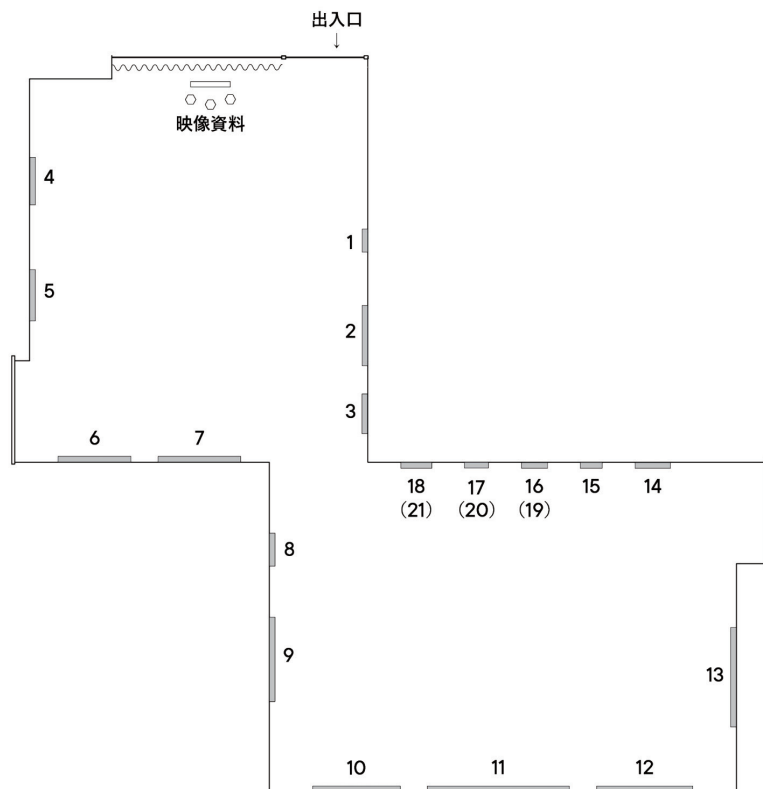


会期 | 2025年12月13日[土]～2026年3月23日[月]
会場 | コレクションラボ
主催 | 八戸市美術館

番号	作品名、資料名	作家・制作	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横)
1917-45 兄の死、自身の死の淵					
1	自画像	渡辺貞一	1943年(昭和18)	キャンバス、油彩	53.0×40.9
1946-49 帰国、入信					
2	北国	渡辺貞一	1947年(昭和22)	キャンバス、油彩	65.1×90.9
3	冬の教会	渡辺貞一	1949年(昭和24)	キャンバス、油彩	65.0×53.0
1950-62 再び上京、結婚					
4	静物	名久井由蔵	1965年(昭和40)	板、油彩	31.0×39.5
5	博物誌	渡辺貞一	1958年(昭和33)	キャンバス、油彩	88.3×115.9
6	囚われた船	渡辺貞一	1962年(昭和37)	キャンバス、油彩	70.0×112.0
7	貧しき漁夫	渡辺貞一	1962年(昭和37)	キャンバス、油彩	96.0×130.3
1963-78 光と影、技法「釘描」の追求					
8	イタコ賛歌II	渡辺貞一	1963年(昭和38)	キャンバス、油彩	30.5×36.5
9	宇曽利の記	渡辺貞一	1964年(昭和39)	キャンバス、油彩	94.0×133.0
10	極光 II	渡辺貞一	1969年(昭和44)	キャンバス、油彩	140.0×140.0
11	ユーカラ	渡辺貞一	1966年(昭和41)	キャンバス、油彩	107.8×246.8
12	カムイの庭	渡辺貞一	1972年(昭和47)	キャンバス、油彩	151.0×160.0
13	川原の風景	渡辺貞一	1973年(昭和48)	キャンバス、油彩	130.0×162.0
1979-81 中国旅行、水墨画					
14	野仏	渡辺貞一	1979年(昭和54)	キャンバス、油彩	45.5×38.0
15	タヤけの詩	渡辺貞一	1979年(昭和54)	キャンバス、油彩	33.4×24.2
16	鳥	渡辺貞一	1979年(昭和54)	紙、墨画	45.1×29.8 *
17	寺	渡辺貞一	1980年(昭和55)	紙、墨画	44.8×27.8 *
18	津軽雪景 A	渡辺貞一	1980年(昭和55)	紙、墨画	51.8×49.5 *
19	竹林	渡辺貞一	1980年(昭和55)	紙、墨画	47.2×30.0 **
20	中国風景	渡辺貞一	1980年(昭和55)	紙、墨画	40.0×33.0 **
21	津軽雪景 B	渡辺貞一	1980年(昭和55)	紙、墨画	53.1×43.3 **
映像資料					
関係者インタビュー		[出演] 加福紀子 久木田恭輔 山下明 渡邊修 渡辺裕 [撮影・編集] 八戸市美術館		2025年	計30分40秒

*前期 (12/13 ～ 2/2) のみ展示作品 **後期 (2/4 ～ 3/23) のみ展示作品

〈会場MAP〉



No.16、17、18 前期(12/13～2/2)展示
No.19、20、21 後期(2/4～3/23)展示

〈作品解説〉

1. 渡辺貞一《自画像》1943年(昭和18)キャンパス、油彩

戦時下に描かれた本作は、渡辺が結核を患い倒れた時に、最期を覚悟した力を振り絞って生み出されました。自筆文では、「俺もこれでおしまいかな!と、ふっと思い、死ぬ前に自画像を描いて残しておこうと、よろよろと立ち上がって、血の気のない自分の顔をみつめながら、むさぼるように描いた」と綴られています。また、「それをアトリエにかけておくと不思議におちついて仕事ができる」と語っており、渡辺が画家としての道を歩むうえで、この一枚が大切な拠り所であったことがうかがえます。

2. 渡辺貞一《北国》1947年(昭和22)キャンパス、油彩

全体的に暗い画面に、雪が積もった川辺が描かれ、どこか物寂しい印象です。渡辺は、ほかにも冬の河の風景を描いた《凍る河》(1979年)という作品も残しています。晩年には「私は、冬が来ると、遠い北国の凍る河のことを思う。」(『県政のあゆみ』1981年2月号、青森県広報課)という言葉を残しています。人生のほとんどの期間を東京で暮らした渡辺は、凍った河を描くことで郷愁の念を癒していたかもしれません。

6. 渡辺貞一《囚われた船》1962年(昭和37)キャンパス、油彩

渡辺には、仕事に身が入らない時期があったそうで、妻の美喜子にはいつも気苦労をかけていた、という手記があります。そのような日々が続く中、本作が『朝日ジャーナル』(1962年、10月21日号、朝日新聞社)の表紙に掲載されました。このことを思いがけず本人以上に喜んだのは、妻の美喜子だったといえます。渡辺夫妻の日常に光を差した本作は、No.7の《貧しき漁夫》と同様に、ピエール・ビュヴィス・ド・シャヴァンヌの《貧しき漁夫》(1881年、オルセー美術館蔵、当時ルーブル美術館蔵)からインスピレーションを得た作品といわれています。

7. 渡辺貞一《貧しき漁夫》1962(昭和37)キャンバス、油彩

渡辺は、ピュヴィス・ド・シャヴァンヌによる同名の作品が好きで、作品図版をアトリエに貼っていました。シャヴァンヌの作品は1881年のもので、渡辺はそれに倣ったと思われます。本作では、静寂の中で頭を垂れる漁夫が描かれていますが、シャヴァンヌの作品は背景に妻と、1人だけ明るい色の布に包まれた子どもが描かれており、未来への希望とともに、貧困による苦しみを象徴しているといわれています。

渡辺は翌々年の1964年の欧州の旅で、シャヴァンヌの実物を観ることができました。しかし、イメージとは異なっていたようで、「大きくて、甘くて意外につまらなかった」「実物に一度はふれてみるものだ」という感想を残しています。(東奥日報での談話、1965年)また、渡辺は、先人たちの作品を参考にして得たものを「借着」と表現しました。「最早ルッソーもブリュゲルも喜びと救いにはならない。わたしは、わたしの世界の中で、東西の有名無名の先達から多くのものを借着したが、所詮、わたしはわたしだということ。ヨーロッパをひとり歩いてみていっそうこの考えはたしかめられた。これから一枚一枚借着を返していきたいとおもっている」(第40回国展目録ふろく『談話室』、1966年、国画会)と綴っています。

8. 渡辺貞一《イタコ賛歌II》1963年(昭和38)キャンバス、油彩

9. 渡辺貞一《宇曽利の記》1964年(昭和39)キャンバス、油彩

渡辺は、イタコ信仰の作品を数多く描きました。No.8は、恐山を連想させる荒涼とした背景が描かれていながら、イタコを賛美したタイトルとなっています。虚ろな眼差しをしたイタコから、恐山に幾度も通った渡辺の、畏敬の念が感じられます。「宇曽利」とは、入江を示す東北の地名です。恐山は昔、「宇曽利山」と呼ばれており、また、カルデラ湖である「宇曽利山湖」があります。No.9の中央には、地蔵か水子を思わせるような、小さな人影が描かれています。暗い印象の本作ではありますが、画面上部に描かれた暖色が、明るい印象をさやかに添えています。

11. 渡辺貞一《ユーカラ》1966年(昭和41)キャンバス、油彩

12. 渡辺貞一《カムイの庭》1972年(昭和47)キャンバス、油彩

「ユーカラ」とは、アイヌ民族の中で口頭で伝承されてきた叙事詩のことです。ユーカラは英雄叙事詩の「人間のユーカラ」と、神謡の「カムイユーカラ」に分けられ、No.12とNo.13はカムイユーカラが描かれています。また、「カムイ」は、「神」や「仏」と似た意味でもあり、自然や、自然の恵みを与えてくれる動物や植物、天候などの人間の力が及ばないものを敬った敬称でもあります。アイヌの人々にとって、多くの鳥はカムイのひとつとされており、No.11では、中央に鳥に祈りを捧げる様子が描かれています。

アイヌ語に、「神々の遊ぶ庭」を意味する「カムイミントラ」という言葉があります。ここでいう庭は、北海道の中央部にある大雪山(大雪山国立公園)のことで、その美しさに崇敬と畏敬の念を抱いていました。No.12は、月夜を背景に、祈るように手を組む人影と、その後ろに祭壇のようなストーンサークルが描かれています。月もまたカムイのひとつであり、月に照らされた庭のカムイと共に、自然への信仰心を描いたようにも感じられます。

渡辺は、キリスト教、仏教、アイヌの信仰と、様々な宗教を題材としています。何を信じるかではなく、それぞれの信心や、その先にある救いを見つめていたのかもしれません。

13. 渡辺貞一《川原の風景》1973年(昭和48)キャンバス、油彩

本作は、高度経済成長と共に自然破壊が進み、公害が問題となった時代に描かれました。妻の美喜子は本作について、「公害や自然破壊が密かに進む時代。(中略)霧りのある青い空の下、表情をなくした少女と、黒く濁んだ水と、黄ばんだ水門、何かを告げる白い鳥、瓦礫化した川原の石ころをひとつひとつ丹念に描き、コントラストの美しい画面に仕上げられた」と記しています。(『渡辺貞一作品図録』、1990年、八戸市美術館) また、本作はいつも以上に時間をかけて制作されたと美喜子は残しており、渡辺にとって熱のこもった作品であることが伺えます。表情のない少女に、渡辺はどのような心情を込めたのでしょうか。

14. 渡辺貞一《野仏》1979年(昭和54)キャンバス、油彩

15. 渡辺貞一《夕やけの詩》1979年(昭和54)キャンバス、油彩

No.15は、朗らかな表情の野仏の隣に、野に咲く花が添えられています。渡辺は様々な宗教を題材にしましたが、晩年は、東洋の宗教を中心に描きました。また、「花のうつくしさに、いつときの精気を感じることがある」(『県政のあゆみ 8月号』1980年、青森県広報課)、「花であれまた器物であれ、そのものに新しい生命(世界)をあたえる、したがって生きた静物を描こうと思っている」(『県政のあゆみ』、1980年9月号、青森県広報課)と記しており、生の“光”の部分へ目を向けていたこともわかります。

No.16については、「夕景の女(中略)私のもっとも好きな詩的なモチーフのひとつである」(『県政のあゆみ 8月号』1980年、青森県広報課)という言葉からうかがえるように、渡辺が思い描く温かさや懐かしさが感じられます。

映像資料

関係者インタビュー

1. 山下明(北海道苫小牧市、第一洋食店3代目店主)

撮影日 | 2025年10月6日

時間 | 5分31秒

撮影協力 | 苫小牧市美術館

※はちとまネットワーク連携事業として撮影

渡辺は、昭和30年代から、北海道苫小牧市で幾度も個展を開催しました。苫小牧市に滞在中、足繁く第一洋食店に足を運び、2代目店主である山下の父・正と親しくしていました。正は渡辺作品を毎年のように購入し、店内には十数点ほどの作品があります。店内には、他の作家の作品もあり、時折入れ替えながら渡辺の作品が飾られています。山下は、函館市出身の画家・国松登に連れられてきたのがきっかけで第一洋食店に渡辺が通い始めたことや、旅館で酒が足りなくなると厨房にある料理酒を飲むほどの酒好きだったこと、渡辺からの書簡の中で、当時まだ子どもだった山下を気にかけていたことなどを語りました。

2. 久木田恭輔(画家)

撮影日 | 2025年10月30日

時間 | 5分53秒

久木田が渡辺と初めて会ったのは、高校2年生の頃です。当時、国展で入選した自分の様子を見に来たのではないかと語っています。また、酒を飲んで金銭を使い果たした渡辺が、久木田の家に来て布団に入り込み、絵の話をしてくれたことがあったそうです。酒好きで面白い人だったこと、風呂敷に作品を包んで絵を売り歩いたことや、外泊した時でさえ、折りたたみナイフで絵具を引っ掻いて絵を描いていたこと、渡辺の作品の根底にあるものは恐山であるということなど、画家としての渡辺の生活や姿勢について振り返りました。

3. 加福紀子(渡辺貞一の姪)

撮影日 | 2025年11月17日

時間 | 6分25秒

加福は、生まれた当時、青森市で渡辺貞一を含む家族8人と暮らしていました。遊んでいる様子を、渡辺が瞬時にデッサンしていた記憶があるそうです。結婚する際に渡辺から贈られた作品や、晩年までやり取りした年賀状などの資料を丁寧に保管しており、それらはその後の調査に役立てられました。加福が生まれたときには、八戸の画家である名久井由蔵から大きな日本人形が贈られたことも語っています。渡辺が亡くなる約1ヶ月前に見舞いに行ったとき、帰り際に「叔父さん、元気でね」と声をかけたところ、「いや、サヨナラだな!」という言葉をかけられ、渡辺が自らの死を受け入れていたことを感じたと言っています。

4. 渡辺修(渡辺貞一の甥)

撮影日 | 2025年11月21日

時間 | 7分03秒

渡辺は、妻・美喜子から月8升までと決められるほど酒好きでした。甥の修の結婚式で酒を飲み、その場を盛り上げてくれたこともあったと言っています。それでも、絵を描くときは絶対に酒を飲まなかったことや、画業に反対していた祖母・まさには絵の具を隠されても描くことを諦めなかったことから、渡辺が絵を描くことに真摯に向き合っていたことがうかがえます。修の家族と渡辺が共に青森市に滞在しているときには、兄貴分の棟方志功が訪ねてきたことも記憶に残っているそうです。また、修の家族が下北の大畑町(現在のむつ市)に移り住んだ際、渡辺が3〜4ヶ月に1回は訪ねて来て、大畑町にほど近い恐山に、画材を携えて通っていたとのこと。

5. 渡辺裕(渡辺貞一の甥)

撮影日 | 2025年11月17日

時間 | 5分48秒

※作家と同姓のため、氏名を含んで表記

渡辺裕は、2017年に七戸町立鷹山宇一記念美術館で開催された展覧会「北辰の宙 渡辺貞一誕生百年記念展-中井昌美コレクション-」にあたり、渡辺について調査したひとりです。その際は、姉の加福が保管していた資料調査や、渡辺をよく知る人物への聞き取りなどが行われました。本展では新たな情報として、青森市にある照法寺の彫刻欄間の制作に、渡辺も参加していたことが語られています。そのほか、渡辺が祖母・まさを描いた肖像画や、渡辺が飲みの席で「俺は東京で戦ってるんだ」と激し、物静かな普段とは違う一面に触れたことも語っています。

第62回八戸市美術展

1. 事業内容

八戸市文化協会が実施する公募展「八戸市美術展」を、八戸市美術館との共同主催により実施。書道・絵画・写真・工芸の作品が前期・後期にわたって展示され、会期中に入賞者表彰式が執り行われた。

また、園児から高校生までの公募作品を展示紹介する「第38回八戸市学生書道展」が同時開催され、多彩なジャンルの作品や活動が美術館全館を彩った。

2. 開催概要

会期 | 前期：2025年9月18日（木）～21日（日）、
後期：9月25日（木）～28日（日）

開催日数 | 8日間

会場 | ホワイトキューブ、スタジオ、ギャラリー

観覧料 | 無料

主催 | 八戸市文化協会

共催 | 八戸市美術館

後援 | 八戸市、八戸市教育委員会、東奥日報社、
デーリー東北新聞社

ポスター | B2、片面

※同時開催

第38回八戸市学生書道展

会期 | 2025年9月18日（木）～21日（日）

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

共催 | 八戸市文化協会、八戸市美術館

後援 | 八戸市、八戸市教育委員会、東奥日報社、
デーリー東北新聞社

協賛 | 八戸三八城ライオンズクラブ、金入、はちの
へ額装、協和貿易、墨運堂、北斗園、文宝堂

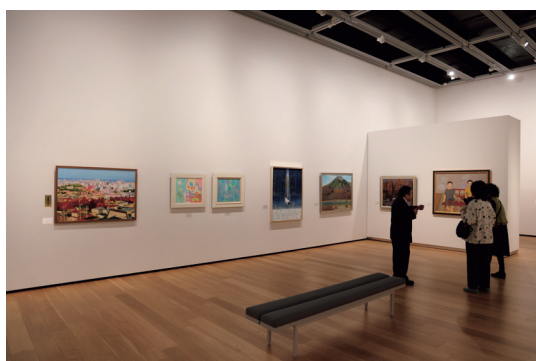
3. 開催の様子



会場風景（前期）



会場風景（八戸市学生書道展）



会場風景（後期）



会場風景（後期）

1. 展覧会+プロジェクト

共催展

第62回八戸市美術展

4. 広報物

THE62TH ART EXHIBITION OF HACHINOHE-2025

第62回
八戸市

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

■入場料 無料

前期 書道
9/18 木 ~ 21 日
■時間 10:00~18:00
最終日は16:00まで

後期 絵画・写真・工芸
9/25 木 ~ 28 日
■時間 10:00~18:00
最終日は16:00まで

■出品申込 8月5日(月)~8日(木)
10時から18時まで
出品申込書に出品料を添えて
文化協会事務局まで

■入賞者表彰式 日時: 9月28日 午前11時
場所: 八戸グランドホテル

■懇親会 日時: 9月28日 午後12時30分
場所: 八戸グランドホテル
会費: 3,000円

[主催] 八戸市文化協会
[共催] 八戸市美術館
[後援] 八戸市・八戸市教育委員会
東奥日報社・デューリー東北新聞社

[事務局] 八戸市文化協会
八戸市番町14番地(八戸グランドホテル内1階)
TEL/FAX 43-1149
<https://hachibunka.wiki.site.com/hachinohe-bunka>

ポスター

古代エジプト美術館展

1. 事業内容

日本唯一の古代エジプト専門美術館「古代エジプト美術館 渋谷」のコレクションを紹介する展覧会。先王朝時代からローマ支配時代までの古代エジプト文化の全貌をうかがい知ることができる。ミイラやミイラマスク、木棺、ツタンカーメンの指輪、レリーフなど、世界的に貴重な遺物約200点を展示した。また、ギャラリートークや講演会、ベリーダンスショーなどの関連イベントを実施し、古代エジプトの歴史や文化の魅力を紹介した。

2. 開催概要

会期 | 2025年10月11日(土)～12月15日(月)
※青森県東方沖地震の影響により12月8日(月)に閉幕
開催日数 | 51日間
会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ
観覧料 | 一般1,500円、高校・大学生600円、小学生・中学生300円、未就学児無料
※障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額。

入場者数 | 32,598人

主催 | デーリー東北新聞社、古代エジプト美術館 渋谷
共催 | 八戸市美術館
協賛 | 吉田産業、プライフーズ、青森トヨペット、第一ホーム、三八五流通、フルタイムシステム、南部電機
後援 | エジプト大使館、八戸市教育委員会、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、めんこいテレビ、コミュニティラジオ局BeFM
企画協力 | アートプランニング レイ
企画制作 | 西日本新聞イベントサービス
会場構成 | アートプラネット

ポスター | B2、片面
チラシ | A4、両面
デザイン：東北のデザイン社

3. 関連イベント

・ギャラリートーク
開催日 | 2025年10月11日(土) 10:30～11:30
ゲスト | 菊川匡(古代エジプト美術館 渋谷 館長)
会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ
参加料 | 要展覧会チケット
参加者数 | 58人
内容 | 「古代エジプト美術館 渋谷」の館長・菊川匡によるギャラリートーク。展示品の解説や収集にまつわるエピソードなどを紹介した。

・ベリーダンスショー「～古代の宴～ナイルに舞う女神たち」
開催日 | 2025年10月12日(日) 14:00～14:30、16:00～16:30
出演 | VITERASベリーダンスwith櫻井章仁
会場 | スタジオ
参加料 | 無料
参加者数 | 218人
内容 | 古代エジプト発祥のベリーダンスをプロのアラブ太鼓奏者の音色に合わせて踊るダンスショーを開催。

・八戸市民大学講座 第10講義「古代エジプトの神々とピラミッド」
開催日 | 2025年11月14日(金) 18:30～20:00
演題 | 古代エジプトの神々とピラミッド
講師 | 大城道則(駒澤大学文学部教授)
会場 | SG GROUP ホールはちのへ(八戸市公会堂文化ホール)
参加料 | 無料
参加者数 | 413人
主催 | 八戸市
内容 | 八戸市民大学講座との連携企画として、本展の学術協力者である駒澤大学・大城道則教授による講演を実施。

・手話付きギャラリートーク
開催日 | 2025年12月7日(日) 11:00～12:00
会場 | ホワイトキューブ
参加料 | 要展覧会チケット
参加者数 | 10人
内容 | 展覧会の見どころを、手話通訳付きで学芸員が解説。

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
古代エジプト美術館展

4. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



ギャラリートーク



ベリーダンスショー

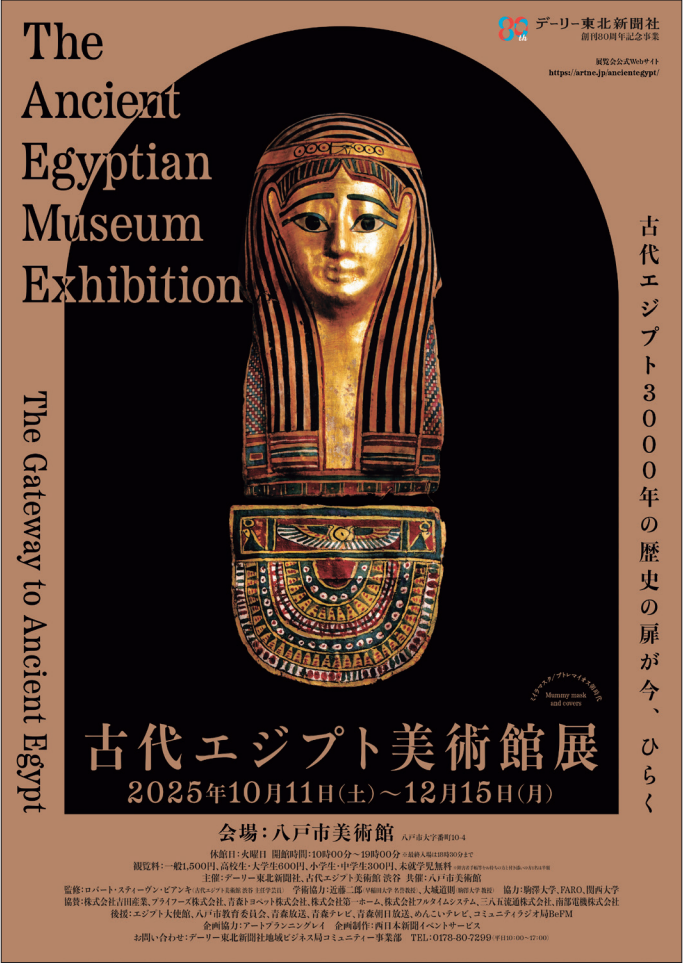


手話付きギャラリートัวร์

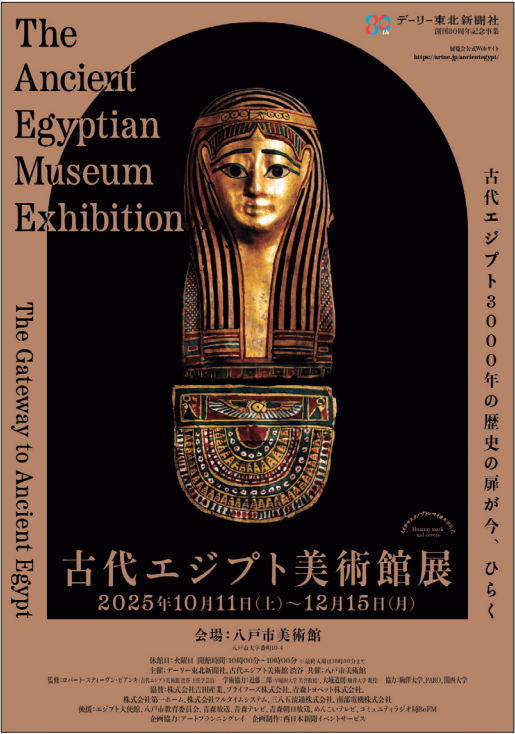
1. 展覧会+プロジェクト

共催展
古代エジプト美術館展

5. 広報物



ポスター



チラシ(表)



チラシ(裏)

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
第58回八戸市小学校図画
画工作展

第58回八戸市小学校図画工作展

1. 事業内容

八戸市内小学校の授業で児童が制作した作品を
展示。

2. 開催概要

会期 | 2025年12月26日（金）～28日（日）

開催日数 | 3日間

会場 | ギャラリー1・2

観覧料 | 無料

主催 | 八戸市小学校図画工作科教育研究会

共催 | 八戸市美術館

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「児童が手がけた水彩画と版画
398点／市小学校図画工作展 市美術館です
まで」2025年12月27日

4. 開催の様子



会場風景



会場風景

帆風美術館×八戸市美術館共催 新春屏風展～デジタル光筆画で見る屏風の世界～

1. 事業内容

帆風美術館と八戸市美術館が共催し、帆風美術館が所蔵しているデジタル光筆画で複製された屏風、岩佐又兵衛筆《洛中洛外図屏風》(原品所蔵元：東京国立博物館蔵 TNM Image Archives)を、新春にあわせて展示。また、お茶会、琴や尺八の演奏、落語などのイベントをあわせて実施し、日本の伝統文化に触れる機会を提供した。

2. 開催概要

会期 | 2026年1月2日(金)～19日(月)

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

主催 | 帆風美術館、八戸市美術館

チラシ | A4、両面

3. 関連イベント

・新春 お茶会体験

開催日 | 2026年1月3日(土) 12:00～15:00

会場 | 八戸市美術館ジャイアントルーム

参加費 | 500円

参加者数 | 100人

内容 | 新春にあわせ、高校生が点てたお茶を振る舞い、お茶会を通じて日本の伝統的なおもてなしの心を体験する。

・新春 琴と尺八の調べ

開催日 | 2026年1月10日(土) 14:00～15:00

出演 | 松の実會 鈴木操良 慈社中、高谷峽韻、高橋巧山、土嶺嶺山

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

参加者数 | 60人

内容 | 琴と尺八による演奏で新春を寿ぐ。

・新春 落語と漫談の夕べ

開催日 | 2026年1月17日(土) 14:00～15:30

出演 | 大地球、ケン・シラハタ

会場 | スタジオ

木戸銭(参加料) | 1,000円

参加者数 | 35人

内容 | 新春にあわせ、落語など伝統芸能に触れる機会とする。

・南部小絵馬作りに挑戦

開催日 | 2026年1月18日(日) 10:00～12:00、14:00～15:30

講師 | 帆風美術館、高田習字教室、杏紗塾

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 1,000円

参加者数 | 20人

内容 | 藤右衛門の小絵馬と願い事を書き、新春にふさわしい機会とする。

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
新春屏風展

4. 開催の様子



会場風景



新春 お茶会体験



新春 琴と尺八の調べ



新春 落語と漫談の夕べ



南部小絵馬作りに挑戦

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
新春屏風展

5. 広報物

帆風美術館
Hachinohe Museum of Art

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

1月2日「金」

19日「月」

新春屏風展

新春美術館との共催により
日本の伝統文化を伝える
屏風展を八戸市美術館
で開催します。

出品:デジタル光筆複製画による
国宝・岩佐又兵衛筆
「洛中洛外図屏風」

原品所蔵元:東京国立博物館 T&M Image Archives

【会場】八戸市美術館

【時間】1月2日〜3日:10時〜17時
1月4日〜19日:10時〜19時

【休館日】1月6日、13日

【観覧料】無料

～デジタル光筆画で見る屏風の世界～

「新春 お茶会体験」
協力:帆風美術館・茶道愛好会
1.3(土) 12時〜15時
【参加費】5,000円、当日会場受付にて。
【定員】先着100名、申込不要

「新春 琴と尺八の調べ」
出演:琴一松の会 松本隆吉・松本隆吉
1.10(土) 14時〜17時、17時〜20時
【参加費】5,000円、当日会場受付にて。
【定員】先着100名、申込不要

「新春 落語と装束の夕べ」
出演:八戸市落語会、八戸市落語会
1.17(土) 14時〜17時
【参加費】5,000円、当日会場受付にて。
【定員】先着100名、申込不要

「お正月を楽しむ 南部小絵馬づくり」
協力:高田哲子教室・杏林会
1.18(日) 10時〜12時、14時〜17時
【参加費】1,000円、当日会場受付にて。
【定員】どなたでも、後着100名程度(要申込)
【申込】0178-20-1335 (帆風美術館)

チラシ（表）

国宝・舟木本洛中洛外図屏風について

岩佐又兵衛筆 6曲1双 原品所蔵元:東京国立博物館 T&M Image Archives

洛中洛外は京都の各所や人々を俯瞰的に描いて、室町末から江戸初期に流行した風俗画です。舟木本は滋賀県の舟木家に伝来したことからその名が付けられています。一般的な洛中洛外図では上京と下京それぞれを一瞥ずつ分けて描かれますが、舟木本では二隻が連続した視点で描かれています。描かれている人物は二千五百人にも及びます。

図1 舟木本洛中洛外図屏風(部分) 原品所蔵元:東京国立博物館 T&M Image Archives 複製画は、デジタル光筆画を複製したもので、

帆風美術館・八戸市美術館共催「新春屏風展」～デジタル光筆画で見る屏風の世界～

関連イベント

「新春 お茶会体験」
●協力 帆風美術館・茶道愛好会
●日時 2026/1/3(土) 12:00〜15:00 (先着100名)
●場所 八戸市美術館・ジェイアントルーム
●料金 500円 (予約不要)

「新春 琴と尺八の調べ」
●出演 琴一松の会 松本隆吉・松本隆吉・高田哲子・土屋謙山
●日時 2026/1/10(土) 14:00〜15:00
●場所 八戸市美術館・ジェイアントルーム
●料金 無料 (予約不要)

「新春 落語と装束の夕べ(予約優先)」
●出演 八戸市落語会、八戸市落語会
●日時 2026/1/17(土) 14:00〜15:30 (※予約優先 50名)
●場所 八戸市美術館・スタジオ
●料金 1,000円 (予約優先)

「はらびでよう見まね『お正月を楽しむ 南部小絵馬づくり』(予約優先)」
●協力 高田哲子教室・杏林会
●日時① 2026/1/18(日) 10:00〜12:00 (※同じ内容です。)
●日時② 2026/1/18(日) 14:00〜15:30 (※同じ内容です。)
●場所 八戸市美術館・スタジオ
●内容 愛らしい南部小絵馬と、願い事を書きます。
●対象 はじめての方も、自由に描きたい方も、どなたでも。
●定員 各回10名程度
●材料費 1,000円 (受付、予約優先)
●服装 汚れてもいい服装で、持ち物は特になし。

チラシ（裏）

60

GOMA展 WONDER 不思議と驚きと奇跡

1. 事業内容

青森県弘前市出身のアーティストGOMAによる展覧会。県内で3度目となる大規模な個展で、ほとんどが新作となる約80点が展示された。

普段アートに興味のない人にも気軽に楽しんでもらえる内容を目指し、フォトスポットのある壁一面のモノクロ壁画や、街並みを一緒につくることのできる体験ブースなど、参加型の作品も用意された。

2. 開催概要

会期 | 2026年2月14日(土)～3月29日(日)

開催日数 | 39日間

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ

観覧料 | 一般1,200円(1,100円)、高校生・大学生800円(700円)、小学生・中学生600円(500円)、未就学児無料

※()内は前売り及び20名以上の団体料金。

※障害者手帳をお持ちの方とその付き添い者1名は当日券より半額。

入場者数 | 11,501人

主催 | GOMALABO

共催 | 八戸市美術館

協賛 | D-tcs、HHKピース、max and momo、青森つばめプロパン販売

協力 | 盛岡駅ビルフェザン、八戸ショッピングセンターラピア、夢・デザイン、JR東日本盛岡支社青森営業統括センター／八戸統括センター

ポスター | B2、片面

チラシ | A4、両面

3. 関連イベント

・ギャラリートーク

開催日 | ①2026年2月14日(土) 11:00～12:00②
3月14日(土) 14:00～15:00

ゲスト | GOMA

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | ①60名②55名

内容 | アーティストGOMAと展覧会を巡り、作品に関するトークを聞く。

・エンジョイ!ぬり絵DAY

開催日 | 2026年3月14日(土) 10:00～12:00

講師 | GOMA

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 60人

内容 | GOMAオリジナルのぬり絵に、色鉛筆やクレヨンで自由に色を塗ることができる。完成したぬり絵は、花丸をつけてもらえる。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・東奥日報「八戸でGOMAさん個展」2026年2月14日

・デーリー東北「独創的な絵画や立体 GOMAさん個展、9割新作」2026年2月15日

WEB |

・美術展ナビ「【レポート】「GOMA展 WONDER 不思議と驚きと奇跡」青森・八戸市美術館で3月29日まで「誰もが楽しめる空間をつくりたい」という願いが結実 びっくりが連続するGOMAワールド!」2026年3月1日 (<https://artexhibition.jp/topics/news/20260227-AEJ2846454/>)

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
GOMA展 WONDER
不思議と驚きと奇跡

5. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



ギャラリートーク



エンジョイ!ぬり絵DAY



ショップ風景

共催展
GOMA展 WONDER
不思議と驚きと奇跡

6. 広報物



ポスター



チラシ (表)



チラシ (裏)

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

西尾美也アートプロジェクト
「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」

西尾美也アートプロジェクト

「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」

1. 事業内容

装いや服、コミュニケーションにまつわるユニークなアートプロジェクトやファッションブランドを手がけるアーティスト・西尾美也と一緒に、衣服から、2025年12月8日に発生した震度6強の「青森県東方沖地震」を振り返るプロジェクト。

地震発生の2025年12月8日に様々な人が着ていた服を集めて、エピソードと共に展示し、他者との境界線であり接点でもある「服」を見ることで、地震の日のそれぞれの日常をあぶり出した。また、美術館のジャイアントルームを避難所に見立て、集めた古着を切り出してパッチワークにし、滞在するための TENT を服でつくる作業をアートファーマーと共にを行い、1基が完成した。

会期終盤には、トークイベントを開催。西尾と、八戸在住の地域コーディネーターで、被災後地域支援活動を行う栗林志音が登壇し、今回のプロジェクトや地震について振り返った。次の地震に備えるためには、日常と、地震という非日常を区別なく「フェーズフリー」にとらえることが有効であり、いざというときの助け合いができる人間関係（社会関係資本）を育てていくことや防災の啓発において、アートと防災の協働の可能性を見出すこととなった。

2. 開催概要

期間 | プロジェクト：2026年2月28日（土）～3月16日（月）、展示：3月7日（土）～16日（月）

アーティスト | 西尾美也

入場者数 | 1,900人

アートファーマー参加人数 | 7人

展示協力者 | 30人

チラシ | A4、両面

デザイン：類家舜（イラスト）、平井真里

担当学芸員 | 大澤苑美、平井真里

3. 関連イベント

・西尾美也アーティストトーク ～ファッション、装い、コミュニケーション～

開催日 | 2025年7月21日（月・祝）13:30～15:00

出演 | 西尾美也、大澤苑美

参加者数 | 18人

内容 | 西尾の活動から、昔の家族写真と、同じメンバーが同じ服を着て同じ場所で再び写真撮影を行う《Familial Uniform》や、市民が洗濯物を持ち寄って公共の場で洗濯という行為を楽しみまちを彩る《感覚の洗濯》、大阪市西成区で地域の女性たちとの共同制作によるファッションブランド《NISHINARI YOSHIO》などを紹介した。

・トークイベント「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」

開催日 | 2026年3月14日（土）13:30～15:00

出演 | 西尾美也、栗林志音（バリューシフト／地域コーディネーター）、大澤苑美

参加者数 | 20人

内容 | 今回のプロジェクトを振り返るトークイベントを開催。能登半島地震や八戸の地震で支援の活動に携わっている栗林志音から話題提供を受けながら、「地震の日の服」から考える災害・防災について、アートの視点、地域づくりの視点それぞれから意見を交わした。

・感覚の洗濯 説明会

開催日 | 2026年3月14日（土）16:00～17:00

参加者数 | 6人

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「震度6強、当時の服で回顧／あすから八戸市美術館で企画展／展示通し「地震考える機会に」2026年3月6日

・東奥日報「天地人」2026年3月13日

・デーリー東北「八戸市美術館で企画展トークイベント／アートを取り巻く環境は／キュレーター森さんら意見交わす」2026年3月17日

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

西尾美也アートプロジェクト
「地震の日の服 あの日
私が着ていたのは」

- ・デーリー東北「アートの視点で防災を考えよう
／市美術館で震度6強振り返るイベント／アー
ティスト西尾さんらトーク」2026年3月17日

ラジオ |

- ・NHKラジオ第1(東北)「Nandary」2026年3月5
日
- ・コミュニティラジオBeFM「 ゆうらじ八戸」2026
年3月6日

WEB |

- ・デーリー東北デジタル「アートの視点、防災意
識の一助に 八戸市美でトークイベント「地震
の日の服」プロジェクトの一環」2026年3月16
日 (<https://www.daily-tohoku.news/archives/SP160>)

5. 開催の様子



西尾美也アーティストトーク



活動日



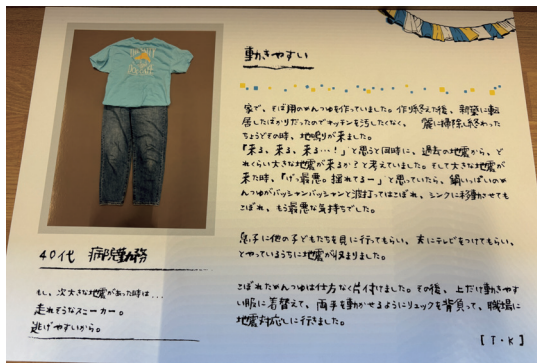
活動日



トークイベント



展示風景



展示風景

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

西尾美也アートプロジェクト
「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」

6. 広報物



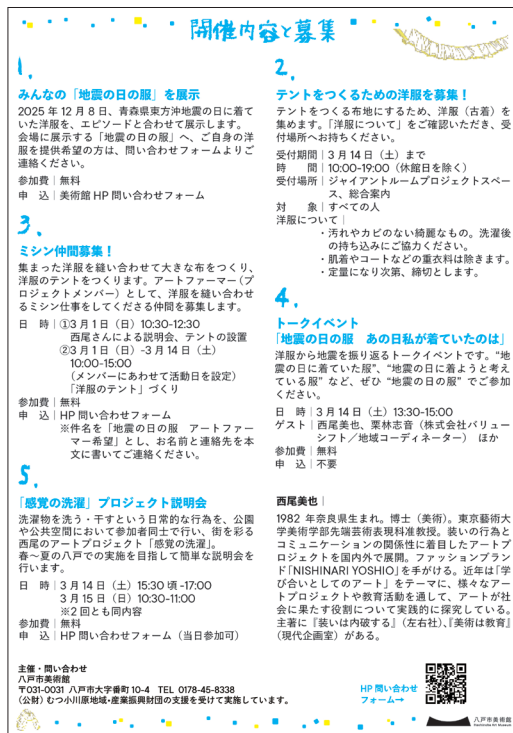
西尾美也 アートプロジェクト
「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」
2026. 2. 28 - 3. 16 八戸市美術館

大きな地震が来たとき、どんな服を着ていたでしょうか？ 履いていた靴は？
八戸市美術館では、洋服にまつわるユニークなアートプロジェクトやファッションブランドを手がけるアーティスト・西尾美也さんと一緒に、衣服から地震を振り返るプロジェクトを開催します。
このプロジェクトでは、青森県東方沖地震が発生した2025年12月8日に着ていた服を集めて、エピソードと共に展示します。また、ジャイアントルームを避難所に見立て、集めた古着をパッチワークにして避難テントをつくります。
2026年3月には、青森県東方沖地震から3ヶ月後であり、3月11日には東日本大震災から15年を迎えます。それまでも、八戸では、1968年に十勝沖地震、1994年に三陸はるか沖地震と、大きな地震が起きました。震災と震災の間に生きる私たちにとっては、地震の経験を通じていくことも大切なことかもしれません。

プロジェクト
2月28日(土) ~ 3月16日(月)
展示
3月7日(土) ~ 3月16日(月)
トークイベント
3月14日(土) 13:30 ~ 15:00

アーティスト | 西尾美也 (ファッションデザイナー・アーティスト)
会場 | 八戸市美術館 ジャイアントルーム

チラシ(表)



開催内容と募集

1. みんなの「地震の日の服」を展示
2025年12月8日、青森県東方沖地震の日に着ていた洋服を、エピソードと合わせて展示します。会場に展示する「地震の日の服」へ、ご自身の洋服を提供希望の方は、問い合わせフォームよりご連絡ください。
参加費 | 無料
申込 | 美術館 HP 問い合わせフォーム

2. テントをつくるための洋服を募集！
テントをつくる布地にするため、洋服(古着)を集めます。「洋服について」をご確認いただき、受付場所へお持ちください。
受付期間 | 3月14日(土) まで
時間 | 10:00-19:00 (休館日を除く)
受付場所 | ジャイアントルームプロジェクトスペース、総合案内
対象 | すべての人
洋服について |
・汚れやカビのない綺麗なものを。洗濯後の持ち込みにご協力ください。
・肌着やコートなどの重衣料は除きます。
・定量になり次第、締切とします。

3. ミシン仲間募集！
集まった洋服を縫い合わせて大きな布をつくり、洋服のテントをつくります。アートファーマー(プロジェクトメンバー)として、洋服を縫い合わせるミシン仕事をしてくださる仲間を募集します。
日時 | ①3月1日(日) 10:30-12:30
西尾さんによる説明会、テントの設置
②3月11日(日) ~ 3月14日(土)
10:00-15:00
(メンバーにあわせて活動日を設定)
「洋服のテント」づくり
参加費 | 無料
申込 | HP 問い合わせフォーム
※件名を「地震の日の服 アートファーマー希望」とし、お名前と連絡先を本文に書いてご連絡ください。

4. トークイベント
「地震の日の服 あの日私が着ていたのは」
洋服から地震を振り返るトークイベントです。「地震の日に着ていた服」、「地震の日に着ようと考えている服」など、ぜひ「地震の日の服」でご参加ください。
日時 | 3月14日(土) 13:30-15:00
ゲスト | 西尾美也、栗林志音(株式会社バリュースト/地域コーディネーター) ほか
参加費 | 無料
申込 | 不要

5. 「感覚の洗濯」プロジェクト説明会
洗濯物を洗う・干すという日常的な行為を、公園や公共空間において参加者同士で行い、街を彩る西尾のアートプロジェクト「感覚の洗濯」。
春～夏の八戸での実施を目指して簡単な説明会を行います。
日時 | 3月14日(土) 15:30頃-17:00
3月15日(日) 10:30-11:00
※2回とも同内容
参加費 | 無料
申込 | HP 問い合わせフォーム (当日参加可)

主催・問い合わせ
八戸市美術館
〒031-0001 八戸市大字橋町10-4 TEL 0178-45-8338
(公財)むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施しています。

HP 問い合わせフォーム
QRコード

チラシ(裏)

2. コレクション

収集

1. 八戸市美術館美術品等収集理念・方針

理念

地域の芸術や文化、まちの歩みに寄り添いながら、未来を見据え、多様な価値観を創出し、人を育むための美術資料の収集を行う

方針

- ・八戸市を中心とした近隣地域ゆかりのもの
- ・八戸地域における新たな魅力の創造や学びにつながるもの
- ・八戸の美術を美術史全体の中で位置づけられるもの

2. 八戸市美術館美術品等収集委員会

概要

美術品などを適正かつ公正に収集するため、八戸市美術館美術品等収集委員会規則に基づき、国内外の美術の動向や美術館運営のあり方、先進事例等に精通した専門家で構成する「八戸市美術館美術品等収集委員会」を設置し、収集候補作品に係る調査審議を実施。

委員

会長 | 塩田純一（美術評論家、元新潟市美術館館長）

副会長 | 滝尻善英（青森県文化財保護協会会長、八戸市文化財審議委員委員長）

委員 | 池田亨（前青森県立美術館美術統括監）

委員 | 藤浩志（秋田公立美術大学教授）

委員 | 吉田尊子（岩手県立美術館学芸普及課課長）

（2026年3月31日時点）

開催状況

日時 | 2025年11月25日（火）13:30～16:00

場所 | スタジオ

内容 | 収集候補美術品等に係る調査審議

3. 作品収集状況

令和7年度収集作品 | 27点

内訳：版画13点、洋画4点、工芸4点、彫刻3点、インスタレーション1点、教育版画2点（寄贈）

収蔵作品総点数

区分	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書	写真	教育版画	インスタレーション	計
購入	14	56	55	9	56	49	0	0	0	239
寄贈・管理換	50	1,222	237	11	171	209	16	540	1	2,457
計	64	1,278	292	20	227	258	16	540	1	2,696

2. コレクション

収集

令和7年収蔵作品一覧

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
浅沼弘	はちのへ	1970年	紙、メゾチント	36.4×30.0
浅沼弘	はちのへ2	2001	紙、メゾチント	58.5×35.2
浅沼弘	はちのへ3	2002	紙、メゾチント	69.5×58.5
浅沼弘	はちのへ4	2003	紙、メゾチント	69.8×58.2
浅沼弘	はちのへ5・ハマナス哀歌	2004	紙、メゾチント	69.8×58.2
浅沼弘	はちのへ6・潮風	2005	紙、メゾチント	69.0×59.6
浅沼弘	はちのへ7・豊漁の兆し	2006	紙、メゾチント	69.0×60.0
浅沼弘	はちのへ8・岬は潮煙	2007	紙、メゾチント	71.8×59.1
浅沼弘	はちのへ10・海辺の夢の華	2009	紙、メゾチント	69.0× 59.8
浅沼弘	はちのへ11・縄文からの愛しい贈り物	2010	紙、メゾチント	68.6×59.5
浅沼弘	はちのへ12・獲れ鱈と五十集	2011	紙、メゾチント	68.5×59.4
浅沼弘	はちのへ14・魚藍観世音菩薩	2014	紙、メゾチント	59.8×49.3
浅沼弘	悲愴	2011	紙、メゾチント	72.5×62.0
大久保景造	タイトル不詳	1950年代 後半～60 年代	紙・板、油彩	67.2×93.2
三村紗瑛子	それはいまも変わらない	2024	油彩、キャンバス	31.8×41.0
三村紗瑛子	まだ残る光	2024	油彩、キャンバス	53.0×72.7
三村紗瑛子	気配を辿る場所	2024	油彩、キャンバス	31.8×41.0
榎本佳子	貝／壺	2021	半磁土、轆轤成形・手びねり	16.5×22.3×19.0
榎本佳子	ホヤ／壺	2021	半磁土、轆轤成形・手びねり	24.9×19.0×16.0
榎本佳子	イカ／壺	2021	紫香楽透土・LED、轆轤成形・手びねり	57.5×46.5×44.4
榎本佳子	美／壺	2025	半磁土、轆轤成形・手びねり	20.0×15.6×13.0
澤田政廣	白衣観音	1927	木彫	39.5×36.5×16.5
澤田政廣	壽老	1951	木彫、彩色	59.5×24.0×19.5
澤田政廣	華	1983	木彫、彩色	100.0×27.0×21.5
井川丹	あわいの声 ―《虹の上をとぶ船 総集編I・II》との対話	2023	8chスピーカーによる音楽イ ンスタレーション	9時間
八戸市立鯨中学校 版画グループ	木版画集『漁港』	1957	紙、木版・ドライポイント	22.5×31.8
三八教育版画の 会編	児童・生徒版画集『やませ』第一集	1958	紙、木版	39.5×54.0

サイズは、平面作品は「縦×横」、立体作品は「高さ×幅×奥行き」の順に記載

管理

1. 収蔵品修復

以下の資料の状態調査と修復を行った。

豊島弘尚 | 23点

渡辺貞一 | 3点

計26点

(委託先：修復研究所21)

2. 収蔵品撮影

デジタル撮影 | 100点

フィルム撮影 | 100点

(委託先：フォトセンター惣門)

3. 収蔵品貸出

作品貸出 | 該当なし

資料貸出 |

件数 | 2件

作者／プロジェクト名	作品・資料名	貸出先	貸出期間	利用方法
伊藤二子	ペインティングナイフ (5点)	青森県立美術館「コレクション展2025-2」	2025年 7月4日～ 11月28日	展示
南郷アートプロジェクト 映画を作ろうシリーズ	南郷アートプロジェクトで制作した映画のダイジェストデータ (4点)	南郷産業文化まつり実行委員会事務局「第37回南郷産業文化まつり」	2025年 10月27日 ～11月10日	展示

画像貸出 |

件数 | 2件

作者名	作品・資料名	媒体名	掲載日／発行日	利用方法
下村正二	流れる時の記念碑	2026年青森みちのく銀行カレンダー	2025年 11月1日	カレンダーへ掲載
伊藤二子	無題 (2003)	デーリー東北2026新年号第4分冊	2026年 1月1日	新聞へ掲載

4. その他

毎月の昆虫調査および年2回の空気環境調査を行った (委託先：イカリ消毒株式会社八戸営業所)。

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

1. 事業内容

八戸市美術館の建築の魅力や特徴を、一緒に学び、学んだことを他の誰かに自分の言葉で伝える実践（ガイド）を通して、美術館と人をつなぎ、新たなコミュニティを育むことを目的に、2021年より実施。毎月最終土曜日の建築ツアーに加えて、毎年新規メンバーの募集および講座を行っている。講座では、八戸市美術館設計者である西澤徹夫と浅子佳英を講師に招いて当館の建築について学んだり、誰かの視点で美術館を見ることをテーマに、市内在住の建築家・高砂充希子から見た八戸市美術館の話の聞いたり、車椅子での建築ツアーを体験した。館外研修では、青森県立美術館を建築に着目しながら見学した。また、ガイドの視点で八戸市美術館の建築の魅力を伝えるパンフレットを制作した。

2. 活動概要

・建築ツアー

期間 | 通年

実施回数 | 12回

毎月第4土曜日各日①10:30～②13:30（2025年4月26日、5月31日、6月27日、7月25日、8月30日、9月27日、10月25日、11月29日、12月27日、2026年1月31日、2月28日、3月28日）

アートファーマー登録人数 | 18人（5期生6人）

参加者数 | 125人

担当学芸員 | 大澤苑美、三浦あかり

・ツアーガイド講座

①建築ツアーガイド5期生募集 ガイダンス

開催日 | ①2025年10月25日（土）②11月29日（土）各日10:30～12:15、11:30～14:15

内容 | 新規アートファーマー希望者に向けて、建築ツアーの体験と説明会を行った。

②第1回講座 八戸市美術館と建築を学ぶ

開催日 | 2025年11月3日（月・祝）10:30～15:30

内容 | 八戸市美術館設計者である西澤徹夫、浅

子佳英、館長によるレクチャーと館内ツアー、八戸市美術館の概要説明。

③第2回講座 だれかの視点で見る、Myガイドポイントを考える

開催日 | 2025年12月7日（日）10:30～15:30

内容 | 別の建築家の視点で美術館を見る（ゲスト：高砂充希子）、手話付きガイドツアーの見学、車椅子での館内見学、自分なりのガイドポイントを考える。

④第3回講座 館外研修 他の美術館建築を学ぶー青森県立美術館ー

開催日 | 2026年1月12日（月・祝）14:00～16:00

内容 | 青森県立美術館を建築の視点から見学するバスツアー。

⑤第4回講座 八戸市美術館をもっと知る

開催日 | 2026年2月28日（土）13:00～15:30

内容 | 館長クロストークと先輩アートファーマーによる1年の活動を振り返るアートファーマーミーティングに参加。

チラシ | A4、片面

デザイン：類家舜

・建築紹介パンフレット「知りたいハチビ!vol.3」

制作

パンフレット | A5変形三つ折、両面

イラスト・デザイン：緒方彩乃

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

4. 開催の様子



建築ツアー活動日



建築ツアー活動日



建築ツアー活動日



建築ツアー活動日



建築ツアー活動日



第1回講座



第2回講座



第3回講座

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

5. 広報物／パンフレット

アートファーマープロジェクト

5期生募集!

八戸市美術館建築ツアーガイド講座

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

美術館の建物の特徴や魅力を来館者に伝える、「八戸市美術館建築ツアーガイド」5期生を募集します!
八戸市美術館を多様な方法で知る研修を通して、それぞれにオリジナルツアーやガイドポイントを考えます。先輩ガイドのみなさんと一緒に、楽しく活動しましょう!

▼どんな活動?▼
毎月、最終土曜 ①10時30分～②11時30分
館内のガイドを行います。

▼高校生から社会人の方まで活躍中!
2025年度のデビューを目指します。

▼参加条件▼
・中学生以上
・来館されたいとお考えの方
・研修に参加できる方(11/3第1回研修は必修とし、全部で3回以上(カイトダンス含む)の参加をお願いします)
・毎月月末土曜日に開催する建築ガイドツアーに年間3回以上参加できる方
・活動の連絡をLINEでつづけてくださる方(保護者の方の連絡先も可)
・参加無料(第3回の観覧料は自己負担)

▼定員▼
10名程度

▼申込方法▼
メールかWEBの申込フォームから。
①お名前・年齢(学年の方は学年)
②住所(市町村名まで可)
③「参加を希望する理由」
④参加できる研修日
を添えてお申し込みください。

申込・問合せ先 八戸市美術館
【電話】0178-45-8338(10～19時) / 受付 【Email】art@city.hachinohe.aomori.jp

ガイダンス
10/25(土)11/29(土)の建築ツアーに参加して、活動をご体験ください。活動内容の簡単な説明やご相談にもお答えします。

講座スケジュール

第1回 講座
八戸市美術館と建築を学ぶ -設計者から話を聞く-
日時 2025年11月3日(月祝) 10:30～15:30
内容 設計者(西澤徹夫・浅子佳英)、館長による講義
八戸市美術館の概要説明、館内見学
*都合のつかない方には、後日「補講」を開催予定です。

第2回 講座
だれかの視点で見ると、Myガイドポイントを考える
日時 2025年12月7日(日) 10:30～15:30ごろ
内容 別の視点で美術館をみる(ゲスト招待予定)
手話付きカイトツアーの見学
自分なりのガイドポイントを考える

第3回 館外研修
他の美術館建築を学ぶ -青森県立美術館-
日時 2026年1月12日(月祝) 9:00～17:00
内容 青森県立美術館の見学(八戸市美術館からバスツアー)
*観覧会観覧料は自己負担となります。

第4回 講座
八戸市美術館をもっと知る -アートファーマーミーティング-
日時 2026年2月28日(土) 時間未定
内容 アートファーマープロジェクトの活動報告会に参加し、他のプロジェクトを通して、美術館を知る

チラシ

● 八戸市美術館 建築ツアーガイド ●

知りたい! ハチビ!

vol.3 建築群のすみっくーいつもあたたかきそばにー

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

〒031-0031 八戸市大字番町10-4
TEL: 0178-45-8338 / FAX: 0178-24-4531
公式HP: <https://hachinohe-art-museum.jp>

2025年3月発行 (Illustration: 横山 幸子)

八戸市美術館(ハチビ)では、アートファーマーによる建築ツアーガイドを定期開催しています。アートファーマーとは、アートでコミュニティを結ぶ、八戸市美術館の市民スタッフの総称です。当館の建築ツアーで特徴的なのは、決まったコースがないこと。ガイドは八戸市美術館の建築物の魅力や特徴について仲間とともに学び、自分の個性を活かして伝えるという実践を通して、職業も年代も異なる人たちのコミュニケーションの機会を生み出します。ツアーコースも紹介するポイントもガイドの視点とに異なり、ガイドと建築家、美術館と美術館で会話が弾む?ユニークな建築ツアーを、ぜひ何度もお楽しみください。このパンフレットでは、そんなちょっと変わったガイドの一部をご紹介します。

パンフレット(表)

アートファーマー ガイド紹介

01 あつきさん
建築家(ハルノミヤノ) 語りここと、語ること
美術館の一日勤務 誰かと話さうたり
建築家としての 美術館にあっては
楽しかったから 建築家があるところ

02 ハルさん
建築家 大規模建築、建築(近代文明)
建築家としての 美術館にあっては
楽しかったから 建築家があるところ

03 ミカさん
建築家 建築家としての 美術館にあっては
楽しかったから 建築家があるところ

04 ナカムラメイさん
建築家 建築家としての 美術館にあっては
楽しかったから 建築家があるところ

05 おちこさん
建築家 建築家としての 美術館にあっては
楽しかったから 建築家があるところ

パンフレット(裏)

美術館広報部

1. 事業内容

アートファーマーならではの視点と発想で美術館事業の情報や魅力を発信する活動として、コミュニティラジオBeFMのコーナー「美術館広報部 アートファーマーがしゃべってみた」(毎月第1木曜日、18:10ごろから15分)と、WEBメディア「note」で、美術館のイベントレポートや告知、アーティストインタビューなどを紹介している。

2. 活動概要

期間 | 通年

アートファーマー参加者数 | 5人

ラジオ出演 | 12回

原則毎月第1木曜日 18:15ごろから約15分

3. 開催の様子



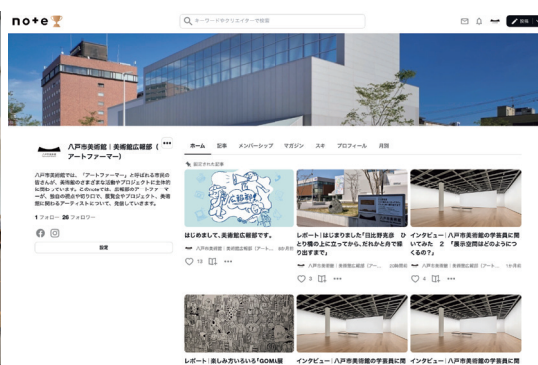
活動日



活動日



活動日



note

コミュニティラジオBeFM「ゆうらじはちのへ」内「美術館広報部 アートファーマーがしゃべってみた」(2025年4月3日、5月1日、6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、10月2日、11月6日、12月4日、2026年1月8日、2月5日、3月5日)

note | 12記事

<https://note.com/8noheartmuseum>

担当学芸員 | 大澤苑美、平井真里

エンジョイ!ぬり絵DAY

1. 事業内容

館内で気軽に創作やものづくりが楽しめる「ものづくり部」の一環として、気軽にぬり絵を楽しむプロジェクトを実施。

地元の作家にオリジナルぬり絵の制作を依頼し、毎月第2土曜日のイベント日に、「ぬり絵の先生」として参加者数にぬり絵のアドバイスをしたり、完成したぬり絵に花丸をつけた。

また、八戸工業大学第二高等学校美術コースの生徒がアートファーマーとなり、先生のサポートのほか、先生としてぬり絵の制作も行った。

イベント日以外も館内にぬり絵を常設し、いつでも体験できるようにした。

2. 開催概要

期間 | 2025年9月～2026年3月

イベント実施 | 8回

毎月第2土曜日10:00～14:00 (2025年8月9日、9月13日、10月18日、11月8日、12月15日、2026年1月10日、2月14日、3月14日)

講師 | 漆畑幸男 (2025年9月13日)、庭田薫 (2025年11月8日)、佐々木遊 (2026年1月10日)、GOMA (2026年3月14日)、工大二高美術コース生徒 (2025年10月18日、12月15日、2026年2月14日)

アートファーマー参加人数 | 11人 (工大二高美術コース生徒)

参加者数 | 205人

担当学芸員 | 三浦あかり、大澤苑美

3. 活動の様子



活動日



活動日



活動日



活動日

3. アートファーマー

加藤千晶
かぎ針編みで絵を編む

加藤千晶 かぎ針で絵を編む

1. 事業内容

アーティストの加藤千晶による、1枚のタペストリーを参加者みんなで作る、かぎ針編みのワークショップを実施。

参加者のレベルに合わせ、太さや質感の違う糸を組み合わせてオリジナルの糸をつくる「引き揃え」、制作で使う細編み（こまあみ）の練習をする「編み地づくり」、参加者で、編み物をどんどんつなげ、大きなタペストリーの絵をつくる「タペストリーづくり」の3段階を用意した。

初心者参加者数に、針や糸の持ちかたや、目のひろいかたなどを教えるお手伝いをするワークショップアシスタントとして、アートファーマーを募集して、ワークショップと一緒に運営し、タペストリーと一緒に制作した。

2. 活動概要

期間 | ①2025年9月13日（土）②14日（日）③15日（月・祝）各回10:00～15:00

会場 | 八戸市美術館ジャイアントルーム

参加料 | 無料

アーティスト | 加藤千晶

アートファーマー参加人数 | 6人

参加者数 | ①20人②12人③16人

担当学芸員 | 大澤苑美

3. 開催の様子



活動日



活動日



活動日



活動日

3. アートファーマー

しばやまいぬ
くにゅぎの森3D 冬・絶景
(くにゅぎの森 魔法学校)

しばやまいぬ

くにゅぎの森3D 冬・絶景 (くにゅぎの森 魔法学校)

施設ガイド12月」2025年12月24日

1. 事業内容

市内在住の少女板画家・イラストレーターのしばやまいぬと、アートファーマーが共に、版画の世界から飛び出した「くにゅぎの森 魔法学校」を実施。スタイロフォームで池の石を、ペーパークラフトによって虫を制作した。冬休み期間には、つくった虫を捕って楽しむイベント「くにゅぎの森3D 冬・絶景」を開催。アーティストとアートファーマーが管理人となって会場に滞在して、来場者と交流した。

2. 開催概要

期間 | プロジェクト(制作日) : 2025年6月15日、8月25日、9月7日、10月25日、11月2日、8日、16日、22日、23日、30日、12月7日

イベント : 2025年12月13日(土) ~ 2026年1月12日(月・祝)

アーティスト | しばやまいぬ(少女板画家、イラストレーター)

入場者数 | 5,038人

アートファーマー参加人数 | 8人

ポスター | B2、片面(くにゅぎの森3D 冬・絶景)

チラシ | A4、両面(くにゅぎの森 魔法学校、くにゅぎの森3D 冬・絶景)

担当学芸員 | 平井真里

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デリーー東北「3Dユニークな世界／少女板画家 しばやまいぬさんら制作／市美術館で体験型展示会」2025年12月22日

雑誌 |

・ものの芽舎『季刊あおもりのき 創刊第25号』2025年11月15日

ラジオ |

・コミュニティラジオBeFM「はちのへHOTLINE

3. アートファーマー

しばやまいぬ
くにゆぎの森3D 冬・絶景
(くにゆぎの森 魔法学校)

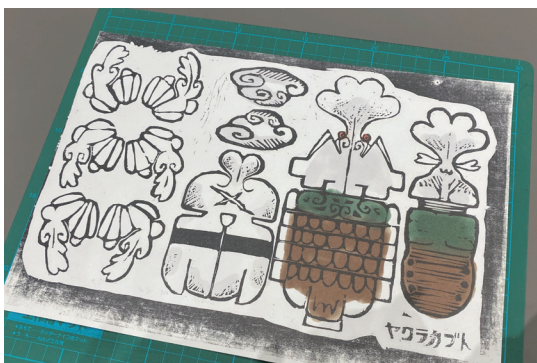
4. 開催の様子



活動日



活動日



虫の設計図



活動日



イベント風景



イベント風景



イベント風景



ペーパークラフトでつくられた虫

3. アートファーマー

しばやまいぬ
くにゆぎの森3D 冬・絶景
(くにゆぎの森 魔法学校)

5. 広報物

創作虫とイベント

くにゆぎの森 3D 冬・絶景



しばやまいぬ (絶景インスパイア) 2025 (部分)

2025.12.13 (土) ~ 2026.1.12 (月・祝)

場所 | 八戸市美術館スタジオ

休館日 | 水曜日、12月29日~1月1日
時間 | 10:00~19:00 (12/28、1/2~3は~17:00)
対象 | 子どもから大人まで
参加費 | 無料
主催 | 問い合わせ | 八戸市美術館 〒031-0031 八戸市大学通り10-4 TEL 0178-45-8338
(公財) むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施しています。

管理人 | しばやまいぬ (少女版画作家・イラストレーター)、アートファーマー
※お昼休みなどでない場合があります

八戸市美術館
HACHINOHE MUSEUM

ポスター

創作虫とイベント

くにゆぎの森 3D 冬・絶景



しばやまいぬ (絶景インスパイア) 2025 (部分)

2025.12.13 (土) ~ 2026.1.12 (月・祝)

場所 | 八戸市美術館スタジオ

休館日 | 水曜日、12月29日~1月1日
時間 | 10:00~19:00 (12/28、1/2~3は~17:00)
対象 | 子どもから大人まで
参加費 | 無料
主催 | 問い合わせ | 八戸市美術館 〒031-0031 八戸市大学通り10-4 TEL 0178-45-8338
(公財) むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施しています。

管理人 | しばやまいぬ (少女版画作家・イラストレーター)、アートファーマー
※お昼休みなどでない場合があります

八戸市美術館
HACHINOHE MUSEUM

くにゆぎの森3D 冬・絶景チラシ (表)

2024年夏の《くにゆぎの森3D》が、冬バージョンで出現！

くにゆぎの森ってなに？

くにゆぎの森は、魔法使い・しばやまいぬ (少女版画作家・イラストレーター) が描いた版画の世界から飛び出てきた魔法の森です。
森には、版画から生まれた不思議な虫が隠れています。
“くにゆぎ”としたカタチをしていて、みんなの想像力で成長するよ！
はじめて現れたのは2024年の夏。今年は冬の装いに変わって、ふたたび現れます！



2024年《くにゆぎの森3D》のようす

くにゆぎの森の楽しみかた

- ❖ 森に隠れた不思議な虫を探す“虫とり”をして遊ぶことができます。
- ❖ 自分で紙工作をすると連れ帰ることができる虫もいるよ。チャレンジしてみよう！
- ❖ 見つけた虫を、虫かごに入れたり、くにゆぎの木に置いたりして、ステキな写真を撮ってね！
- ❖ プロジェクト「くにゆぎの森魔法学校」で、アーティストと一緒に森を育てた“アートファーマー”も、森の管理人としてみんなをお迎えします！ 気軽にしゃべりながら、虫とりを楽しんでね！



アーティストはどんなひと？

しばやまいぬ (少女版画作家・イラストレーター)

八戸市に住んでいるアーティスト。木版画で夢と冒険の世界をつくらせています。大学時代にイラストレーターを目指してから、ありとあらゆる表現方法を模索。横方志功や、教育版画《虹の上をとぶ船》に感動して、独学で木版画の創作をはじめました。



しばやまいぬ

会期 | 2025年12月13日(土)~2026年1月12日(月・祝)
休館日 | 水曜日、12月29日~1月1日
時間 | 10:00~19:00 (12/28、1/2~3は~17:00)
場所 | 八戸市美術館スタジオ
管理人 | しばやまいぬ、アートファーマー
※お昼休みなどでない場合があります
対象 | 子どもから大人まで 参加費 | 無料



主催 | 問い合わせ | 八戸市美術館 〒031-0031 八戸市大学通り10-4 TEL 0178-45-8338
(公財) むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施しています。

八戸市美術館
HACHINOHE MUSEUM

くにゆぎの森3D 冬・絶景チラシ (裏)

3. アートファーマー

しばやまいぬ
くにゅぎの森3D 冬・絶景
(くにゅぎの森 魔法学校)

アートファーマープロジェクト

魔法のペーパークラフト体験！
アーティスト しばやまいぬ

くにゅぎの森 魔法学校
2025. 8.24 (日) 9.7 (日) 10.25 (土) 11.16 (日)



しばやまいぬ 《くにゅぎの森 冬・絶景 イメージ》2025

イベント

冬の虫とリをしよう！

くにゅぎの森3D 冬・絶景
2025. 12.13 (土) ~ 2026. 1.12 (月・祝)

八戸市美術館

くにゅぎの森 魔法学校チラシ (表)

アートファーマープロジェクト

「くにゅぎの森 魔法学校」

＜メンバー募集！＞
2025 年冬休み期間に開催する創作虫とりイベント「くにゅぎの森3D 冬・絶景」に向けて「研究員（アートファーマー）」を募集しています！

開催まで月1回のペースで集まって、くにゅぎの森を詳しく知り、魔法の紙を切ったり、組み立てたりしながら、アーティストと一緒に木版画の虫を制作・研究します。
また、イベント中は来場者と交流しながら、虫の保護活動（くにゅぎの森の森の管理人）をします。
このプロジェクトは、魔法の森を育てるために通う魔法学校です。
アーティストと一緒に、くにゅぎの森の生態系をつくってみませんか？

＜「くにゅぎの森」とは？＞
《くにゅぎの森3D》は、2024 年の 4 月～9 月に、ジャイアントルームに初めて出現しました。
絵を描く魔法使い・しばやまいぬ（少女版画作家・イラストレーター）の創作世界から飛び出て 3D となった、人の想像力を糧に成長する魔法の森です。
ここには、木版画によって生まれた不思議な虫たちが住み着き、「虫とり」を楽しむことができます。
多くの人の想像力をくすぐったくにゅぎの森が、今年は冬の表情になって「くにゅぎの森3D 冬・絶景」として戻ってきます！

活動日 | 9 月 7 日 (日)、10 月 25 日 (土)、11 月 16 日 (日) 10:15 ~ 12:30
場 所 | スタジオ
アーティスト | しばやまいぬ (少女版画作家・イラストレーター)
参加方法 | 無料・事前申込優先 (美術館 WEB または電話 0178-45-8338)
対象目安 | 小学 5 年生以上～大人
スケジュール | 10:15～10:30 プロジェクト内容や虫の解説
10:30～12:30 虫の研究 (紙工作)

イベント

「くにゅぎの森3D 冬・絶景」
会期 | 2025 年 12 月 13 日 (土) ~ 2026 年 1 月 12 日 (月祝)
場所 | スタジオ
※詳細が決まり次第お知らせします！

アーティストプロフィール

しばやまいぬ (少女版画作家・イラストレーター)
八戸市出身。在住。幻想的な世界観で、女子高生を主題とした木版画を制作。横方志功や坂本小九郎監修の教育版画「虹の上をとびか」に感動し、絵で木版画の制作を開始。10 年以上活動している。2025 年からは移動式アトリエでの展示活動と木版画系 Youtube を始動。

(公財)むつ小川原地蔵・産業振興財団の支援を受けて実施しています。
主催・問い合わせ | 八戸市美術館 〒031-0031 八戸市大字町 10-4 TEL 0178-45-8338
八戸市美術館  八戸市美術館 

くにゅぎの森 魔法学校チラシ (裏)

3. アートファーマー

館長クロストーク&アート
ファーマーミーティング

館長クロストーク&アートファーマーミーティング

1. 事業内容

青森県立美術館館長で劇作家・演出家の平田オリザをゲストに迎え、当館館長佐藤とのクロストークと、1年間のアートファーマーの活動を振り返るアートファーマーミーティングを同日開催。

クロストークでは、人口が減少する地方都市の芸術文化政策のあり方や青森県内の美術館の観光分野における意義などについて意見を交わした。アートファーマーミーティングでは、アーティストのしばやまいぬ、広報部のアートファーマーで活動する「やま」、「にっしー」が登壇し、各プロジェクトの実施時のエピソードなどを紹介した。

2. 開催概要

開催日 | 2026年2月28日(土) 13:00~15:30

登壇者 | 平田オリザ(青森県立美術館館長、演出家・劇作家)、しばやまいぬ(少女板画家・イラスト

レーター)、にっしー(アートファーマー)、やま(アートファーマー)、佐藤慎也、大澤苑美、平井真里

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

参加者数 | 50人

チラシ | A4、片面

デザイン: 類家舜

担当学芸員 | 大澤苑美

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デリー東北「今後の美術館のあり方は／八戸市美術館で平田オリザさんらトーク」2026年3月10日

4. 開催の様子



会場風景



会場風景

3. アートファーマー

館長クロストーク&アート
ファーマーミーティング

5. 広報物

ゲスト：平田オリザ
（青森県立美術館館長、劇作家・演出家）

館長クロストーク+
アートファーマー
ミーティング

2026.2.28（土）
13:00-15:30 無料

第1部 13:00~14:30

平田オリザ（青森県立美術館館長、劇作家・演出家）
佐藤慎也（八戸市美術館館長、建築家）
2025年度より青森県立美術館館長に就任した平田オリザ氏を
ゲストに迎え、最近の美術館や文化政策の動向を語ります。

第2部 14:40~15:30

しばやまいぬ（美少女板画家、イラストレーター）
にっしー、やま（美術館広報アートファーマー）
アーティスト、美術館広報アートファーマーと、この1年の
活動を振り返ります。

アートファーマーとは？

八戸市美術館では、美術館の活動に主役役にかかわる市民の皆さん
を、アートでコミュニティを結ぶ「アートファーマー」と呼び、アートプ
ロジェクトの運営やアーティストサポート、建築がイデや情報発信など、
ともに様々な活動を行っています。

お問い合わせ

八戸市
美術館
hachinohe
art museum

主催 八戸市美術館
住所 〒031-0031 青森県八戸市大字東町10-4
電話 0178-45-8338 HP <https://hachinohe-art-museum.jp>
開館時間 10:00~19:00 休館日 火曜日
※一部観覧料がかかりますが、おまかせの方は観覧の無料観覧券をご利用ください。（観覧・観覧料観覧券は2枚あり）

定員 60名程度

申込 不要（※日本郵政）

会場 八戸市美術館 スタジオ

DIRECTOR
CROSSTALK

ART FARMER
MEETING

QRコード

チラシ

83

4. 学校連携

学校連携事業

1. 事業内容

八戸市美術館では、アートを通した学びを重視し、小学校・中学校・高等学校などの教育機関との連携強化を計画に掲げている。令和2年度に設置された「学校連携プロジェクトチーム」は、小中高の教員と美術館学芸員、専門家で構成され、児童生徒一人ひとりの価値観や美意識を育み、アートを通して自立する機会の創出を目指している。これまでの活動では、メンバーが互いにアイデアを出し合いながら、授業やプロジェクトの企画・実践を進めてきた。その過程で、校種を越えた協働や交流も生まれている。こうした実践を通して、学校と美術館がそれぞれの専門性や視点を共有し合い、協働しながら相互に学びを深めている。また、学校内での鑑賞に関する研修の実施や、学校の見学受け入れなどにも取り組んでいる。

2. 開催概要

実施期間 | 通年

担当 | 田村由衣、類家舜、篠原英里

3. 実施プログラム

・学校連携プロジェクトチーム

①全体会議

開催日 | 2025年6月19日(木)

チームメンバー | 小学校：9人、中学校：5人、高等学校：3人、専門家：三澤一実、学芸員：2人、学校・地域連携コーディネーター：1人

内容 | プロジェクトチームのメンバーによる全体会議を開催し、今後の活動について話し合った。

②「コレクションラボ011 きっと、そこには」学校連携企画「ドキッと、そこには美術館」

活動日 | 2025年8月5日(火)、7日(木)、26日(火)

見学日 | 2025年11月7日(金)、10日(月)、19日(水)、27日(木)、28日(金)、12月1日(月)、8日(月)

会場 | 学校連携ラボ、コレクションラボ

参加料 | 無料

チームメンバー参加者 | 蛭田健(八戸市立図南小学校校長)、石塚里佳(八戸市立明治小学校教諭)、蛭田美奈子(八戸市立白銀中学校教諭)

参加者数 | 八戸市立図南小学校98人、八戸市立明治小学校83人、八戸市立白銀中学校10人

内容 | 「コレクションラボ011 きっと、そこには」の学校連携企画として、「学校連携プロジェクトチーム」に所属する教員と協働して、児童・生徒向けの作品鑑賞ワークシートを作成。あわせて、教員の所属校の児童・生徒をバスで美術館に招待し、ワークシートを活用してコレクションラボを観覧するほか、同時開催の「古代エジプト美術館展」を観覧した。

③美術館新聞部プロジェクト

開催日 | 2021年3月22日(月)から継続して活動

参加校名 | 八戸市立大久喜小学校、青森県立八戸工業高等学校

参加者数 | 11人

内容 | 小中学生と高校生が、新聞をつくるプロジェクト。展覧会や八戸市中心街周辺取材し、イラストカットづくりを行い、2026年3月末に第5号を刊行した。

④「はみ出す力展vol.7～図工・美術の授業展2025～」開催

会期 | 2026年1月21日(水)～25日(日)

会場 | ギャラリー1・2

内容 | 「はみ出す力」をテーマに、各地の幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校や大学などで行われた造形美術の授業実践を紹介する展覧会を八戸で開催した(これまで埼玉県で開催)。学校連携プロジェクトメンバーが出展し、設営撤収作業を行った。また、教育関係者向けの「ほろ酔い鑑賞ほろハチ」を開催した。

⑤素材研究ラボ

開催日 | 2026年3月7日(土)、15日(日)、16日(月)、30日(月)

参加者数 | 11人

内容 | 美術館のワークショップや出張授業、学校の授業づくりにつなげることを目的として、学校連携ラボを活用し、八戸や青森ゆかりの素材を用い

4. 学校連携

学校連携事業

た色づくりの実験を行った。あわせて、今後の学校連携プロジェクトで実施したい内容についても意見交換を行った。

・学校連携

①朝鑑賞研修

開催日 | ①2025年11月12日（水）②2026年3月18日（水）

場所 | 八戸市立鮫中学校、八戸市立島守中学校

参加者数 | ①10人②8人

内容 | 学校での朝鑑賞推進のため、希望する学校に教員向けの対話鑑賞のファシリテーション研修を行った。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「エジプト展じっくり鑑賞／明治小5、6年 市美術館訪問」2025年11月22日

4. 学校連携

学校連携事業

4. 学校受入実績

番号	来館日	学校名	学年	児童・生徒数
1	2025年5月15日（木）	八戸市立鯨中学校		24人
2	2025年5月30日（金）	青森県立八戸工業高等学校		15人
3	2025年6月13日（金）	八戸市立小中野小学校	3学年	53人
4	2025年6月13日（金）	青森県立八戸第一養護学校	中学生	12人
5	2025年6月20日（金）	八戸工業高等専門学校		12人
6	2025年6月30日（月）	八戸市立白銀南中学校	2学年	87人
7	2025年7月3日（木）	五戸町立切谷内小学校	1・2学年	10人
8	2025年7月3日（木）	岩手県立南昌みらい高等学校	1・2・3学年	92人
9	2025年7月4日（金）	八戸市立高館小学校	6学年	21人
10	2025年7月9日（水）	八戸市立南郷小学校	3学年	14人
11	2025年7月14日（月）	おいらせ町立百石小学校	6学年	3人
12	2025年7月16日（水）	おいらせ町立下田小学校	6学年	14人
13	2025年7月30日（水）	八戸あおば高等学院		18人
14	2025年8月28日（木）	階上町立赤保内小学校 階上町立階上小学校（2校合同）	4学年	44人
15	2025年8月29日（金）	青森県立八戸聾学校	3学年	9人
16	2025年9月13日（土）	八戸市立是川中学校		6人
17	2025年10月17日（金）	八戸市立豊崎小学校	1・2・3学年	10人
18	2025年10月27日（月）	階上町立道仏小学校	5学年	19人
19	2025年10月30日（木）	八戸市立白銀南小学校	5学年	56人
20	2025年10月30日（木）	五戸町立上市川小学校	5・6学年	27人
21	2025年11月5日（水）	八戸市立下長小学校		3人
22	2025年11月6日（木）	八戸市立東中学校		46人
23	2025年11月7日（金）	八戸市立函南小学校		31人
24	2025年11月7日（金）	八戸市立城下小学校	5学年	13人
25	2025年11月7日（金）	青森県立八戸水産高等学校		1人
26	2025年11月8日（土）	八戸工業大学第二高等学校	2学年	20人
27	2025年11月10日（月）	青森県立八戸第二養護学校	中学生	5人
28	2025年11月10日（月）	八戸市立函南小学校		31人
29	2025年11月19日（水）	八戸市立明治小学校		35人
30	2025年11月21日（金）	八戸市立小中野小学校	5学年	53人
31	2025年11月21日（金）	八戸市立桔梗野小学校	5学年	6人
32	2025年11月27日（木）	八戸市立明治小学校		29人
33	2025年11月28日（金）	八戸市立第一中学校	1学年	48人
34	2025年11月28日（金）	八戸市立白銀中学校		10人
35	2025年12月1日（月）	八戸市立明治小学校		19人
36	2025年12月1日（月）	青森県立八戸第二養護学校	中学生	6人
37	2025年12月8日（月）	八戸市立函南小学校		36人
38	2025年12月17日（水）	青森県立百石高等学校		38人

4. 学校連携

学校連携事業

39	2026年2月12日（木）	八戸市立江南小学校	5学年	10人
40	2026年2月16日（月）	青森県立八戸高等支援学校		90人
41	2026年2月25日（水）	八戸市立鯨小学校	4学年	42人

受入合計

41校（1,118人）

種別／校数・人数

小学校	23校（579人）
中学校	6校（221人）
その他（高等学校含む）	12校（318人）

4. 学校連携

学校連携事業

5. 開催の様子



全体会議



ドキッと、そこには美術館



ドキッと、そこには美術館



美術館新聞部プロジェクト



はみ出す力展vol.7～図工・美術の授業展2025～



素材研究ラボ



素材研究ラボ



朝鑑賞研修

学校連携事業

美術館新聞部制作「とれたて!すまーと!」(表)

【発行】八戸市美術館 R7年度学校連携プロジェクト 美術館新聞部 【問合せ】八戸市美術館 八戸市大字番町10-4 TEL 0178-45-8338

美術館新聞部制作「とれたて!すまーと!!」(裏)

大学・高専連携事業

1. 事業内容

美術館の特徴である「アートの学び」の具現化に向けて、美術館の事業の柱の1つである大学との連携により大学ならではの資産を活用したアートを通じた人材育成に関する事業を行っている。
八戸市美術館がジャイアントルームや八戸学院まちなかラボを始めとする様々な活動スペースの活用や、大学活動拠点と連携した事業の方向性を探り、人材育成や地域の活性化、アクセシビリティの向上に繋げる事業を展開した。

2. 開催概要

期間 | 2025年4月～2026年3月

委託先 | 八戸学院地域連携研究センター

担当 | 番沢裕子

3. 実施プログラム

・高等教育機関のアートセミナー事業

内容 | 誰もが気軽に訪れることができる美術館を考えることを目的に、美術とは異なる分野の教員を講師とするイベントを開催した。八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部・八戸工業大学・八戸高専の教員が講師となり、美術とは異なる分野の視点からイベントを開催した。

①ブリリアント・ミネラル

開催日 | 2025年9月7日(日) 10:30～12:30

会場 | スタジオ

講師 | 土屋範芳(八戸工業高等専門学校校長)

参加者数 | 19人

②流れの不思議と美の世界

開催日 | 2025年11月3日(日) 10:30～12:30

会場 | スタジオ

講師 | 船崎健一(八戸工業大学学長)

参加者数 | 14人

③光を通して模様を感じる ～ステンドグラス風アート体験～

開催日 | 2026年1月25日(日) 10:30～12:00

会場 | ジャイアントルーム

講師 | 渡邊雄介(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科学科講師)

参加者数 | 42人(参加者数21人、同行者21人)

④親子でつくろ!新幹線

開催日 | 2026年2月1日(日) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00

会場 | スタジオ

講師 | 福田弥夫(八戸学院地域連携研究センターセンター長)

参加者数 | ①51人②31人

・アートマネジメント事業

内容 | 芸術・文化活動と社会をつなぐために業務、もしくは方法論やシステムについて学ぶ講座を開催し、学生と社会人が一緒に交流し、様々な課題や研究テーマについてディスカッションする場を設け、学生や社会人が美術館での学びを考える講座を開催した。外部講師を招聘し、学生と一般参加の社会人が一緒にワークショップやディスカッションなどを行った。

①第1回「小さい庭を造ってみよう」(レクチャー・ブランターに寄せ植え)

開催日 | 2025年9月13日(土) 10:30～12:00

会場 | スタジオ、マエニワ

講師 | 橋本正(香月園社長)

参加者数 | 14人

②第2回「小さい庭を造ってみよう(レクチャー・フラワーポットに寄せ植え)」

開催日 | 2025年9月14日(日) 10:30～12:00

会場 | スタジオ、マエニワ

講師 | 橋本正(香月園社長)

参加者数 | 18人

③第3回「曾孫が語る前原寅吉(テレビドラマとなった前原寅吉の紹介)」

開催日 | 2025年10月4日(土) 10:30～12:00

会場 | スタジオ

講師 | 前原俊彦(MAEBARA社長)

参加者数 | 25人

④第4回「曾孫が語る前原寅吉(前原寅吉のその生涯 八戸今昔写真の紹介)」

開催日 | 2025年10月5日(日) 10:30～12:00

会場 | スタジオ

講師 | 前原俊彦(MAEBARA社長)

4. 学校連携

大学・高専連携事業

参加者数 | 27人

・アート×幼児教育

内容 | 子育て世代が美術館に気軽に来館できる機会と、学生の実践的な学びの機会を創出するため、八戸学院まちなかラボを活用した取組を行った。

①託児スペース

開催日 | ①2025年6月29日(日)②7月6日(日)
③8月17日(日)④9月7日(日)⑤10月5日(日)⑥
2026年1月25日(日) 各日10:00～16:00

会場 | 八戸学院まちなかラボ

指導教員 | 加藤康子(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教授)

利用者数 | ①3人②4人③5人④3人⑤5人⑥11人)

利用料 | 無料

内容 | 美術館の展覧会の会期中、「八戸学院まちなかラボ」に、保育士を目指している学生が運営する託児スペースを開設した。

②廃材で作ってあそぼう!

開催日 | ①2025年11月1日(土)②12月6日(土) 各
日10:15～12:00、13:15～15:00

会場 | ジャイアントルーム、スタジオ

指導教員 | 差波直樹(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教授)

参加者数 | ①約30人②約30人

内容 | 小さな子どもとその家族で交流し、遊びからアートの創造に繋がるきっかけになる、「1パーク(わんぱーく)」を開催した。

③ベビーファーストデー

開催日 | ①2025年11月10日(月)②2026年3月2
日(月) 各日13:00～16:00

会場 | ジャイアントルーム(キッズスペース)、八戸学院まちなかラボ

指導教員 | 加藤康子(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教授)

参加者数 | ①4人②2人

内容 | 展覧会開催期間中に、小さな子どもとその家族が気兼ねなく鑑賞できる「ベビーファーストデー」を設けた。

ワークショップ／子どもたちがステンドグラス風アートに挑戦」2026年1月24日(<https://www.daily-tohoku.news/archives/409640>)

4. 主なメディア掲載

WEB |

・デリーー東北デジタル「八学短大が子ども向け

4. 学校連携

大学・高専連携事業

5. 開催の様子



ブリリアント・ミネラル



流れの不思議と美の世界



光を通して模様を感じる ～ステンドグラス風アート体験～



親子でつくろ!新幹線



小さい庭を造ってみよう



廃材で作ってあそぼう!

4. 学校連携

大学・高専連携事業

5. 広報物

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

石の不思議をのぞいてみよう！
ロック・ミネラル・光の不思議・アート...

フリリアント・ミネラル

2025年9月7日（日）
10:30～12:30

会場 八戸市美術館 スタジオ

参加費 無料

定員10名（中学生以上）
参加予約が必須です
当日受付あり（定員あり）

QRコードからも申し込みます！

講師 八戸工業高等専門学校 校長 土屋 範秀
専門：資源工学・地球工学

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

フリリアント・ミネラルチラシ

流れの不思議と美の世界

流れの不思議と美の世界の関係を、流体力学という学問を使って説明するとともに、実際に実験を体験して、流れが織り出す形やパターンを作り出し、スマホで撮影して鑑賞します。

参加費 無料

11月8日 月曜日
10:30～12:30

講師 八戸工業大学 学長 船崎健一氏

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

流れの不思議と美の世界チラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

光を通して模様を感じる

～ステンドグラス風アート体験～

2026年1月25日（日）
10:30～12:00

参加費 無料

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

光を通して模様を感じるチラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

参加費無料

親子でつくろ！
新幹線

新幹線に好きな色を塗り、ハサミやカッターを使って切り抜きテープやノリで組み立てれば、あなただけの新幹線の出来上がり！

当日はNゲージ運転会も開催いたします

事前申し込み制

定員：20組

対象：親子（お子様は3歳頃から）
※お預けを連れてのご参加も可
場所：八戸市美術館 スタジオ

2/1日

10時30分
12時00分

お問い合わせ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

親子でつくろ！新幹線チラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

小さい庭を造ってみよう

寄せ植えを体験してみませんか？

お庭の専門家から、設計や家庭菜園の基礎を教えてもらいましょう。寄せ植え体験も実施します。

9月13日±14日 日
10:30～12:00

八戸市美術館 1階「スタジオ」

定員：20名（先着順）
講師：香月園 橋本 正 氏

<イベント内容（全2回）>

13日 庭造りについて学ぶ
プランターに寄せ植え

14日 フラワーボットに
小さな庭を造る

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

小さい庭を造ってみようチラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

曾孫 前原寅吉が語る

マエハラ 創業者

野の天文学者

10月4日

野の天文学者の紹介

その生涯
八戸市史を語る

開催時間
10:30-12:00

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

曾孫が語る前原寅吉チラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

八戸市美術館 当日受付無料

八戸学院大学短期大学部
幼児保育学科

託児ルーム

子育て世代の方々に美術館をお気軽にご利用いただけるように八戸学院大学短期大学部の教員と保育士を目標としている学生による無料託児室を開設します

6月29日（日） 7月6日（日）
8月17日（日） 9月7日（日）
10月5日（日） R8 1月25日（日）

八戸市美術館 2階「まちなかラボ」
10:00～16:00

美術鑑賞者のためのサービスです
各日、おむつや飲み物をお持ちください
受付人数に限りがございますので、ご利用できない場合もあります

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

託児ルームチラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

主催 1 Park

参加 無料

廃材で作ってあそぼう！

ダンボール、お菓子の空き箱、食品トレイなどの廃材を使って自由に作って遊びましょう！

開催日 11/1±12/6 土
①10:15 ②13:15

当日受付

対象 どなたでもご参加ください

場所 八戸市美術館 1F
ジャイアントルーム

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

廃材で作ってあそぼう！チラシ

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

ベビーファーストデー

八戸学院大学短期大学部
八戸市美術館

小さなお子さま向けの皆さまへ
保育士を目標としている幼児保育学科の学生と教員がサポートいたします

①展覧会鑑賞時のサポート
②キッズスペースでの託児サービス

11月10日（月） 3月2日（月）
エジプト展 GOMA展

※観覧の際は要鑑賞チケット
13:00～16:00
受付：キッズスペース

来場プレゼントあり
（数量限定）

お問い合わせ先
〒030-2844-9193
research@hachinohe-u.ac.jp

【八戸市委託】令和7年度大学資産を活用したアートの学び事業

ベビーファーストデーチラシ

5. イベント

賑わい創出事業

1. 事業内容

美術館にまだ来たことがない、美術館は敷居が高いと思っている市民向けに、美術分野にこだわらず一定の集客が見込める事業を実施し、美術館を身近なものに感じてもらうとともに、中心街活性化に寄与することを目的に、様々なイベントを開催した。

2. 実施プログラム

・集めよう!映画への想い

会期 | 2025年4月29日(火)～5月31日(土)

開催日数 | 29日間

会場 | ギャラリー1

観覧料 | 無料

内容 | 八戸クリニック街かどミュージアムが所蔵する平成期の映画ポスターの展示、名画を上映した。

入館者数 | 6,040名

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム

共催 | 八戸市美術館

・「八戸の歴史と鳥瞰図」俯瞰の眼

会期 | 2025年4月29日(火)～5月31日(土)

開催日数 | 29日間

会場 | ギャラリー2

内容 | 八戸ゆかりの鳥瞰図絵師・吉田初三郎の鳥瞰図のレプリカ等を展示した。

入館者数 | 6,040名

主催 | 八戸歴史文化発信事業実行委員会

共催 | 八戸市美術館

・白マドの灯「街の灯プロジェクト」

開催日 | ①2025年5月2日(金)②5月16日(金)
③6月6日(金)④6月20日(金)⑤7月4日(金)⑥7月18日(金)
⑦8月15日(金)⑧9月5日(金)⑨9月19日(金)⑩10月3日(金)⑪10月17日(金)

会場 | マエニワ

観覧者数 | ①雨天中止②15人③50人④15人⑤雨天中止⑥30人⑦20人⑧10人⑨10人⑩10人⑪13人

内容 | 文化的な街の景観を演出することを目的に、八戸市美術館外壁に名作映画を投影した。

主催 | 八戸クリニック街かどミュージアム

共催 | 八戸市美術館

・八戸三社大祭賑わい広場

開催日 | 2025年7月31日(木)～8月4日(月) 各日10:00～21:00

場所 | マエニワ

内容 | キッチンカーや屋台の出店を行ったほか、開館時間の延長およびテラスの開放を実施

・ヨルニワ

内容 | 八戸市更上閣・八戸ポータルミュージアムはっち・八戸市美術館を会場に、キッチンカーや飲食屋台と音楽ライブを楽しむ屋外イベント。

①第1回

開催日 | 2025年6月7日(土) 18:00～20:00

会場 | マエニワ

出演者 | WILD WIND BIG BAND

参加者数 | 347人

参加料 | 無料

②第2回

開催日 | 2025年10月4日(土) 18:00～20:00

会場 | マエニワ

出演者 | THE 8 JAZZ BAND

参加者数 | 406人

参加料 | 無料

チラシ | A4、片面

デザイン | 八戸市文化創造推進課

・音楽のタベ ※はちのへホコテン連携

開催日 | 2025年8月30日(土) 18:00～20:00

会場 | マエニワ

出演者 | デビッド・マシューズ&八戸ジャズ楽団

参加者数 | 701人

参加料 | 無料

・八戸えんぶり in 美術館

開催日 | 2026年2月18日(火) 13:30-14:00

場所 | ジャイアントルーム

出演者 | 塩町えんぶり組

5. イベント

賑わい創出事業

参加料 | 無料

・あそぼ!ep4 ～マーティーの創作パズル・ゲームワールド～

会期 | 2026年3月19日(木)～30日(月)

会場 | ギャラリー1・2

観覧料 | 無料

入場者数 | 約1,400人

内容 | 八戸在住のゲームクリエイター、マーティー松橋の企画による創作パズルやアナログゲーム、まちがい探しの映像クイズなど。

・キッチンカー出店

開催日 | 平日中心に不定期

内容 | 美術館前広場にキッチンカーが出店。

5. イベント

賑わい創出事業

3. 開催の様子



集めよう!映画への想い



「八戸の歴史と鳥瞰図」俯瞰の目



白マドの灯「街の灯プロジェクト」



八戸三社大祭賑わい広場



ヨルニワ



音楽のタベ



八戸えんぶり in 美術館



あそらぼ!ep4

賑わい創出事業

114

ヨルニワ (6月) チラシ

ヨルニワ (10月) チラシ

音楽のタベチラシ

あそらぼ!ep4チラシ

5. イベント

南郷アートプロジェクト
映画上映会

南郷アートプロジェクト映画上映会

1. 事業内容

八戸市と旧南郷村が2005年3月31日に合併してから20年となったことを記念し、八戸市と南郷文化ホールが主催し、2011～20年に実施していた「南郷アートプロジェクト」で制作した映画の上映会を行った。上映作品は、旧南郷村の中沢地区に当時あった小学校3校（鳩田、中野、市野沢）をそれぞれ舞台にして制作した3作品と、島守地区の風習や芸能を通して四季を描いた1作品。全4作品の監督・撮影・編集をつとめた飯名尚人も来八し、上映前の挨拶・振り返りのトークを行ったほか、映画の解説を展示した。

2. 開催概要

開催日 | 2026年2月23日（月・祝）10:00～19:00

会場 | スタジオ、ギャラリー1・2

観覧料 | 無料

入場者数 | 102人

ゲスト | 飯名尚人（映像作家・演出家）

上映作品 | 「鳩祭 —138年に1度鳥が舞い降りる村の話」（2013年）、「あなたとわたし、ワルツ」（2014年）、「HOME SONG」（2015年）、「しまもりさいじき」（2019年）

担当 | 大澤苑美

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デリー東北「合併20周年記念し南郷舞台の映画4作上映、23日／八戸市美術館」2026年2月14日

4. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景

6. その他事業

5館連携プロジェクト AOMORI GOKAN

1. 事業内容

青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、十和田市現代美術館、八戸市美術館の5つの美術施設による連携の取組を推進するための組織として、2020年7月に「青森アートミュージアム5館連携協議会」(事務局：青森県立美術館)が設立された。県民および観光客の県内周遊を促進し、美術館への入館者数の増加につなげるため、5館連携の基盤を活用して、青森のアートの魅力を国内外への情報発信および周遊促進に係る事業を行っている。

2. 実施内容

・5館共通ウェブサイトを活用した館の基本情報、
展覧会スケジュールの情報発信

URL | <https://aomorigokan.com>

・連携促進に係る協議・検討

(1) GOKANファイルブックの増刷

(2) 継続的な施策の検討

3. 主なメディア掲載

雑誌 |

・青函“考”路 2025年号「アートを起点に青森
魅力を再発見 AOMORI GOKANアートフェス
開催」2025年5月15日

・ココミル十和田 奥入瀬 弘前 青森「5館紹介」
2025年10月

・るるぶ青森 奥入瀬 弘前 八戸'27「5大美術館」2025年12月8日

・るるぶ東北'27「5館紹介」2026年3月5日

はちとまネットワーク

1. 事業内容

フェリー航路で繋がる工業都市である青森県八戸市と北海道苫小牧市は、平成30年より、交流連携協定を締結し、様々な分野で交流を行っている。文化分野において、八戸市美術館は、苫小牧市美術博物館と連携。令和7年度はネットワーク会議が苫小牧市で開催された。連携事業としては、お互いのまちに住むアーティストを招聘しあってワークショップを実施することとし、令和7年度は、八戸圏域である南部町出身・在住の画家・庭田薫が苫小牧市美術博物館を訪れ、ワークショップを実施した。また、苫小牧市美術博物館と当館で、両市に関係のある青森市出身の画家・渡辺貞一の展覧会を開催し、共同調査として、渡辺が通っていた苫小牧市の第一洋食店の三代目店主・山下明へのインタビューを実施した。

2. 実施内容

・はちとまネットワーク会議

開催日 | 2025年10月7日(火)、8日(水)

会場 | ウイングインターナショナル苫小牧第一ホール

内容 | 実施事業の報告、情報交換、次年度の事業に向けた打合せ。

・連携事業

①庭田薫「光のイメージを描こう」ワークショップ

開催日 | 2025年10月4日(土) 14:00～16:00

会場 | 苫小牧市美術博物館

講師 | 庭田薫

対象 | 小学生以上、小学生3年生以下は保護者同伴

参加料 | 500円(材料費)

参加者数 | 14人

内容 | クレヨンやアクリル絵具を使って、絵の表面に凸凹をつけるなどして、思い思いの「光」を描く子ども向けワークショップ。

②庭田薫「コラージュパネルを作ろう」ワークショップ

開催日 | 2025年10月5日(日) 10:00～12:00

会場 | 苫小牧市美術博物館

講師 | 庭田薫

対象 | 高校生以上

参加料 | 500円(材料費)

参加者数 | 10人

内容 | 金色のアクリル絵具と木工用ニスを使用した本格的な下地をパネルに施し、コラージュ作品をつくる大人向けのワークショップ。

③渡辺貞一関係者インタビュー撮影

日時 | 2025年10月6日(月) 14:00～17:00

出演 | 山下明(第一洋食店三代目店主)

映像 | 神智

内容 | 苫小牧市と八戸市に関連のある作家・渡辺貞一が通っていた第一洋食店(苫小牧市)の三代目店主・山下明にインタビューを行い、その様子を映像資料として撮影し、両館で公開した。

3. 開催の様子



庭田薫「光のイメージを描こう」ワークショップ



庭田薫「コラージュパネルを作ろう」ワークショップ

HACHINOHE ZINE CLUB

1. 事業内容

八戸ブックセンターと協働し、ZINE（ジン、自分でつくる雑誌）を制作する活動である「HACHINOHEZINE CLUB（ハチノヘジンクラブ）」を実施。メンバーが自分のつくりたいZINEについて語ったり、ZINEづくりに関する情報を交換しあうミーティングや、ブックセンターが開催する「八戸ブックフェス」への出店などを行った。

2. 開催概要

活動期間 | 2025年4月～2026年3月

活動人数 | 約20人

主催 | 八戸ブックセンター、八戸市美術館

担当 | 太田博子（八戸ブックセンター）、高橋麻衣

3. 活動内容

①ワークデー

開催日 | 2025年4月26日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

②台割を作ろう

開催日 | 2025年5月24日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

③プロトタイプを作ろう

開催日 | 2025年6月21日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

④デザイン相談室

開催日 | 2025年7月26日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

講師 | 佐々木遊（アソビス代表、アートディレクター）

⑤ミーティング

開催日 | 2025年8月30日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

⑥ブックフェスミーティング

開催日 | 2025年9月13日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

⑦ブックフェス関連イベント「リソグラフで本づくり」

開催日 | 2025年9月27日（土）10:00～12:00、

14:00～16:00

会場 | アトリエ

講師 | 中岡祐介（三輪舎代表、本屋・生活綴方主宰）

⑧本のまち八戸ブックフェス2025

開催日 | 2025年9月28日（日）10:30～15:30

会場 | マチニワ

⑨ミーティング

開催日 | 2026年1月24日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

⑩ミーティング

開催日 | 2026年2月21日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

⑪ミーティング

開催日 | 2026年3月14日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

6. その他事業

HACHINOHE ZINE
CLUB

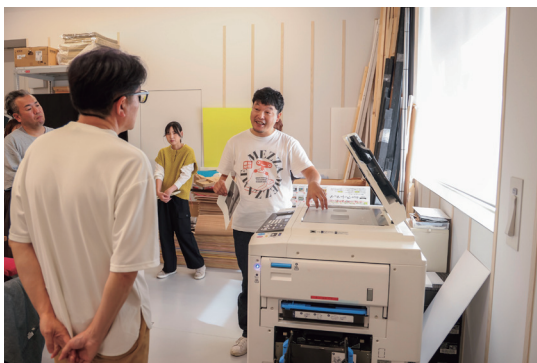
4. 開催の様子



活動日



活動日



リングラフで本づくり



本のまち八戸ブックフェス2025

6. その他事業

共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業(共創パートナー事業)

共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業(共創パートナー事業)

紹介や共創企画に関する意見交換を行った。

1. 事業内容

「アートのまちづくり」の具現化に向けて、文化的視点で街の良さや楽しみ方を市民に再認識してもらうことで市街地活性化につなげることを目的として、歴史・文化・芸術などの活動団体・個人を市が「共創パートナー」として登録し、文化的な財産・スポットとして広く発信する。(八戸歴史文化発信事業実行委員会との協働事業)

2. 実施概要

・LINE公式アカウント「ヨッテミッテ」

運用開始日 | 2024年7月5日

友だち登録数 | 1,159人(2026年3月31日現在)

内容 | 共創パートナーなどから情報収集を行い、歴史・文化・芸術関連のイベント情報を発信した。(毎週金曜日)八戸歴史文化発信事業実行委員会が運営するウェブサイト「はちのへヒストリア」の、共創パートナーなど紹介ページやイベントカレンダーと、「ヨッテミッテ」の配信情報を連動させ、一体的な情報発信に努めた。

・街なかアートマップ

マップ | B3、両面

発行 | 2026年3月

発行部数 | 10,000部

設置・配付先 | 八戸市美術館、各パートナー施設・店舗など

内容 | 中心街および周辺地区で、アート(文化)に関わるギャラリーの併設や展示、積極的な文化活動などを行っている店舗、施設のうち、美術館活動を一緒に行うパートナーを紹介するマップを作成した。また、各施設の紹介ページへアクセスできるQRコードを掲載したA0判の大型マップ(1部)を更新し、ジャイアントルームに掲示した。

・パートナー・ミーティングの開催

開催日 | 2026年3月23日(月)

開催場所 | ワークショップルーム

参加者数 | 23人(民間17人、行政6人)

概要 | 共創パートナー同士が交流し、取組事例の

6. その他事業

共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業 (共創パートナー事業)

4. 制作物



街なかアートマップ (表)



街なかアートマップ (裏)

6. その他事業

共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業(共創パートナー事業)

5. 開催の様子



「西野こよ 表現への挑戦」(図書館)



「浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化」(カネイリ番町店)



「古代エジプト美術館展」(八戸ブックセンター)



「GOMA展 WONDER」(はっちミュージアムショップ)

6. その他事業

マチナカまるっと一日体験、職場体験

マチナカまるっと一日体験、職場体験

1. 事業内容

「マチナカまるっと一日体験」や学校からの職場体験を積極的に受け入れ、中学生・高校生を対象に、美術館業務の実務を体験する機会を提供した。体験を通じて、美術館の仕事への理解を深めるとともに、将来の人材育成につながる学びの場を創出した。

2. 実施概要

・マチナカまるっと一日体験

①スタッフ体験

期間 | 2025年8月7日（木）

会場 | 八戸市美術館

参加者数 | 15人（中学生3人、高校生12人）

②1日館長体験

期間 | 2025年8月20日（水）

会場 | 八戸市美術館

参加者数 | 3人（高校生3人）

・職場体験

①八戸市立三条中学校

期間 | 2025年7月16日（水）

参加者数 | 3人

②むつ市立田名部中学校

期間 | 2025年9月17日（水）～19日（金）

参加者数 | 1人

3. 開催の様子



マチナカまるっと一日体験 ①スタッフ体験



マチナカまるっと一日体験 ②1日館長体験



職場体験

博物館実習

1. 事業内容

学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

2. 実施概要

期間 | 2025年8月18日（月）～22日（金）

実施場所 | 八戸市美術館

受講者数 | 8人

7. 貸館

貸館

1. 特別貸館

2件

貸出期間 | 2026年1月23日（金）～25日（日）
事業名 | 第40回八戸工業大学第二高等学校
美術コース作品展
主催 | 八戸工業大学第二高等学校
会場 | ホワイトキューブ、ジャイアントルーム展示エ
リアIII

貸出期間 | 2026年2月6日（木）～13日（木）
事業名 | スヌーズレンルーム
主催 | 八戸市障がい福祉課
会場 | ブラックキューブ

2. 貸館説明会

第1回

開催日 | 2025年8月17日（日）
会場 | ワークショップブルー

第2回

開催日 | 2026年3月29日（日）
会場 | ワークショップブルー

3. 一般貸館

123件

貸出期間 | 2025年4月11日（金）
事業名 | 腸活ミーティング
主催 | 境澤智子
会場 | 会議室2

貸出期間 | 2025年4月10日（木）～13日（日）
事業名 | 第34回八戸地区連合書道展
主催 | 大日本書芸院八戸地区連合
会場 | ギャラリー1・2、会議室1

貸出期間 | 2025年4月12日（土）
事業名 | フォーチュンシアター 朗読ワークショッ
プ
主催 | フォーチュンシアター八戸
会場 | ワークショップブルー

貸出期間 | 2025年4月16日（水）
事業名 | AIC通常総会
主催 | 青森インテリアコーディネーター協会
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年4月20日（日）
事業名 | 親子コンサート
主催 | 黒かもめアンサンブル
会場 | スタジオ、会議室1

貸出期間 | 2025年4月24日（木）
事業名 | 腸活ミーティング
主催 | 境澤智子
会場 | 会議室2

貸出期間 | 2025年4月28日（月）
事業名 | パステル画教室
主催 | スクール実minority合同会社
会場 | ワークショップブルー

貸出期間 | 2025年5月10日（土）
事業名 | 令和7年度八戸市中学校第1回文化芸術
合同部活動
主催 | 八戸市学校教育課
会場 | ワークショップブルー

貸出期間 | 2025年5月14日（水）～17日（土）
事業名 | 新田勇 作品展
主催 | 大島雅子
会場 | スタジオ、会議室2

貸出期間 | 2025年5月23日（金）
事業名 | 腸活ミーティング
主催 | 境澤智子
会場 | 会議室2

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2025年5月29日(木)～6月2日(月)

事業名 | さきおり作品展

主催 | 佐舘和香子

会場 | ジャイアントルーム展示エリアII

貸出期間 | 2025年5月30日(金)

事業名 | 三遊亭楽八独演会～楽八落語大祭・式～

主催 | 池田砂妃

会場 | スタジオ、会議室2

貸出期間 | 2025年6月1日(日)～6日(金)

事業名 | 重文字幸悦 作陶展

主催 | 重文字幸悦

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年6月4日(水)～8日(日)

事業名 | 佐藤義弘写真展「北東北・茅葺民家の四季」

主催 | 佐藤義弘

会場 | ギャラリー1・2、会議室2

貸出期間 | 2025年6月7日(土)

事業名 | 八戸市中学校第2回文化芸術合同部活動

主催 | 八戸市学校教育課

会場 | スタジオ、ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年6月8日(日)

事業名 | パワープッシュ作品 八戸出身フリーアナウンサー田中知子さん『本音を引き出す聞き方』出版記念トークショー

主催 | 八戸ブックセンター

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年6月11日(水)～16日(月)

事業名 | 千葉 倫之展

主催 | 千葉倫之

会場 | ギャラリー1・2、会議室1

貸出期間 | 2025年6月16日(月)

事業名 | リオンの朗読会

主催 | リオンの会

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年6月19日(木)～22日(日)

事業名 | 第64回黒潮書展

主催 | 黒潮書道会

会場 | ギャラリー2、会議室2

貸出期間 | 2025年6月19日(木)

事業名 | 喜井豊治モザイク展

主催 | 喜井豊治

会場 | ギャラリー1、会議室1

貸出期間 | 2025年6月28日(土)～29日(日)

事業名 | HAPPY CRAFT in マエニワ

主催 | happymouse

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月3日(木)～6日

事業名 | 東光会東北支部展

主催 | 東光会東北支部

会場 | ギャラリー1・2、会議室1

貸出期間 | 2025年7月11日(金)～13日(日)

事業名 | 第42回青森二紀グループ展

主催 | 青森二紀グループ

会場 | ギャラリー1、ジャイアントルーム展示エリアI、会議室1

貸出期間 | 2025年7月11日(金)

事業名 | しばやまいぬの走るアトリエ

主催 | しばやまいぬ

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月12日(土)～13日(日)

事業名 | はちや写真館 in 八戸市美術館

主催 | 蜂谷雄士

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月16日(水)～20日(日)

事業名 | 飲食店出店

主催 | 障がい者サポートセンターくるみの里

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月17日(木)～20日(日)

事業名 | アトリエオガワ絵画教室作品展 第22回樹の会展

主催 | 樹の会

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリアI・II、会議室1

貸出期間 | 2025年7月21日(月・祝)

7. 貸館

貸館

事業名 | 全国キャラバン活動&古川選手への応援

メッセージ会

主催 | 八戸市ろうあ協会

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月25日(金)～29日(木)

事業名 | 古畑雅規BOXクレイアート展

主催 | 佐藤ひとみ

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2025年7月25日(金)

事業名 | 腸活ミーティング

主催 | 境澤智子

会場 | 会議室1

貸出期間 | 2025年7月26日(土)～27日(日)

事業名 | HAPPY CRAFT in マエニワ

主催 | happymouse

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | 飲食店出店

主催 | 障がい者サポートセンターくるみの里

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | RiraCafe

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | Fruits Kitchen RONRON

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | Pizza 217

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | Toshi's DINER

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | 飲食店出店

主催 | 株式会社カネク醸造

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年7月30日(水)～8月4日(月)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | たこ焼やきやき裕次郎

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年8月2日(土)～3日(日)

事業名 | 飲食店出店

主催 | 株式会社レッドコンパス

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年8月10日(日)～20日(水)

事業名 | Itty Bitty Woodie

主催 | Gloom papel peeps

会場 | ギャラリー1、会議室1・2

貸出期間 | 2025年8月16日(土)

事業名 | しばやまいぬの走るアトリエ

主催 | しばやまいぬ

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年8月20日(水)

事業名 | 東光会東北支部勉強会

主催 | 東光会東北支部

会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年8月22日(金)～24日(日)

事業名 | 第28回日本習字作品展

主催 | 日本習字 香墨会

会場 | ギャラリー1・2、会議室1

貸出期間 | 2025年8月22日(金)

事業名 | 会議室利用

主催 | 一般社団法人TOCOL

会場 | 会議室2

貸出期間 | 2025年8月23日(土)～24日(日)

事業名 | HAPPY CRAFT in マエニワ

主催 | happymouse

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年8月28日(木)～30日(土)

事業名 | 第29回日本習字作品展

主催 | 日本習字 香墨会

会場 | ギャラリー1・2、会議室1

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2025年8月28日(木)

事業名 | 移住施策に関するヒアリング

主催 | 八戸市広報統計課

会場 | 会議室2

貸出期間 | 2025年9月5日(金)～7日(日)

事業名 | 第16回日本教育書道会 三八地区書道展

主催 | 日本教育書道会三八地区連合会

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリアⅠ・Ⅱ、会議室1・2

貸出期間 | 2025年9月6日(土)

事業名 | 八戸市超帰省応援事業モニターツアー

主催 | 八戸ゲストハウス トセノイエ

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年9月11日(木)～14日(日)

事業名 | 第52回北奥羽現展

主催 | 北奥羽現展

会場 | ギャラリー2、会議室1・2

貸出期間 | 2025年9月12日(金)～14日(日)

事業名 | 3人展

主催 | FLOW

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2025年9月27日(土)～28日(日)

事業名 | サンフェスHACHINOHE2025

主催 | 八戸市商工課

会場 | 広場

貸出期間 | 2025年10月2日(木)～5日(日)

事業名 | 八戸工業大学第二高等学校創立50周年記念美術展

主催 | 八戸工業大学第二高等学校

会場 | ギャラリー1・2、ワークショップルーム、ジャイアントルーム展示エリアⅠ・Ⅱ、会議室1

貸出期間 | 2025年10月9日(木)～13日(月・祝)

事業名 | 気になる自閉症の世界 Ao

主催 | 長塚佳子

会場 | ジャイアントルームその他エリア、広場

貸出期間 | 2025年10月10日(金)

事業名 | 第2回アドバイザーボード会議 第2回

はちのへアート広場交流会

主催 | 八戸市文化創造推進課

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年10月10日(金)～13日(月・祝)

事業名 | 八戸防災フェスタ2025 消防図画コンクール作品展

主催 | 八戸地域幼年消防クラブ連絡協議会

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年10月16日(木)～19日(日)

事業名 | 季心書道展

主催 | 季心書道会

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリアⅠ、会議室1

貸出期間 | 2025年10月17日(金)

事業名 | 豊崎小学校 社会科見学昼食会場

主催 | 八戸市立豊崎小学校

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年10月18日(土)

事業名 | 八戸市多文化共生推進ワークショップ

主催 | 八戸市市民連携推進課

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年10月22日(水)

事業名 | 東光会東北支部勉強会

主催 | 東光会東北支部

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2025年10月22日(水)～26日(日)

事業名 | Happy Bulldog展 ～Zooといっしょ～

主催 | HappyBulldog

会場 | ジャイアントルーム展示エリアⅡ・その他エリア

貸出期間 | 2025年10月24日(金)～26日(日)

事業名 | MOA美術館八戸児童作品展

主催 | MOA美術館八戸児童作品展実行委員会

会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2025年10月27日(月)

事業名 | 道仏小学校 社会科見学昼食会場

主催 | 階上町立道仏小学校

会場 | ジャイアントルームその他エリア

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2025年10月31日(金)～11月3日(月・祝)

事業名 | 青森グラフィックデザイナーの一年展 2025

主催 | JAGDA青森地区

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリアⅠ・Ⅱ、スタジオ

貸出期間 | 2025年11月1日(土)

事業名 | 『装いの翼』刊行記念 行司千絵×原島恵トークイベント

主催 | 八戸ブックセンター

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年11月1日(土)

事業名 | 八戸市中学校文化芸術活動 版画の実験室①

主催 | 八戸市学校教育課

会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年11月5日(水)

事業名 | 健康増進イベント

主催 | 明治安田生命相互会社 八戸新荒町営業部

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年11月5日(水)

事業名 | 東光会東北支部研究会

主催 | 東光会東北支部

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年11月6日(木)～9日(日)

事業名 | 第19回 若葉会書道展

主催 | 若葉書道会

会場 | ギャラリー1・2、会議室2

貸出期間 | 2025年11月10日(月)～21日(金)

事業名 | 吉田初三郎パネル展

主催 | 八戸市観光課

会場 | スタジオ、会議室1、ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年11月13日(木)～17日(月)

事業名 | 左官鰻(相棒)とつきあって55年

主催 | 白石吉広

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2025年11月15日(土)

事業名 | 八戸クリエイターズクラブ打合せ

主催 | 佐々木遊

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年11月15日(土)

事業名 | 八戸市中学校文化芸術活動 版画の実験室②

主催 | 八戸市学校教育課

会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年11月17日(月)

事業名 | 中間共有勉強会

主催 | 八戸市市民連携推進課

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年11月20日(木)～26日(水)

事業名 | 4色の花と書の世界展

主催 | Qloom Papel

会場 | ギャラリー1、ジャイアントルーム展示エリアⅠ・その他エリア

貸出期間 | 2025年11月21日(金)～24日(月・祝)

事業名 | 4色の花と書の世界展

主催 | 俊文書道会

会場 | ギャラリー1、会議室1

貸出期間 | 2025年11月22日(土)

事業名 | 令和7年度八戸市総合教育会議

主催 | 八戸市教育総務課

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年11月22日(土)

事業名 | 八戸市中学校文化芸術活動 版画の世界③

主催 | 八戸市学校教育課

会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年11月24日(月)

事業名 | こどもワークショップ

主催 | 山美安貴子

会場 | ジャイアントルーム展示エリアⅡ

貸出期間 | 2025年11月26日(水)

事業名 | Wednesday Night Café

主催 | 八戸学院地域連携研究センター

会場 | スタジオ

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2025年11月28日（金）～30日（日）
事業名 | 八戸市鷗盟大学総合美術展
主催 | 八戸市鷗盟大学
会場 | ギャラリー1・2、スタジオ、ジャイアントルーム、ワークショップルーム、会議室1・2、ティールーム

貸出期間 | 2025年11月28日（金）
事業名 | 社会科見学休憩場所
主催 | 八戸市立第一中学校
会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年12月4日（木）～7日（日）
事業名 | 縄文是川ボランティア作品展
主催 | 縄文是川ボランティア
会場 | ギャラリー1、会議室1

貸出期間 | 2025年12月5日（金）
事業名 | リオンの朗読会
主催 | リオンの会
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2025年12月11日（金）～14日（日）
事業名 | 切り絵二人展
主催 | 中澤均
会場 | ギャラリー1、会議室2

貸出期間 | 2025年12月18日（木）～21日（日）
事業名 | 二科 青森支部展
主催 | 二科 青森支部
会場 | ギャラリー1・2、会議室2

貸出期間 | 2025年12月20日（土）
事業名 | 八戸市中学校文化芸術活動 版画の世界④
主催 | 八戸市学校教育課
会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年12月20日（土）
事業名 | 次期八戸市総合計画市民ワークショップ
主催 | 八戸市政策推進課
会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年12月26日（金）
事業名 | 第6回三役会議
主催 | JR東労組

会場 | 会議室2

貸出期間 | 2026年1月8日（木）～14日（水）
事業名 | 第18回税に関する絵はがきコンクール作品展
主催 | 公益社団法人 八戸法人会女性部会
会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2026年1月9日（金）～11日（日）
事業名 | 第49回「心聲會展」
主催 | 青森県高等学校教育研究会書道部会
会場 | ギャラリー1・2、会議室2

貸出期間 | 2026年1月16日（金）～18日（日）
事業名 | 八戸アートサポーター会「ハアサ会絵画展」
主催 | 八戸アートサポーター会
会場 | ギャラリー1・2、会議室2

貸出期間 | 2026年1月17日（土）
事業名 | 八戸市中学校地域クラブ活動（美術）水彩画
主催 | 八戸市学校教育課
会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2026年1月23日（金）
事業名 | 池坊八戸支部 役員会
主催 | 池坊八戸支部
会場 | 会議室2

貸出期間 | 2026年1月30日（金）～31日（土）
事業名 | こうせん・美術館アートコラボ
主催 | 八戸工業高等専門学校
会場 | スタジオ、ジャイアントルーム、ギャラリー、ワークショップルーム、会議室、ティールーム

貸出期間 | 2026年1月31日（土）～2月9日（月）
事業名 | 国スポ冬季大会応援書展
主催 | 八戸市 国スポ・障スポ推進室
会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリアⅠ・Ⅱ、会議室2

貸出期間 | 2026年2月1日（日）
事業名 | 金継ぎ講習会
主催 | 宗偏流青森支部
会場 | ワークショップルーム

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2026年2月4日(水)～9日(月)
事業名 | 八戸工業大学感性デザイン学部卒業制作展

主催 | 八戸工業大学

会場 | ジャイアントルームその他エリア、スタジオ、会議室2

貸出期間 | 2026年2月7日(土)

事業名 | 八戸市中学校地域クラブ活動(美術)水彩画No.2

主催 | 八戸市学校教育課

会場 | ワークショップブルー

貸出期間 | 2026年2月11日(水・祝)

事業名 | シン・クレイジーフェスティバル2026

主催 | Edulinks

会場 | スタジオ、ワークショップブルー、ティールーム、会議室1

貸出期間 | 2026年2月12日(木)

事業名 | 相続トラブルを防ごう～相続登記の義務化と自筆証書遺言書保管制度とは?～

主催 | 八戸市くらし交通安全課

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2026年2月13日(金)～14日(土)

事業名 | 学生&高校生 まちづくりコンペティション

主催 | 八戸市市民連携推進課

会場 | ジャイアントルーム、会議室2

貸出期間 | 2026年2月13日(金)～18日(水)

事業名 | その静かな部屋部屋

主催 | 三村紗瑛子

会場 | ギャラリー1、会議室1

貸出期間 | 2026年2月15日(日)～16日(月)

事業名 | 気になる自閉症の世界Ao

主催 | 長塚佳子

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2026年2月15日(日)～16日(月)

事業名 | 気になる自閉症の世界Ao

主催 | 長塚佳子

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2026年2月15日(日)～20日(金)

事業名 | 10周年 能面花六展

主催 | いりおもて工房

会場 | ジャイアントルーム展示エリアII

貸出期間 | 2026年2月17日(火)～20日(金)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | ばくだん焼き本舗八戸CC

会場 | 広場

貸出期間 | 2026年2月17日(火)～20日(金)

事業名 | えんぶりワークショップ

主催 | 障害者サポートセンターくるみの里

会場 | ワークショップブルー

貸出期間 | 2026年2月18日(水)

事業名 | 東光会東北支部勉強会

主催 | 東光会東北支部

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2026年2月20日(金)～22日(日)

事業名 | 寄遠會展

主催 | 書文化研究寄遠會

会場 | ギャラリー1・2、会議室1、ジャイアントルーム展示エリアI

貸出期間 | 2026年2月21日(土)～22日(日)

事業名 | 元気なまちづくり若者シンポジウム

主催 | NPO法人地域活性化教育支援ネットワーク

会場 | スタジオ、会議室2、ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2026年2月21日(土)

事業名 | 渡部さとり 八戸ワークショップ

主催 | 渡部さとり八戸ワークショップの集い

会場 | ワークショップブルー

貸出期間 | 2026年2月23日(月・祝)

事業名 | 渡部さとり 八戸ワークショップ写真展説明会

主催 | 渡部さとり八戸ワークショップの集い

会場 | 会議室1・2

貸出期間 | 2026年2月26日(木)～3月1日(日)

事業名 | 八戸市中学校生徒美術展

主催 | 八戸市中学校美術教育研究会

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリ

7. 貸館

貸館

ア1・II、スタジオ、会議室1・2

貸出期間 | 2026年2月28日(土)

事業名 | ミニ天文学者になろう!太陽観測編

主催 | 一般社団法人TOCOL

会場 | 広場

貸出期間 | 2026年3月5日(木)～8日(日)

事業名 | 第54回八戸臨泉会書展、第77回八戸臨泉会学生書道展

主催 | 八戸臨泉会

会場 | ギャラリー1・2、会議室1・2、ジャイアントルーム展示エリアI・II、スタジオ

貸出期間 | 2026年3月12日(木)～15日(日)

事業名 | 第20回三戸シャッタークラブ写真展

主催 | 三戸シャッタークラブ

会場 | ギャラリー2 会議室2

貸出期間 | 2026年3月18日(水)

事業名 | 東光会東北支部勉強会

主催 | 東光会東北支部

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2026年3月18日(水)～23日(月)

事業名 | 創作織部 雲爾窯 廣部克爾展

主催 | 廣部克爾

会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2026年3月20日(金・祝)

事業名 | HAPPY CRAFT

主催 | 山美安貴子

会場 | ワークショップルーム

7. 貸館

貸館

4. 開催の様子



くるみの里 飲食店出店



Itty Bitty Woodie



第28回日本習字作品展



サンフェスHACHINOHE2025



八戸工業大学第二高等学校創立50周年記念美術展



東光会東北支部勉強会



青森グラフィックデザイナーの一年展2025



八戸市鷗盟大学 総合美術展

8. データ

8. データ

入館者の状況

入館者の状況

1. 入館者数

月別入館者数

2025年	4月	4,614人
	5月	5,739人
	6月	9,673人
	7月	20,694人
	8月	35,228人
	9月	6,847人
	10月	14,981人
	11月	20,897人
	12月	8,328人
2026年	1月	5,575人
	2月	9,857人
	3月	10,574人

年度ごとの延べ入館者数

	年度入館者数	総入館者数 (延べ)
2021年度	24,329人	24,329人
2022年度	119,983人	144,312人
2023年度	109,277人	253,589人
2024年度	125,226人	378,815人
2025年度	153,007人	531,822人

2. 視察見学受入

視察見学受入合計

149件 (3,402人)

種別／件数・人数

行政・議会	12件 (89人)
美術館・文化施設	1件 (3人)
学校	46件 (1,373人)
その他	90件 (1,937人)

8. データ

広報

広報

1. WEBサイト

<https://hachinohe-art-museum.jp>

年間アクセス 372,012回（2025年4月1日～2026年3月31日）

2. ソーシャルメディア

X（旧Twitter） | @hachinohe_art_m

Instagram | @hachinohe_art_museum

Facebook | <https://www.facebook.com/HachinoheArtMuseum>

YouTube | @8artmuseum

note | <https://note.com/8noheartmuseum>

3. 広報掲載実績

新聞 | 3件（うち新聞連載1件）

朝日新聞、デーリー東北、東奥日報

テレビ | 1件

八戸テレビ

ラジオ | 6件

BeFM

書籍 | 1件

中西美穂、中川真『障害と向き合う美術館』（発行：水曜社、発行日：2025年6月25日）

雑誌 | 21件

BRUTUS、FIGARO JAPON、rakra、季刊 あおもりのき、芸術新潮ほか

WEB | 39件

Fashion Press、アートアジェンダ、美術手帖、美術展ナビ、るるぶ&moreほか

SNS | 12件

VISITはちのへ、8noくらし、はちまちLINE

その他 | 21件

8. データ

八戸市美術館運営協議会

八戸市美術館運営協議会

1. 八戸市美術館運営協議会

概要

八戸市美術館の運営や企画の検討にあたり、国内外の美術の動向や美術館運営のあり方、先進事例などに精通した専門家及び、地元関係者の視点からご意見・ご助言をいただくため、運営協議会を設置・運営する。

委員

会長 | 日比野克彦（東京藝術大学学長、岐阜県美術館館長、熊本市現代美術館館長）

副会長 | 高屋喜久子（八戸工業大学教授）

委員 | 菅野晶（青森県立美術館美術統括監）

委員 | 伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター教授）

委員 | 漆畑幸男（元八戸市に新美術館を熱望する市民の会代表）

委員 | 熊倉純子（東京藝術大学教授）

委員 | 志賀野桂一（東北文化学園大学特任教授）

委員 | 福田弥夫（八戸学院地域連携研究センター長）

委員 | 馬渡龍（八戸工業高等専門学校准教授）

委員 | 三澤一実（武蔵野美術大学教授）

委員 | 宮本紘子（青森県立八戸工業高等学校教諭）

委員 | 吉川由美（有限会社ダ・ハ プランニング・ワーク代表取締役）

（2026年3月31日時点）

開催状況

八戸市美術館は、令和7年6月17日に改正博物館法に基づく「登録博物館」として県内で初めて登録された。また、令和6年度には令和3～5年度の事業を評価し第1期中期評価報告書を作成、その結果を踏まえて第2期中期運営計画（令和7～11年度）を策定した。さらに、未評価であった令和6年度事業の評価を行い、令和3～6年度までの中期評価報告書として取りまとめた。

第1回協議会

開催日 | 2025年10月29日（水）

第2回協議会

開催日 | 2026年3月10日（火）

8. データ

運営(決算・組織)

運営（決算・組織）

1. 決算概要

決算内容	決算額（円）	比率
美術事業費	48,598,742円	18.5%
各種展覧会・体験講座等	48,598,742円	
運営経費	212,994,536円	81.3%
施設維持管理経費	164,512,711円	
一般管理事務経費	41,791,514円	
美術品管理経費	6,690,311円	
災害復旧費	512,407	0.2%
社会教育施設災害復旧費	512,407	
合計	262,105,685円	100%

（職員人件費は含まない）

2. 組織

館長 | 佐藤慎也
副館長 | 宗石美佐
美術専門監 | 山田泰子

総務経営グループ

副参事／グループリーダー | 田中裕樹
主幹 | 番沢裕子
技師 | 多田洸貴
一般事務員 | 金子幸子
一般事務員 | 荒川尚美
一般事務員 | 清水尚美
一般事務員 | 増田くみ子

企画運営グループ

副参事／グループリーダー | 松倉寛幸
主査兼学芸員 | 大澤苑美
主査兼学芸員 | 齊藤未来
主査兼学芸員 | 篠原英里
主事兼学芸員 | 田村由衣
主事兼学芸員 | 高橋麻衣
主事兼学芸員 | 平井真里
主事兼学芸員 | 三浦あかり
テクニカル・コーディネーター | 神智
コーディネーター（学校・地域連携） | 類家舜

（2025年4月1日時点）

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

八戸市美術館条例

令和3年3月26日条例第10号
改正
令和7年3月11日条例第2号

趣旨

第1条 この条例は、美術品及び美術その他の芸術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示並びに美術その他の芸術に関する調査研究及び普及活動を行うことにより、市民の文化及び芸術の振興に資するとともに、文化芸術活動を通じた様々な出会い、学び及び交流の機会を図るため、美術館を設置し、その管理について必要な事項を定めるものとする。

美術館の名称及び位置

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 八戸市美術館
- (2) 位置 八戸市大字番町10番地4

事業

第3条 八戸市美術館（以下「美術館」という。）は、次の事業を行う。

- (1) 美術品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言及び指導に関すること。
- (3) 美術その他の芸術に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 美術その他の芸術に関する講演会、講座等の開催に関すること。
- (5) 美術その他の芸術に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 美術その他の芸術に関する創作活動及び発表の場の提供に関すること。
- (7) 美術その他の芸術を通じた教育及び学習に関すること。
- (8) 学校等教育機関及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。
- (9) 文化芸術活動を通じたまちづくりの推進に関すること。
- (10) 文化芸術活動を通じた市民交流の推進に関すること。
- (11) その他美術館の設置目的を達成するために必要な事業

観覧料

第4条 美術館の観覧料は、別表第1のとおりとする。

2 前項に規定する観覧料（以下「観覧料」という。）は、前納しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

使用の許可及び条件

第5条 美術館の施設のうち有料で使用させるもの（以下「有料施設」という。）を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に当たって、その使用について条件を付けることができる。

使用制限

第6条 市長は、有料施設の使用が次の各号のいずれかに該当するときは、その使用を許可しない。

- (1) 風俗又は公益を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 建物又は附属物を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (3) 美術館の管理に支障があると認めるとき。
- (4) 集团的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。

(5) その他市長が不適当と認めるとき。

使用条件の変更等

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、有料施設の使用条件を変更し、又はその使用を停止し、若しくは使用許可を取り消すことができる。

- (1) この条例若しくはこれに基づく規則又は使用許可の条件に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正の行為により使用の許可を受けたとき。
- (3) 使用の許可後前条各号のいずれかに該当することが判明し、又は該当することとなったとき。
- (4) 公益上やむを得ない理由が生じたとき。

2 前項の規定（第4号の場合は、災害等による緊急の必要があるときに限る。）により使用条件を変更し、又は使用を停止し、若しくは使用の許可を取り消した場合において、当該変更、停止又は取消しにより、第5条第1項の規定により有料施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）に損害を及ぼすことがあっても、市はその賠償の責めを負わない。

使用料

第8条 有料施設の使用料は、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 前項に規定する使用料（以下「使用料」という。）は、前納しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

観覧料等の還付

第9条 既納の観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、災害その他不可抗力により観覧し、又は使用することができなくなったとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

観覧料等の減免

第10条 市長は、公益上必要があると認められるとき、その他特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。

目的外使用等の禁止

第11条 使用者は、有料施設又は附属設備を、その許可を受けた目的以外の目的に使用し、又はその権利を他に転貸し、若しくは譲渡してはならない。

特別設備の設置等の許可

第12条 使用者が有料施設の使用に当たって、特別の設備を設置し、又は特殊物品の搬入をしようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

使用者の原状回復義務

第13条 使用者は、その使用を終わったとき、又は第7条第1項の規定により使用を停止されたとき、若しくは使用許可を取り消されたときは、直ちにその使用場所を原状に回復して返還しなければならない。ただし、同項第4号の場合において、市長がその義務を免除したときは、この限りでない。

2 使用者が前項本文の規定による義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、使用者からその費用を徴収する。

秩序保持

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

第14条 使用者及び入場者は、美術館の秩序保持及び施設の良好な保全に努めなければならない。
2 使用者及び入場者は、常に係員の指示に従わなければならない。

入場の拒否等

第15条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入場を拒否し、退場を命じ、又はその他の必要な措置をとることができる。
(1) 感染性疾患があると認められる者
(2) 美術館の秩序又は公益を害するおそれがあると認められる者
(3) 係員の指示に従わない者
(4) その他管理上入場を不適当と認める者

損害賠償

第16条 美術館の施設、設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、市長の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害の賠償をしなければならない。

美術館運営協議会

第17条 美術館の円滑な運営を図るため、八戸市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2 協議会は、美術館の運営に関し必要な事項について協議し、市長に対して意見を述べるものとする。
3 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営等について必要な事項は、市長が定める。

美術館美術品等収集委員会

第18条 美術品等の適切な収集を図るため、八戸市美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）を置く。
2 委員会は、美術品等の収集について調査審議し、市長に対して意見を述べるものとする。
3 前2項に定めるもののほか、委員会の組織及び運営等について必要な事項は、市長が定める。

委任

第19条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則

施行期日

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第5項の規定は公布の日から、第17条、第18条並びに附則第3項及び第4項の規定は令和3年4月1日から施行する。（令和3年9月規則第86号で、同3年11月3日から施行）

八戸市美術館条例の廃止

2 八戸市美術館条例（平成23年八戸市条例第11号）は、廃止する。

八戸市附属機関設置条例の一部改正

3 八戸市附属機関設置条例（平成25年八戸市条例第6号）の一部を次のように改正する。
別表の1八戸市新美術館運営検討委員会の項を削る。

八戸市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

4 八戸市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年八戸市条例第26号）の一部を次のように改正する。
別表第1及び別表第2中「新美術館運営検討委員会」の委

員」を削り、「美術館運営協議会の委員」を「美術館運営協議会の委員美術館美術品等収集委員会の委員」に改める。

準備行為

5 この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

別表第1（第4条関係）

コレクションラボ展示	無料
企画展示及びコレクション特別展示	1人につき2,000円を超えない範囲内で市長がその都度定める額

備考

1 コレクションラボ展示とは美術館が収蔵する美術品等を活用して日常的に行う展示を、企画展示及びコレクション特別展示とは美術館が特別に行う展示をいう。
2 企画展示及びコレクション特別展示を、当該展示の期間を通じて随時観覧する場合の観覧料は、この表に定める観覧料の額の100分の200に相当する額を超えない範囲内で市長がその都度定める額とする。（一部改正〔令和7年条例2号〕）

別表第2（第8条関係）

使用料

(1) 展示室等

	基本区分			複合区分		
	午前	午後	夜間	午前 午後	午後 夜間	午前 夜間
	開館時刻から 午後1時まで	午後1時から 午後5時まで	午後5時から 閉館時刻まで	開館時刻から 午後5時まで	午後1時から 閉館時刻まで	開館時刻から 閉館時刻まで
ギャラリー1	1,280	1,710	850	2,990	2,560	3,850
ギャラリー2	2,600	3,470	1,730	6,070	5,200	7,810
ホワイト キューブ	9,340	12,450	6,220	21,790	18,680	28,020
ブラック キューブ	820	1,100	550	1,930	1,650	2,480
コレクション ラボ	1,830	2,440	1,220	4,270	3,660	5,490
スタジオ	1,950	2,600	1,300	4,550	3,900	5,850
ワークショップ ブルーム	1,140	1,520	760	2,660	2,280	3,420
ジャイアント ルーム 展示エリア1	680	910	450	1,600	1,370	2,060
ジャイアント ルーム 展示エリア2	950	1,270	630	2,230	1,910	2,870
ジャイアント ルーム 展示エリア3	1,100	1,460	730	2,560	2,200	3,300
会議室1	380	510	250	890	760	1,150
会議室2	310	420	210	740	630	950
会議室3	400	540	270	950	810	1,220
ジャイアント ルーム その他エリア	占有して使用する場合に限り、1平方メートルにつき1時間当たり6円					
ティールーム	占有して使用する場合に限り、1時間当たり90円					

(2) 広場

区分	広場
金額	占有して使用する場合に限り、1平方メートルにつき1時間当たり6円

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

(3) 設備、器具等
市長が定める額

備考

- 1 1,000円を超える入場料等（入場料、会費、入場整理費その他名称のいかんにかかわらず、催物1回について入場者が支払う対価をいい、座席等により入場の対価の額が異なる場合は、その最高額とする。）を徴収して施設を使用する場合又は物品の販売を伴う場合の使用料は、規定使用料の額の100分の200に相当する額とする。
- 2 美術館内で開催する予定の催物の準備、撤収等のみを行うために使用する場合の使用料の額は、規定使用料の額（前項の規定に該当する場合は、同項の規定により算出した額）の100分の50に相当する額とする。
- 3 使用可能時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合の使用料の額は、当該超過し、又は繰り上げて使用する時間1時間（当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とする。）につき、それぞれの規定使用料（前2項の規定に該当する場合は、それぞれの規定により算出した額）の1時間当たりの額の100分の120に相当する額とする。
- 4 この表に基づいて算出した額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

別表第3（第8条関係）

サテライト施設の使用料	
区分	多目的室
金額	月額168,000円

備考

- 1 使用期間が1月に満たないときは、1月を30日とする日割計算により計算する。
- 2 電気料は、別に実費を徴収することができる。

8. データ

関係規約

八戸市美術館条例施行規則

八戸市美術館条例施行規則

令和3年9月17日規則第87号

改正

令和6年3月28日規則第20号

令和6年11月27日規則第54号

令和8年3月9日規則第3号

趣旨

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

開館時間

第2条 八戸市美術館（以下「美術館」という。）の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、同項に規定する開館時間を変更することができる。

休館日

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下単に「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月1日まで

2 前項の規定は、同項の休館日に有料施設（条例第5条第1項に規定する有料施設をいう。以下同じ。）の使用許可を受けた者が当該使用許可に係る有料施設を使用することを妨げない。

観覧料の納付

第4条 美術館の観覧料（以下「観覧料」という。）は、観覧券の交付を受ける際に納付しなければならない。

使用期間

第5条 有料施設の使用期間は、サテライト施設を除き、同一使用につき引き続き6日を超えることができない。ただし、市長が必要があると認めるときは、この限りでない。

2 サテライト施設の使用期間は、1年以内とし、市長が必要があると認めるときは、これを更新することができる。

使用者登録

第6条 次条第1項の規定による申請又は第9条第1項の規定による仮予約を初めて行おうとする者は、あらかじめ、八戸市美術館施設使用者登録申込書（別記第1号様式。次項において「申込書」という。）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申込みがあった場合は、その記載事項を確認し、当該申込みをした者について次条第1項の規定による申請又は第9条第1項の規定による仮予約ができる者として登録（以下「使用者登録」という。）をするものとする。この場合において、市長は、当該申込みをした者（団体にあっては、その代表者又は連絡担当者（代表者に代わりこの規則に定める手続を行う者として選任されている者をいう。））に対し、その者の氏名、住所、生年月日等が記載された書類その他申込書の記載事項に誤りがないことを

確認するために必要な書類の提示を求めることができる。

3 市長は、使用者登録を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、これを取り消すことができる。

(1) 条例、この規則又は施設の使用、維持管理等に関する法令に違反したとき。

(2) 偽りその他不正な手段により使用者登録を受けたとき。

(3) 有料施設の使用料（以下「使用料」という。）の支払その他の債務を履行しないとき。

(4) その他市長が使用者登録を不適当と認めるとき。

4 第2項の規定により使用者登録を受けた者は、登録内容に変更が生じたときは、遅滞なく、市長に届け出なければならない。

5 前各項に定めるもののほか、使用者登録に関し必要な事項は、別に定める。

使用許可の申請手続等

第7条 条例第5条第1項の規定により有料施設の使用許可を受けようとする者は、八戸市美術館施設使用許可申請書（別記第2号様式）を、市長に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間内に提出しなければならない。ただし、市長が相当な理由があり、かつ、美術館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

(1) 第9条第1項の規定による仮予約をした場合の使用許可 当該仮予約の決定を受けた日から施設を使用する日（施設を使用する日が連続して複数ある場合は、その初日。以下「使用日」という。）前10箇月に当たる日の属する月の末日まで

(2) 有料施設（サテライト施設を除く。）の使用許可（前号に掲げるものを除く。） 使用日前10箇月に当たる日の属する月の初日から使用日前7日に当たる日まで

(3) サテライト施設の使用許可 使用日前12箇月に当たる日の属する月の初日から使用日前30日に当たる日まで

第8条 前条の規定にかかわらず、有料施設に売店を設置しようとする者は、売店設置許可申請書（別記第3号様式）に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(1) 営業種目、販売品目及び価格、営業時間その他営業に関する計画を記載した書類

(2) その他市長が必要と認める書類

仮予約

第9条 有料施設（ギャラリー1及び2、スタジオ、ワークショップルーム、ジャイアントルーム展示エリア1及び2、会議室1から3まで並びに広場に限る。次項において同じ。）を使用しようとする者は、次の各号に掲げる使用日の区分に応じ、当該各号に定める期間に、仮の使用の予約（以下「仮予約」という。）を行うことができる。

(1) 使用日が1月から3月まで又は10月から12月までの間である場合 使用日の属する年度の前年度の9月中

(2) 使用日が4月から9月までの間である場合 使用日の属する年度の前年度の4月中

2 前項の規定により、同一の有料施設を同一日の同一時間に使用したい旨の仮予約が複数の者からあったときは、市長は、抽選により当該有料施設を使用する者を決定するものとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、抽選以外の方法により決定することができる。

使用許可書の交付等

第10条 市長は、第7条第1項又は第8条の申請書を受受理した場合において、有料施設の使用を許可したときは、第

8. データ

関係規約

八戸市美術館条例施行規則

7条第1項の申請者には八戸市美術館施設使用許可書（別記第4号様式）を、第8条の申請者には売店設置許可書（別記第5号様式）を交付する。

2 前項の規定により有料施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、有料施設の使用の際、同項の規定により交付を受けた八戸市美術館施設使用許可書又は売店設置許可書（以下これらを「使用許可書」という。）を携帯し、係員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

事前打合せ

第11条 使用者は、有料施設の使用に際しては、原則として事前に使用方法その他必要な事項について係員と打合せをしなければならない。

使用時間の超過又は繰上げ

第12条 使用者は、やむを得ない理由により当該許可に係る使用可能時間を超過し、又は繰り上げて有料施設を使用する必要があるときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。この場合において、当該超過又は繰上げは、超過又は繰上げのいずれか一方かつ1時間以内に限るものとする。

使用の変更

第13条 使用者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書（別記第6号様式）に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、サテライト施設の使用許可を受けた者は、自己の都合により、許可を受けた使用期間を短縮しようとするときは、短縮後の使用期間の末日前3箇月までに八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前2項の申請書を受理した場合において、使用の変更を承認したときは、八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書を当該申請者に交付する。

使用の中止

第14条 使用者は、有料施設の使用を中止しようとするときは、八戸市美術館施設使用中止届（別記第7号様式）に使用許可書（前条第3項の規定により交付された八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書を含む。第17条第2項及び第18条第3項において同じ。）を添えて、市長に届け出なければならない。

設備、器具等の使用料等

第15条 条例別表第2の規定により市長が定める設備、器具等の使用料は、別表のとおりとする。

2 使用する設備、器具等の設営及び撤去は、係員の指示に従って使用者が行うものとする。

使用料の納付

第16条 使用料は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める時期に納付しなければならない。

- (1) 有料施設（サテライト施設を除く。）の使用料 第10条第1項の規定により使用許可書の交付を受けるとき。ただし、設備、器具等の使用料にあっては、当該使用終了時までに納付することができるものとする。
- (2) サテライト施設の使用料 翌月分の使用料及び前月分の電気料を毎月末日まで

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合において

は、市長の定める期限までに使用料を納付することができるものとする。

- (1) 国又は地方公共団体が使用する場合
- (2) その他市長がやむを得ない理由があると認める場合

観覧料等の還付

第17条 条例第9条ただし書の規定により還付する観覧料及び使用料の額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他不可抗力により、観覧又は有料施設の使用ができなくなったとき 既納の観覧料又は使用料の全額
- (2) 条例第7条第1項第4号の規定により有料施設の使用ができなくなったとき 既納の使用料の全額
- (3) 有料施設の使用日前90日までに使用中止の届出があったとき 既納の使用料の3割の額
- (4) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

2 観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）の還付を受けようとする者は、八戸市美術館観覧料等還付申請書（別記第8号様式）に観覧券又は使用許可書及び観覧料等の領収書を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の申請書を受理した場合において、観覧料等の還付を決定したときは、八戸市美術館観覧料等還付決定通知書（別記第9号様式）により当該申請者に通知する。

観覧料等の減免

第18条 条例第10条の規定により減額し、又は免除する観覧料の額は、次のとおりとする。

- (1) 当市が主催する行事において観覧するとき 観覧料の全額
- (2) 未就学児 観覧料の全額
- (3) 身体障害者手帳、愛護手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者（当該交付を受けている者に介護人がある場合にあっては、介護人1人を含む。）が観覧するとき 観覧料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (4) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき 観覧料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (5) 当市が発行する八戸ウェルカムチケットの提出を受けたとき 観覧料の全額
- (6) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

2 条例第10条の規定により減額し、又は免除する使用料の額は、次のとおりとする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する小学校、中学校又は特別支援学校のうち、市内に所在するものが無料で行う行事に有料施設を使用するとき 使用料の全額
- (2) 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第39条第1項に規定する保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）第2条第6項に規定する認定こども園又は学校教育法第1条に規定する幼稚園、高等学校、大学若しくは高等専門学校若しくは同法第124条に規定する専修学校のうち、市内に所在するものが無料で行う行事に有料施設を使用するとき 使用料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (3) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

3 観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、八戸市美術館観覧料等減免申請書（別記第10号様式）に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。ただし、第1項第2号から第5号までの規定により減額又は免除を受けようとする者については、この限りでない。

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例施行規則

4 市長は、前項の申請書を受理した場合において、観覧料等の減額又は免除を決定したときは、八戸市美術館観覧料等減免決定通知書（別記第11号様式）により当該申請者に通知する。

行為の禁止

第19条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 美術館の施設、設備等を損傷し、又は滅失すること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。
- (3) 許可なくして美術館が収蔵する美術品等（条例第1条に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の写真撮影又は拓本複写等の行為をすること。
- (4) 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。
- (5) 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示すること。
- (6) 美術館の施設及び敷地内において喫煙すること。
- (7) 所定の場所以外において火気を使用すること。
- (8) その他美術館の管理に支障がある行為

2 前項第3号の許可を受けようとする者は、八戸市美術館美術品等特別利用許可申請書（別記第12号様式）を市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の申請書を受理した場合において、これを許可したときは、当該申請者に八戸市美術館美術品等特別利用許可書（別記第13号様式）を交付する。

美術品等の寄託

第20条 美術館に美術品等の寄託をしようとする者は、当該美術品等に八戸市美術館美術品等寄託申請書（別記第14号様式）を添えて市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請書を受理した場合において、美術品等の寄託を受けることを決定したときは、当該申請者に八戸市美術館美術品等受託書（別記第15号様式）を交付する。

寄託美術品等の免責

第21条 市長は、寄託を受けた美術品等が災害その他の不可抗力によって損害を受けた場合にあっては、その賠償の責めを負わない。

（補則）

第22条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附則

- 1 この規則は、条例の施行の日から施行する。
- 2 八戸市美術館条例施行規則（平成23年八戸市規則第27号）は、廃止する。
- 3 第7条第2項第1号及び第9条第1項の規定にかかわらず、この規則の施行の日から令和5年3月31日までの間の使用に係る同項に規定する仮予約及び当該仮予約をした場合の使用許可に係る第7条第2項第1号に定める申請書の提出期間については、市長が別に定める。

附則（令和6年3月28日規則第20号）

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表の規定は、この規則の施行の日以後の

申請に対する使用許可に係る使用料について適用し、同日前の申請に対する使用許可に係る使用料については、なお従前の例による。

附則（令和6年11月27日規則第54号）

この規則は、令和6年12月2日から施行する。

附則（令和8年3月9日規則第3号）

- 1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第18条第2項の規定は、この規則の施行の日以後の申請に対する使用許可に係る使用料の減免について適用し、同日前の申請に対する使用許可に係る使用料の減免については、なお従前の例による。

別表（第15条関係）

設備、器具等使用料

区分	設備等の名称	単位	金額（円）	摘要
照明設備	追加スポットライト	1個	140	ギャラリー1を使用する場合は15個まで、ギャラリー2を使用する場合は30個まで無料
	キャストスター付き展示パネル	1枚	140	ジャイアントルーム展示エリア1又は2を使用する場合は各2枚まで、スタジオを使用する場合は4枚まで無料
映像設備	プロジェクター（備付）	1台	500	ブラックキューブ専用
	ポータブルプロジェクター（5,000ルーメン未満）	1台	300	
	ポータブルプロジェクター（5,000ルーメン以上）	1台	500	
	壁掛けスクリーン	1台	200	スタジオ専用
	テレビモニター	1台	270	
音響設備	拡声装置	1式	270	スタジオ又はジャイアントルーム専用。有線マイク1本を含む。
	ワイヤレスマイク	1チャンネル	150	電池代は含まない。
その他	電池		実費	

備考

- 1 この表に定める使用料の額は、当該設備、器具等を使用する施設の使用許可に係る使用時間1時間当たり（追加スポットライト及びキャストスター付き展示パネルにあっては、使用1日当たり）の額とする。
- 2 使用可能時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合の使用料の額は、当該超過し、又は繰上げて使用する時間1時間（当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とする。）につき、それぞれこの表に規定する使用料の額の100分の120に相当する額とする。
- 3 この表に基づいて算出した額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。（一部改正〔令和6年規則第20号〕）

8. データ

関係規約
八戸市美術館運営協議会
規則

八戸市美術館運営協議会規則

平成23年3月31日規則第28号

附則

改正
令和3年3月30日規則第40号

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

趣旨

附則（令和3年3月30日規則第40号）

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号）第17条第3項の規定に基づき、八戸市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。
（一部改正〔令和3年規則40号〕）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

組織

第2条 協議会は、委員12人以内で組織する。
2 委員は、優れた識見を有する者のうちから、市長が委嘱する。
3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。
4 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（全部改正〔令和3年規則40号〕）

会長及び副会長

第3条 協議会には、会長及び副会長各1人を置く。
2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
3 会長は、会務を総理する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
（一部改正〔令和3年規則40号〕）

会議

第4条 協議会は、会長が招集し、その議長となる。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき協議会の会長の職務は、市長が行う。
2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
（一部改正〔令和3年規則40号〕）

資料の提出の要求等

第5条 協議会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

秘密の保持

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
（追加〔令和3年規則40号〕）

庶務

第7条 協議会の庶務は、八戸市美術館において処理する。
（追加〔令和3年規則40号〕）

委任

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の組織及び運営等について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。
（一部改正〔令和3年規則40号〕）

8. データ

関係規約
八戸市美術館美術品等収
集委員会規則

八戸市美術館美術品等収集委員会規則

令和3年3月30日規則第41号

趣旨

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号）第18条第3項の規定に基づき、八戸市美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

調査審議事項

第2条 委員会は、八戸市美術館（以下「美術館」という。）が収集しようとする美術品及び美術その他の芸術に関する資料（以下「美術品等」という。）に関する次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 美術品等の購入の適否及び価格の評価に関すること。
- (2) 美術品等の寄贈の受入れに関すること。
- (3) その他収集に係る専門事項に関すること。

組織

- 第3条 委員会は、委員7人以内で組織する。
- 2 委員は、美術品等に関し専門的知識を有する者のうちから、市長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。
 - 4 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委員長及び副委員長

- 第4条 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く。
- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
 - 3 委員長は、会務を総理する。
 - 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

会議

- 第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき委員会の委員長の職務は、市長が行う。
- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
 - 3 委員は、調査審議の対象である美術品等に直接の利害関係を有する場合は、その議事に加わることができない。
 - 4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 5 委員会の会議は、非公開とする。

資料の提出の要求等

第6条 委員は必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

秘密の保持

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

庶務

第8条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

委任

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の組織及

び運営等に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

施設概要

1. 設計者

設計者

西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体（東京都中央区）

施工者

鴻池組・田名部組・東復建設特定建設工事共同企業体（建築）

ダイダン・サカモト・葵特定建設工事共同企業体（機械）

ユアテック・溝口電気特定建設工事共同企業体（電気）

2. 概要

敷地概要

指定建ぺい率 | 100% (6,731.16㎡)

指定容積率 | 600% (40,386.96㎡)

防火地区 | 防火地域

用途地域 | 商業施設

接道 | 幅員13.205m、接道174m

建築概要

設置場所 | 八戸市大字番町10番地4

構造種別 | 鉄骨造

仕上 | 押出成形セメント板、ガルバリウム鋼板（外壁）

超速硬化ウレタン塗膜防水（一部押えコンクリート仕上）（屋根）

敷地面積 | 6,732.14㎡

建築面積 | 3,080.21㎡

延床面積 | 4,844.95㎡

階数 | 地上3階建て

杭・基礎 | 杭基礎

最高高さ | 19.12m

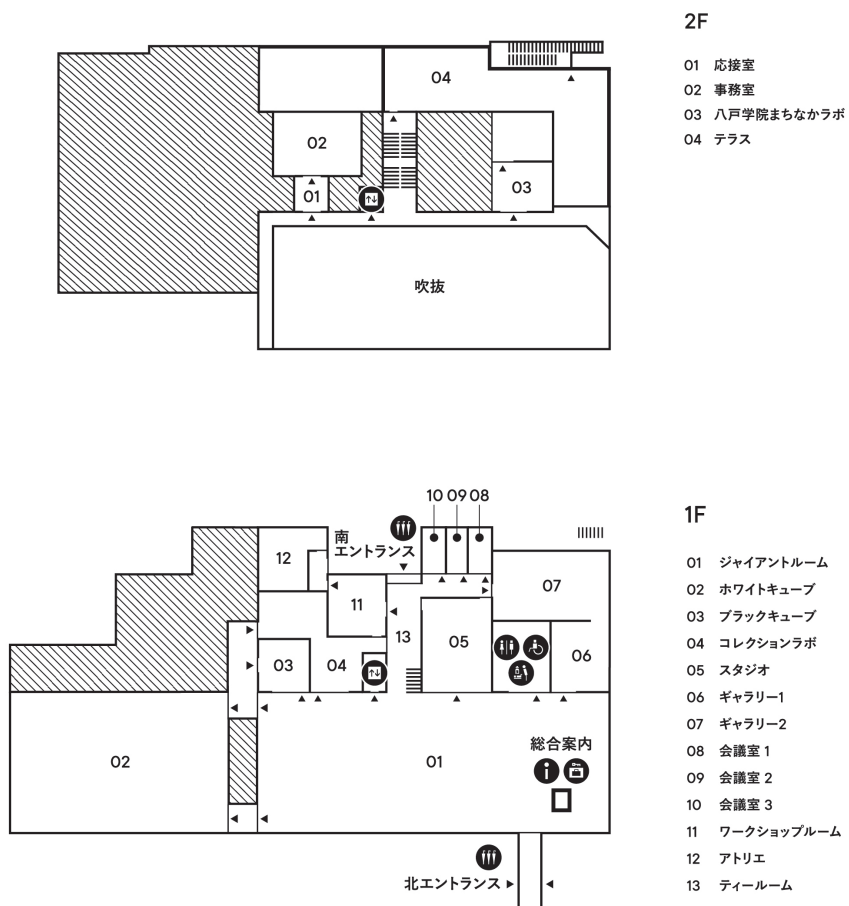
駐車場台数 | 10台（公用車用2台、来客者用2台、障がい者用2台、荷捌用2台、大型車用2台）

設計期間 | 2018年3月～2019年1月

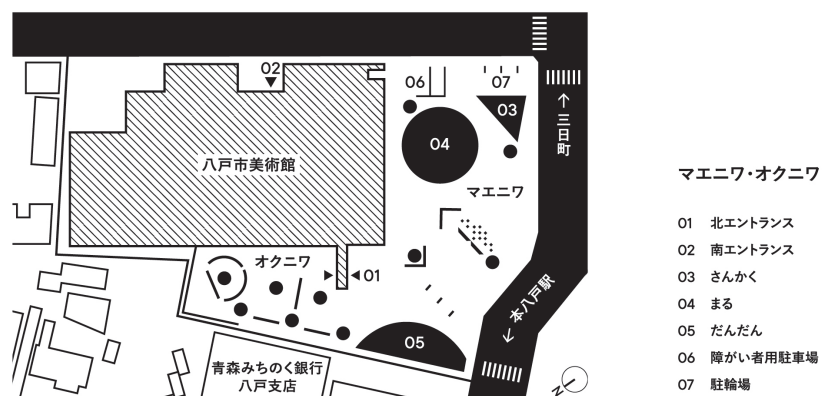
工事期間 | 2019年4月～2020年12月

8. データ

施設概要



館内マップ



館外マップ

8. データ

沿革

沿革

年月	項目
1985年 3月30日	大蔵省東北財務局青森財務事務所から市長あて「未利用国有地の買受け等勧奨について」の文書が送付される。
6月7日	上記買受け勧奨を受けて、新築移転する八戸税務署の跡地建物等の買受け要望のある旨回答（理由：八戸市美術展示館（仮称）として活用したい）。
9月18日	国有財産「八戸税務署」売払要望書を提出。
12月	「買受け等予定地等一覧表」が青森財務所長から送付され、買受けをする旨の確認書を提出。
1986年 2月25日	八戸市美術展示館（仮称）建設懇談会を設置。第1回会合、以降全5回開催。委員：月館唯師、小山田孝、田名部定吉、石橋正美（座長）、米内安芸。
3月24日	議会－八戸市美術展示館（仮称）用の建物として旧八戸税務署の買入れを議決。
4月12日	国有財産売払契約を締結。
7月	工事請負業者各社と契約締結。
9月20日	議会－八戸市博物館条例の一部を改正する条例を制定。名称「八戸市美術館」、博物館の分館とする。
10月29日	教育委員会－八戸市博物館条例施行規則の全部、八戸市博物館等規則の一部改正する規則を制定。
11月10日	八戸市美術館の工事終了。
11月21日	開館式。
11月22日	一般公開 開館記念特別展「日本現代美術秀作展－文化庁収蔵作品による」開催。
2011年 4月1日	教育委員会より市長部局まちづくり文化観光部へ移管。
2015年 3月	新美術館の建設を求める陳情書が議会で採決。
2016年 4月1日	新美術館整備のため、新美術館建設推進室が設置。
2017年 8月8日	美術館解体のため、新美術館建設推進室事務所を移転（八戸市八日町9）。同事務所内に「はちのへまちなかアートラボCo部屋」を開設。
2019年 3月	「八戸市新美術館管理運営基本計画」策定。
4月	新美術館建物建設工事に着手。
2020年 3月	「八戸市新美術館 中期運営計画」策定。
12月	美術館本棟 竣工。
2021年 2月	新美術館建設推進室事務所を八戸市美術館内へ移転（八戸市大字番町10-4）。
3月	広場工事着手（9月完了）。
8月8日	イベント「美術館のプロローグ」実施。一般公開。
11月3日	（新）八戸市美術館開館。開館記念「ギフト、ギフト、」開催。
2022年 10月	2022年度グッドデザイン賞ベスト100に選出。
2023年 3月	第43回東北建築賞「作品賞」受賞。
2023年 6月	JIA日本建築大賞受賞。

8. データ

沿革

2025年 6月17日

改正博物館法に基づく「登録博物館」として登録。

八戸市美術館
令和7年度（2025年）
年報

編集・発行 | 八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4
Tel : 0178-45-8338
Mail : art@city.hachinohe.aomori.jp

発行 | 令和8年7月